

令和3年度  
(2021年度)

事業報告書



学校法人 愛知医科大学



## ◆ 目次

| 【内 容】   | 【頁数】 |                                   | 【頁数】 |
|---|------|-----------------------------------|------|
| <b>1 理事長あいさつ</b>                                | 1    | <b>4 財務状況等</b>                    | 89   |
| <b>2 法人概要</b>                                   | 5    | (1) 概要の推移                         | 91   |
| (1) 沿革  | 7    | (2) 財務状況概要                        | 93   |
| (2) 組織機構図                                       | 8    | (3) 学校法人会計財務三表                    | 95   |
| (3) 役員・評議員                                      | 9    | (4) 資金収支の状況                       | 96   |
| (4) 学長・副学長                                      | 10   | (5) 活動区分資金収支計算書の状況                | 102  |
| (5) 設置学校等                                       | 10   | (6) 事業活動収支の状況                     | 104  |
| (6) 建学の精神                                       | 11   | (7) 貸借対照表の状況                      | 108  |
| (7) 職員数   | 14   | (8) 財務状況の年次推移                     | 110  |
| (8) 大学院   | 14   | (9) 財務比率の状況(主要比率)                 | 114  |
| (9) 医学部医学科                                      | 15   | (10) 借入金の状況                       | 116  |
| (10) 看護学部看護学科                                   | 16   | (11) 寄付金の受入状況                     | 116  |
| (11) 研究員数                                       | 17   | (12) 補助金の受入状況                     | 116  |
| (12) 国際交流の状況                                    | 17   | (13) 学納金の状況                       | 116  |
| (13) 総合学術情報センター(図書館部門)                          | 18   | (14) 外部資金受入の状況                    | 117  |
| (14) 公開講座                                       | 18   | (15) 財産目録                         | 118  |
| (15) 大学病院概要                                     | 19   | (16) 監査報告書                        | 121  |
| (16) 大学病院業務統計                                   | 20   | <b>5 当面の課題</b>                    | 123  |
| (17) 高度救命救急センター                                 | 27   | ※この報告書は、令和3年5月1日現在のデータを基に作成しています。 |      |
| (18) 大学病院病床数・患者数等                               | 28   |                                   |      |
| (19) 大学病院分析指標(主要比率)                             | 29   |                                   |      |
| (20) 愛知医科大学メディカルセンター概要                          | 30   |                                   |      |
| (21) 愛知医科大学メディカルセンター業務統計                        | 31   |                                   |      |
| (22) 愛知医科大学メディカルセンター病床数・患者数                     | 34   |                                   |      |
| (23) 愛知医科大学メディカルセンター分析指標<br>(主要比率)              | 35   |                                   |      |
| (24) メディカルクリニック概要                               | 36   |                                   |      |
| (25) メディカルクリニック患者数等                             | 38   |                                   |      |
| (26) 運動療育センター                                   | 38   |                                   |      |
| (27) 施設の概要                                      | 39   |                                   |      |
| <b>3 事業概要</b>                                   | 43   |                                   |      |
| ・大学の理念・目的                                       | 45   |                                   |      |
| ・学是「具眼考究」                                       | 45   |                                   |      |
| ・はじめに   | 46   |                                   |      |
| ・中期的な計画及び事業の進捗・達成状況                             | 46   |                                   |      |
| 1. 教育・研究関連事業                                    | 51   |                                   |      |
| 2. 医療活動関連事業                                     | 62   |                                   |      |
| 3. 大学運営関連事業                                     | 71   |                                   |      |
| 4. 学部・大学院関係                                     | 79   |                                   |      |
| 5. 病院・クリニック診療実態関係                               | 81   |                                   |      |
| 6. 附属施設関係                                       | 81   |                                   |      |
| 7. 本学事業部門の再編<br>(メディカルクリニック・アイセンター(仮称)<br>事業計画) | 82   |                                   |      |
| 8. 経営状況の分析, 経営上の成果と課題<br>今後の方針・対応方策             | 83   |                                   |      |
| 9. 法人・会議関係                                      | 84   |                                   |      |



# 1 理事長あいさつ



## 1 理事長あいさつ

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に明け暮れた1年でした。大学・病院ともに全力で対応した毎日でしたが、関係者各位の努力のお陰で、なんとか乗り切ってこられました。令和4年度に入りましても、勢いは衰えをみせずオミクロン株が蔓延しておりますが、なんとか早く収束に向かうことを願っております。

さて、令和4年度は愛知医科大学創立50周年に当たり、11月3日の開学記念日を中心に、種々の記念事業を予定しております。先人のこれまでの努力に感謝し、本学の今後の発展に向けた1年になればと思います。また、50周年の記念事業とともに、これらの具体的な方策を進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

令和の3年間で振り返りますと、まず第1に、財政基盤が徐々に確立してきていると言えます。その証左として、この3年間コロナ禍にあっても経常収支が毎年着実に伸びて来ています。特に、後述する種々の活性化イノベーションの仕込みを進めながら伸びて来ているという点は重要で、改めて関係者各位のご尽力に感謝申し上げる次第です。今後も人材開発とイノベーションを進め成果に繋げて参りたいと考えています。

第2は、経営戦略推進本部の設置と発展です。これは理事長直轄で部局を越えた問題、新規のイノベーションや組織改変等を比較的短い時間で進めるため、私の就任の年に立ち上げた組織ですが、これまでにやってきた或いは今後の計画のイノベーションやシステム改革は、ほぼこの推進本部で立案、計画、実施されてきたもので、今後も引き続き発展させていきたいと考えています。

ここからは、少し個別の事例を挙げてみます。まず、令和3年4月に開院しました岡崎の愛知医科大学メディカルセンター（分院）は、羽生田正行病院長の下、地域の中核病院として発展しており、今後、専修医の研修病院としての発展も期待されるところです。

次に愛知医科大学メディカルクリニックは、38年前からの初期の目的を達成し、以前から抜本的な改変が望まれていました。これを受けて、令和4年7月に開院予定の愛知医科大学眼科クリニック MIRAIIは、株式会社メニコンとの近視進行予防の共同研究拠点と緑内障を中心とする日帰り手術ラボの拠点を作るもので、新しい産学連携の眼科クリニックとして発展できると考えます。

また令和3年12月27日に本学内に移転・開設した日本造血細胞移植データセンターは、細胞移植に関する全国の12万例の患者データを集積するセンターで、世界的にも日米欧の3極の一つになっています。同センターは本学の連携大学院でもあり、今後のビッグデータを基盤とする臨床研究の拠点として更なる発展を期待しているところです。

こうした勢いを駆って、リハビリテーション医療やがん医療の推進、看護学部のNPの博士課程の創設などもめざしていきたいところです。

また、本学の創立50周年を契機に今後の更なる展開に向けた先進医療研究棟の構想もスタートさせていきたいと考えています。これは、今後の世界を見据えた診療・教育・研究の場として、また、産学の連携の場としての展開を見据えて知恵を出していきたいと考えております。

これらと並行して働き方改革、救急体制改革、地域医療連携推進、学生・医師養成教育改革等いく

つかのシステム改革も本学に特化した形で進んできており、今後、更に具体化していきたいと考えています。

更にもう一つ、医学研究の流れですが、特に臨床研究について、疾患の情報そのものを使ったビッグデータの仮説抜きの数理解が新しい知見を生み出すという流れが大きくなってきています。幸い本学には、日本造血細胞移植データセンター、加齢医科学研究所の神経変性疾患の死後脳バンク、肺胞タンパク症、泌尿器系がん、神経疾患iPS細胞などのバイオリソース、研究創出支援センターのバイオリソースなど多くのバイオ・データリソースが存在しており、最近では国際的な共同研究として世界のトップジャーナルへの発表がいくつも出てきており、今後の本学の臨床研究、特にビッグデータ型共同臨床研究の方向として重要ではないかと感じています。

愛知医科大学は今、まさに変革の時期、仕込みの時期を迎えておりまして、皆さまには、是非ともご支援賜り、今後の更なる発展に結び付けていきたいと考えておりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

学校法人 愛知医科大学

理事長 祖父江 元

## 2 法人概要



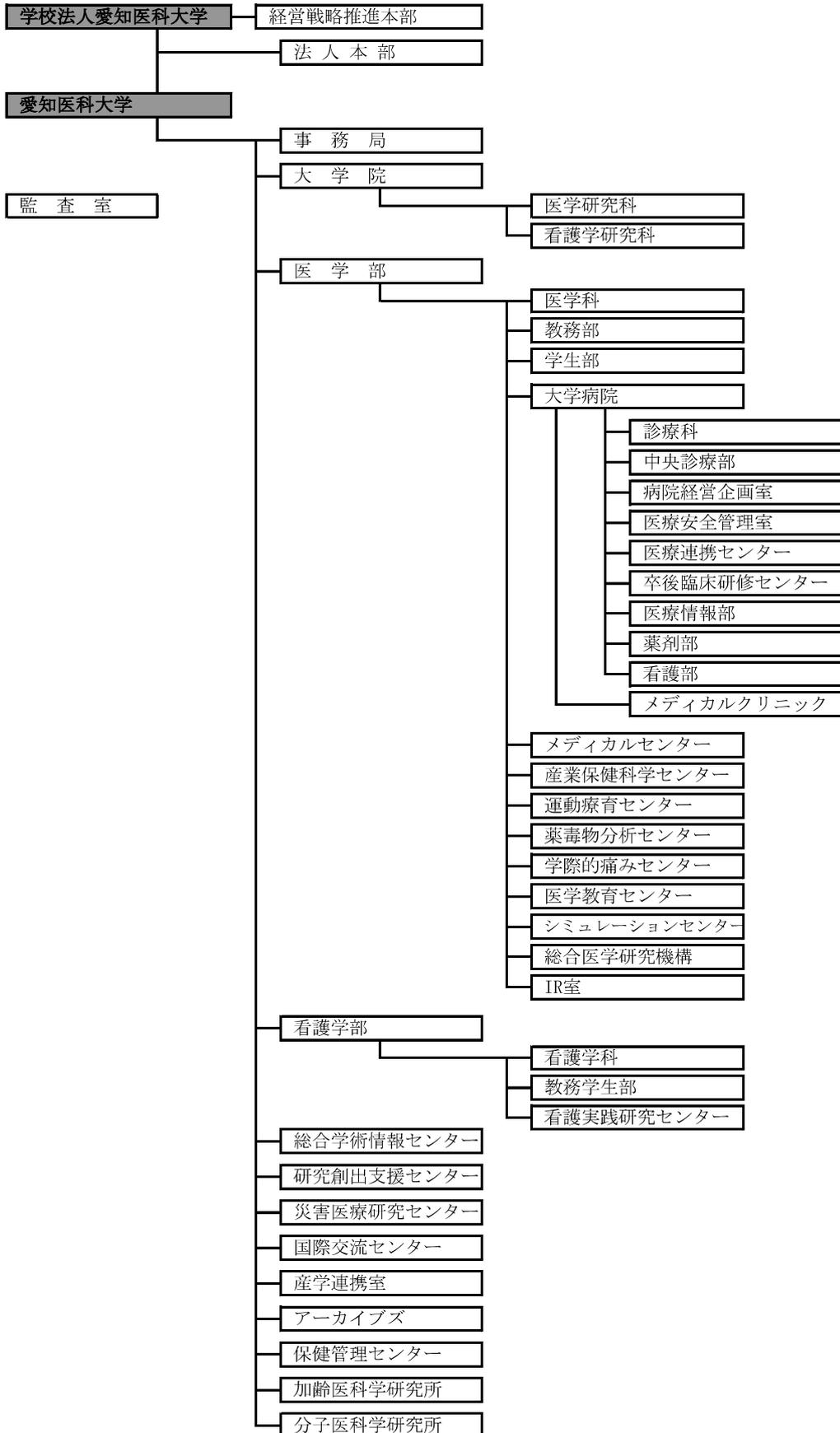
## 2 法人概要

### (1) 沿革

|              |   |              |   |
|--------------|---|--------------|---|
| 昭和46. 12. 25 | 愛知医科大学(医学部医学科)設置認可  | 平成8. 3. 28   | 附属病院救命救急センターが高度救命救急センターに認定  |
| 昭和47. 1. 28  | 附属病院(暫定病院)開設許可(名古屋市守山区森孝新田字元補11番地)  | 平成11. 12. 22 | 看護学部看護学科設置認可  |
| 昭和47. 2. 1   | 附属病院(暫定病院)使用許可  | 平成12. 4. 5   | 看護学部第1回入学式  |
| 昭和47. 4. 11  | 医学部第1回入学式   | 平成13. 6. 16  | 薬毒物分析センター設置   |
| 昭和49. 1. 28  | 新附属病院開設許可(愛知県愛知郡長久手町大字岩作字雁又21番地)  | 平成14. 1. 1   | 学際的痛みセンター設置   |
| 昭和49. 5. 30  | 新附属病院使用許可   | 平成14. 4. 26  | 看護専門学校廃止認可  |
| 昭和49. 9. 9   | 高等看護学院設置認可  | 平成15. 11. 27 | 大学院看護学研究科設置認可   |
| 昭和49. 9. 20  | 高等看護学院第1回入学式  | 平成16. 4. 1   | 医学教育センター設置  |
| 昭和51. 9. 20  | 高等看護学院を看護専門学校と改称  | 平成16. 4. 7   | 大学院看護学研究科第1回入学式   |
| 昭和52. 12. 5  | 法人名を学校法人愛知医科大学と改称   | 平成17. 4. 1   | 病院名を愛知医科大学病院と改称   |
| 昭和54. 7. 1   | 附属病院救命救急センター開設  | 平成20. 4. 1   | 総合医学研究機構設置<br>臨床試験センター設置<br>先端医学・医療研究拠点設置<br>看護実践研究センター設置<br>総合医学研究機構を改組(動物実験センター, 核医学センター, 研究機器センター, 臨床試験センターを同機構の部門として統合) |
| 昭和55. 3. 26  | 大学院医学研究科設置認可  | 平成24. 1. 4   | 長久手市市制施行に伴う所在地名地番の変更(愛知県長久手市岩作雁又1番地1)   |
| 昭和55. 6. 4   | 大学院医学研究科第1回入学式  | 平成24. 3. 31  | 先端医学・医療研究拠点廃止   |
| 昭和56. 3. 30  | 看護専門学校入学定員変更(30名→50名)   | 平成24. 4. 1   | 先端医学研究センター設置  |
| 昭和56. 4. 23  | 情報処理センター設置  | 平成26. 4. 23  | 新病院(中央棟)使用許可  |
| 昭和58. 4. 1   | 加齢医科学研究所設置  | 平成26. 11. 1  | 災害医療研究センター設置  |
| 昭和58. 4. 20  | メディカルクリニック開設許可(名古屋市東区東桜2丁目12番1号)  | 平成27. 4. 1   | 国際交流センター設置<br>シミュレーションセンター設置  |
| 昭和58. 12. 21 | 附属動物実験施設設置  | 平成28. 4. 1   | 先端医学研究センター廃止<br>研究創出支援センター設置  |
| 昭和60. 4. 1   | 看護専門学校課程変更(2年課程昼間定時制→3年課程全日制)   | 平成29. 4. 1   | 医学情報センター(図書館)廃止<br>情報処理センター廃止<br>総合学術情報センター設置   |
| 昭和62. 10. 1  | 運動療育センター設置  | 令和3. 2. 25   | メディカルセンター開設許可(愛知県岡崎市仁木町字川越17番地33)   |
| 昭和63. 4. 1   | 核医学センター設置<br>研究機器センター設置<br>分子医科学研究所設置<br>附属図書館を医学情報センター(図書館)と改称<br>附属動物実験施設を動物実験センターと改称 | 令和3. 3. 17   | メディカルセンター使用許可   |
| 平成4. 3. 24   | 看護専門学校入学定員変更(50名→100名)  |              |   |
| 平成5. 6. 16   | 産業保健科学センター設置  |              |   |
| 平成6. 2. 1    | 附属病院が特定機能病院に承認  |              |   |

(2) 組織機構図

(R3. 7. 1現)



### (3) 役員・評議員

#### ◆ 役員

(R3.6.1現)

| 区分  | 氏名    | 主な役職               |
|-----|-------|--------------------|
| 理事長 | 祖父江 元 | 理事長                |
| 理事  | 祖父江 元 | 学長                 |
| 理事  | 浅井 富成 | 医学部同窓会理事長, 非常勤     |
| 理事  | 岩船 徹雄 | 経営戦略推進事務室長         |
| 理事  | 坂本真理子 | 副学長, 看護学部長, 看護学部教授 |
| 理事  | 島田 孝一 | 法人本部長              |
| 理事  | 道勇 学  | 副学長, 病院長, 医学部教授    |
| 理事  | 羽生田正行 | メディカルセンター病院長       |
| 理事  | 羽根田雅巳 | 事務局長               |
| 理事  | 山口 力  | 医学部父兄後援会会長, 非常勤    |
| 理事  | 若槻 明彦 | 副学長, 医学部長, 医学部教授   |
| 理事  | 内海 眞  | 非常勤                |
| 理事  | 坂井 克彦 | 非常勤                |
| 理事  | 那須 國宏 | 非常勤                |
| 理事  | 柵木 充明 | 非常勤                |
| 理事  | 山内 一征 | 非常勤                |
| 監事  | 岡田 忠  | 非常勤                |
| 監事  | 林 清博  | 非常勤                |

#### ◆ 役員賠償責任保険

保険期間：令和3年4月1日午後4時から令和4年4月1日午後4時まで

補償内容：役員に関する補償 10億円（支払限度額）

#### ◆ 評議員

(R3.6.1現)

| 氏名    | 主な役職               | 氏名    | 主な役職             |
|-------|--------------------|-------|------------------|
| 天野 哲也 | 副院長, 医学部教授         | 伊藤 健吾 | 非常勤              |
| 伊藤 恭彦 | 医学部教授              | 伊藤 隆之 | 非常勤              |
| 井上 里恵 | 副院長, 看護部長          | 内海 眞  | 非常勤              |
| 岩船 徹雄 | 経営戦略推進事務室長         | 金山 和広 | 非常勤              |
| 坂本真理子 | 副学長, 看護学部長, 看護学部教授 | 木下 登  | 非常勤              |
| 佐藤 元彦 | 医学部教授              | 小出 詠子 | 医学部同窓会副理事長, 非常勤  |
| 島田 孝一 | 法人本部長              | 坂井 克彦 | 非常勤              |
| 高橋 佳子 | 看護学部長補佐, 看護学部教授    | 祖父江 元 | 理事長, 学長          |
| 道勇 学  | 副学長, 病院長, 医学部教授    | 鳥井 彰人 | 非常勤              |
| 羽生田正行 | メディカルセンター病院長       | 那須 國宏 | 非常勤              |
| 羽根田雅巳 | 事務局長               | 服部 達哉 | 非常勤              |
| 細川 好孝 | 医学部教授              | 古井 景  | 医学部父兄後援会副会長, 非常勤 |
| 若槻 明彦 | 副学長, 医学部長, 医学部教授   | 柵木 充明 | 非常勤              |
| 浅井 富成 | 医学部同窓会理事長, 非常勤     | 村上 恒久 | 看護学部父母会会長, 非常勤   |
| 小出 龍郎 | 医学部同窓会副理事長, 非常勤    | 山内 一征 | 非常勤              |
| 藤澤 恵児 | 看護学部同窓会会長, 看護師     | 山口 力  | 医学部父兄後援会会長, 非常勤  |

#### (4) 学長・副学長

| 職名  | 氏名                           |
|-----|------------------------------|
| 学長  | 祖父江 元                        |
| 副学長 | 若槻 明彦 坂本真理子 道勇 学 春日井邦夫 笠井 謙次 |

#### (5) 設置学校等

※ 平成24.1.4 長久手市市制施行に伴い、住所表示変更：長久手市岩作雁又1番地1

##### ◆ 学校

| 名称        | 開設年月日       | 所在地                    | 備考  |
|-----------|-------------|------------------------|---|
| 医学部医学科    | 昭和47. 4. 1  | 愛知郡長久手町<br>大字岩作字雁又21   |   |
| 看護学部看護学科  | 平成12. 4. 1  | 同上                     |   |
| 大学院医学研究科  | 昭和55. 4. 1  | 同上                     |   |
| 大学院看護学研究科 | 平成16. 4. 1  | 同上                     |   |
| 高等看護学院    | 昭和49. 9. 20 | 愛知郡長久手町<br>大字岩作字丸根78-1 | S51. 9. 20 看護専門学校に改称<br>H14. 3. 31 看護専門学校廃止 |

##### ◆ 病院

| 名称            | 開設年月日       | 所在地                  | 備考   |
|---------------|-------------|----------------------|--|
| 医学部附属病院（暫定病院） | 昭和47. 2. 1  | 名古屋市守山区<br>森孝新田字元補11 |  |
| 医学部附属病院       | 昭和49. 5. 30 | 愛知郡長久手町<br>大字岩作字雁又21 | H 6. 2. 1 特定機能病院に承認<br>H17. 4. 1 愛知医科大学病院に改称 |
| 附属病院救命救急センター  | 昭和54. 7. 1  | 同上                   | H 8. 3. 28 高度救命救急センター認定                      |
| メディカルクリニック    | 昭和58. 6. 1  | 名古屋市東区東桜<br>2-12-1   |  |
| メディカルセンター     | 令和3. 4. 1   | 岡崎市仁木町字川越17<br>番地33  |  |

##### ◆ 附属施設

(R3. 5. 1現)

| 名称           | 開設年月日        | 所在地                  | 備考   |
|--------------|--------------|----------------------|--|
| 附属図書館        | 昭和47. 4. 1   | 愛知郡長久手町<br>大字岩作字雁又21 | S63. 4. 1 医学情報センター(図書館)に改称<br>H29. 4. 1 廃止     |
| 情報処理センター     | 昭和56. 4. 23  | 同上                   | H29. 4. 1 廃止                                   |
| 加齢医科学研究所     | 昭和58. 4. 1   | 同上                   |  |
| 附属動物実験施設     | 昭和58. 12. 21 | 同上                   | S63. 4. 1 動物実験センターに改称                          |
| 運動療育センター     | 昭和62. 10. 1  | 同上                   |  |
| 視聴覚教材センター    | 昭和63. 4. 1   | 同上                   | H17. 3. 31 廃止                                  |
| 核医学センター      | 昭和63. 4. 1   | 同上                   |  |
| 研究機器センター     | 昭和63. 4. 1   | 同上                   |  |
| 分子医科学研究所     | 昭和63. 4. 1   | 同上                   |  |
| 産業保健科学センター   | 平成 5. 6. 16  | 同上                   |  |
| 薬毒物分析センター    | 平成13. 6. 16  | 同上                   |  |
| 学際的痛みセンター    | 平成14. 1. 1   | 同上                   |  |
| 医学教育センター     | 平成16. 4. 1   | 同上                   |  |
| 総合医学研究機構     | 平成20. 4. 1   | 同上                   | H22. 4. 1 改組<br>(動物実験センター, 核医学センター, 研究機器センター), |
| 臨床試験センター     | 平成20. 4. 1   | 同上                   |  |
| 先端医学・医療研究拠点  | 平成20. 4. 1   | 同上                   | H24. 3. 31 廃止                                  |
| 看護実践研究センター   | 平成20. 4. 1   | 同上                   |  |
| 先端医学研究センター   | 平成24. 4. 1   | 長久手市岩作雁又1番地1         | H28. 4. 1 廃止                                   |
| 災害医療研究センター   | 平成26. 11. 1  | 同上                   |  |
| 国際交流センター     | 平成27. 4. 1   | 同上                   |  |
| シミュレーションセンター | 平成27. 4. 1   | 同上                   |  |
| 研究創出支援センター   | 平成28. 4. 1   | 同上                   |  |
| 総合学術情報センター   | 平成29. 4. 1   | 同上                   |  |

## (6) 建学の精神

本学が創設された際に定められた「建学の精神」では、「よき臨床医をつくる」、「大学自体が地域社会に役立つ」、「発展途上国の医学・医療の援助を行う」の三項目を挙げ、患者からも、地域からも、国際社会からも頼りにされる医師の養成を理想とされました。「建学の精神」は不変であるものの、建学から既に50年近く経過していること、大学を取り巻く環境も大きく変動していること、医学教育分野別評価（国際認証）の受審が決定したこと等から、大学職員等にとってシンプルで、理解しやすい、共感できる「学是（基本理念）」が全学的な議論を踏まえ、平成29年3月の理事会・評議員会に提議され、更に同窓会等関係方面への説明を経て平成29年5月の理事会・評議員会で制定されました。

### ◆ 建学の精神

本学は、新時代の医学知識、技術を身につけた教養豊かな臨床医、特に時代の要請に応じて地域社会に奉仕できる医師を養成し、あわせて医療をよりよく発展向上させるための医学指導者を養成することを目的とする。

そのため、医学を中心とした広汎な基礎的知識を授け、深い専門的技術を教授研究し、心身ともに健康なる医師を養育し、その知的、道徳的能力及び社会的有用性の向上を期している。

なお、私学の特性に鑑み、その自主性を重んじ、公共性を高めることによって、私立医科大学の健全なる発展を図り、社会福祉、殊に地域医療に貢献するとともに、東南アジアその他発展途上国の医療の進歩、向上に協力せんとする。

本学の修業年限は6年で、その間の教育に一貫性を期するとともに、研究の交流を図るために、その組織を基礎科学、基礎医学、臨床医学の各部門に分ち、それぞれの緊密なる連携を図ることとした。この点本学が新しい構想のもとに企画したところであり、本学の特色とするところである。かくして新しい「カリキュラム」をもって人間形成及び創造性の啓発を図り、人命の尊厳を守り、ヒューマニズムに徹し、各自の自主的、自発的勉学を尊重し、人間としての自覚にたった医学教育を目指しているのである。

### ◆ 学是

#### — 具眼考究(ぐがんこうきゅう) —

「具眼」とは、江戸中期の画家で近年脚光を浴びている伊藤若冲の言葉として知られていますが、「確かな眼」、「見通す眼」、「眼力」、「慧眼」といった意味であり、医学的には「正しくみる」ことを意味します。「みる」とは「診る」、「看る」、「見る」、「観る」、「視る」のすべてを含み、個々の患者の正確な病態とともに生物学的、心理学的、経済的、社会的なすべての視点に立った包括的、全人的に患者を把握する感性を意味します。さらに卓越した研究・教育それに大学の正しい未来の方向性の洞察には「具眼」が必要です。

「考究」とは、「具眼」によって得た神髄を深く考え、それに対して正しく対処して究めることを指します。

## ◆ 医学部の教育理念・目標

### 【教育理念】

医学部の教育理念は、医学知識や技術の修得はもとより、医学を志す者として教養豊かな人間性を涵養することです。

すなわち、建学の精神及び学是に基づいた科学的・倫理的判断力、社会貢献の自覚を養い、情緒と品格を兼ね備えた医療人を育成することです。

### 【教育目標】

ヒューマンイズムに徹し、医学・医療の社会的使命を進んで果たす医師を養成すること。

- 1 将来の医学・医療の様々な分野に共通して必要な基本的知識、技能、態度を身につけ、生涯にわたる学修の基礎をつくります。
- 2 自主性・創造性を身につけ、問題解決能力を高めます。そして、医学の進歩と、医療をめぐる社会情勢の変化に対応できる能力を涵養します。
- 3 医療を予防・診断・治療から社会復帰までの包括的なものとして捉え、自然科学のみならず、その背景にある心理的・社会的諸問題をも含めて総合的に対応できる能力を涵養します。

## ◆ 看護学部の教育理念・目標

人間の尊厳を重んじる豊かな感性と思考力を持ち、対象となる人々と共に健康と幸福を追求し人間的に成長する看護を提供できる専門職者を育成します。

科学の進歩と国内外の社会・医療環境の変化に幅広く対応できる質の高い実践者を育成します。また、教育・研究者としての資質を有し、看護学の発展に貢献する看護専門職者を育成します。

本学看護学部の教育理念に基づく教育目標は次のとおりです。

- 1 思いやりのある豊かな人間性を持ち、人間の尊厳と権利を擁護する倫理的判断力を持つ人材を育成します。
- 2 科学的に分析し、明晰かつ批判的・発展的・論理的に思考するクリティカルシンキング能力を持つ人材を育成します。
- 3 看護専門職者として、対象となる人々の健康と幸福を追求し、科学的根拠に基づく看護を提供できる能力を育成します。
- 4 看護専門職者としての自律性を育むとともに、保健・医療・福祉の連携・協働に取り組む能力を育成します。
- 5 グローバルな視点を持ち、地域社会の健康増進に貢献する人材を育成します。
- 6 生涯学習に主体的に取り組み、教育・研究者としての資質を持ち、実践科学としての看護学の発展に貢献しうる人材を育成します。

#### ◆ 医学研究科の教育理念・目標

##### 【教育理念】

愛知医科大学医学研究科は建学の精神に則り、最新の豊かな学識と研究能力を身につけ、医学研究及び医師育成に指導的な役割を担う国際的医学研究者を養成することにより、医学・医療の発展を通して社会に貢献することを目指す。

##### 【教育目標】

学問の多様化に対応するよう、基礎医学専門研究者養成と先端的臨床研究者養成の2つのコースを設け、学際的な視点に立った国際水準の研究遂行能力を有する研究者を育成することを目標とする。

#### ◆ 看護学研究科の教育理念・目標

看護現象に根ざした人間存在の原理的・統合的・全人的理解を基盤として、学際的・国際的な視点を加味した看護学を教授し、卓越した看護実践能力及び研究・教育・管理能力を持つ高度実践看護者を育成するとともに、研究・教育を通して看護学の発展に寄与する。

本学看護学研究科の教育理念に基づく教育目標は次のとおりです。

- 1 高度な知識・技術と卓越した実践能力を持つ高度専門職業人を育成する。
- 2 看護の質向上に寄与する研究・教育・管理能力を持つ高度専門職業人を育成する。
- 3 国際的視野を持って、看護・看護学を探究しつづける人材を育成する。
- 4 看護学の学問的発展に寄与できる研究者・教育者を育成する。

### (7) 職員数

(単位：人)

| 区 分   |         | 教職員数  |
|-------|---------|-------|
| 学 長   |         | 0     |
| 教育職員  | 教授      | 73    |
|       | 教授(特任)  | 40    |
|       | 准教授     | 53    |
|       | 准教授(特任) | 17    |
|       | 講師      | 105   |
|       | 助教      | 175   |
|       | 医員助教    | 100   |
|       | 専修医     | 102   |
| 事務職員他 | 事務職員    | 250   |
|       | 技術技能職員  | 108   |
|       | 業務職員    | 45    |
|       | 医療職員    | 436   |
| 看護職員  | 1158    |       |
| 合 計   |         | 2,662 |

### (8) 大学院

#### ◆ 学生数

(単位：人)

| 研究科名         | 収容定員 | 入学定員 | 在籍学生数 |       |       |       |     |
|--------------|------|------|-------|-------|-------|-------|-----|
|              |      |      | 1 学年次 | 2 学年次 | 3 学年次 | 4 学年次 | 計   |
| 医学研究科(博士課程)  | 120  | 30   | 26    | 21    | 43    | 37    | 127 |
| 看護学研究科(修士課程) | 30   | 15   | 13    | 22    |       |       | 35  |

#### ◆ 学位授与者数 (R03年度)

(単位：人)

| 研究科名   | 課程博士 | 論文博士 | 課程修士 |
|--------|------|------|------|
| 医学研究科  | 24   | 7    |      |
| 看護学研究科 |      |      | 15   |

#### ◆ 大学院研究生数

(単位：人)

| 研究科名  | 研究生数 |
|-------|------|
| 医学研究科 | 12   |

(9) 医学部医学科

◆ 学生数

(単位：人)

| 収容定員 | 入学定員 | 学年 | 在籍学生数 |      |      |      |      |      | 計   | 卒業者数 |
|------|------|----|-------|------|------|------|------|------|-----|------|
|      |      |    | 1学年次  | 2学年次 | 3学年次 | 4学年次 | 5学年次 | 6学年次 |     |      |
| 690  | 115  | 男  | 80    | 73   | 68   | 69   | 60   | 66   | 416 | 50   |
|      |      | 女  | 53    | 47   | 40   | 50   | 56   | 57   | 303 | 52   |
|      |      | 計  | 133   | 120  | 108  | 119  | 116  | 123  | 719 | 102  |

◆ 学生数(年次推移)

(単位：人)

| 年 度   | 収容定員 | 入学定員 | 在籍学生数 |      |      |      |      |      | 計   | 卒業者数 |
|-------|------|------|-------|------|------|------|------|------|-----|------|
|       |      |      | 1学年次  | 2学年次 | 3学年次 | 4学年次 | 5学年次 | 6学年次 |     |      |
| H29年度 | 673  | 115  | 118   | 126  | 105  | 125  | 102  | 128  | 704 | 108  |
| H30年度 | 687  | 115  | 121   | 131  | 105  | 122  | 110  | 118  | 707 | 107  |
| R01年度 | 689  | 115  | 126   | 125  | 113  | 113  | 111  | 121  | 709 | 104  |
| R02年度 | 688  | 115  | 128   | 122  | 115  | 119  | 108  | 126  | 718 | 109  |
| R03年度 | 690  | 115  | 133   | 120  | 108  | 119  | 116  | 123  | 719 | 102  |

◆ 入試状況

(単位：人)

| 年 度   | 一 般 選 抜 |       |      |      | 大学入学共通テスト利用選抜 |      |      |      | 愛知県地域特別枠 |     |      |      | 学校推薦型選抜 |      |     |      | 国際バカロレア選抜 |      |      |      |      |      |      |
|-------|---------|-------|------|------|---------------|------|------|------|----------|-----|------|------|---------|------|-----|------|-----------|------|------|------|------|------|------|
|       | 志願者数    | 受験者数  | 合格者数 | 入学者数 | 区分            | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数     | 区分  | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数    | 入学者数 | 区分  | 志願者数 | 受験者数      | 合格者数 | 入学者数 | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 |
| H29年度 | 2,133   | 2,000 | 212  | 65   | -             | 788  | 778  | 52   | 16       | A方式 | 16   | 16   | 3       | 3    | 公募制 | 129  | 122       | 25   | 24   | 2    | 2    | 1    | 0    |
|       |         |       |      |      |               |      |      |      |          | B方式 | 74   | 74   | 10      | 7    |     |      |           |      |      |      |      |      |      |
| H30年度 | 1,976   | 1,875 | 218  | 65   | -             | 877  | 868  | 43   | 16       | A方式 | 15   | 15   | 5       | 5    | 公募制 | 156  | 155       | 25   | 25   | 2    | 2    | 1    | 0    |
|       |         |       |      |      |               |      |      |      |          | B方式 | 34   | 34   | 10      | 5    |     |      |           |      |      |      |      |      |      |
| R01年度 | 2,382   | 2,314 | 301  | 65   | 前期            | 966  | 954  | 91   | 15       | A方式 | 36   | 35   | 5       | 5    | 公募制 | 106  | 106       | 20   | 20   | 1    | 1    | 1    | 1    |
|       |         |       |      |      | 後期            | 69   | 67   | 11   | 5        | B方式 | 36   | 36   | 13      | 5    |     |      |           |      |      |      |      |      |      |
| R02年度 | 2,360   | 2,304 | 242  | 65   | 前期            | 955  | 947  | 61   | 15       | A方式 | 14   | 14   | 5       | 5    | 公募制 | 88   | 88        | 20   | 20   | 3    | 3    | 3    | 2    |
|       |         |       |      |      | 後期            | 68   | 65   | 10   | 5        | B方式 | 33   | 33   | 15      | 5    |     |      |           |      |      |      |      |      |      |
| R03年度 | 2,244   | 2,179 | 275  | 66   | 前期            | 713  | 705  | 81   | 15       | A方式 | 25   | 25   | 5       | 5    | 公募制 | 106  | 105       | 20   | 20   | 3    | 3    | 2    | 0    |
|       |         |       |      |      | 後期            | 63   | 62   | 13   | 5        | B方式 | 35   | 35   | 13      | 5    |     |      |           |      |      |      |      |      |      |

◆ 医師国家試験合格者数及び合格率

| 年 度   | 新卒者     |        | 既卒者     |        | 総数      |        |
|-------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|
|       | 合格者数(人) | 合格率(%) | 合格者数(人) | 合格率(%) | 合格者数(人) | 合格率(%) |
| H29年度 | 103     | 95.4   | 14      | 66.7   | 117     | 90.7   |
| H30年度 | 101     | 94.4   | 3       | 27.3   | 104     | 88.1   |
| R01年度 | 98      | 94.2   | 8       | 53.3   | 106     | 89.1   |
| R02年度 | 107     | 98.2   | 8       | 61.5   | 115     | 94.3   |
| R03年度 | 96      | 94.1   | 2       | 33.3   | 98      | 90.7   |

(10) 看護学部看護学科

◆ 学生数

(単位：人)

| 収容定員 | 入学定員 | 在 学 生 数 |       |       |       |       |     | 卒業者数 |
|------|------|---------|-------|-------|-------|-------|-----|------|
|      |      | 学年      | 1 学年次 | 2 学年次 | 3 学年次 | 4 学年次 | 計   |      |
| 400  | 100  | 男       | 6     | 2     | 4     | 3     | 15  | 3    |
|      |      | 女       | 98    | 105   | 92    | 103   | 398 | 102  |
|      |      | 計       | 104   | 107   | 96    | 106   | 413 | 105  |

◆ 学生数(年次推移)

(単位：人)

| 年 度   | 収容定員 | 入学定員 | 在 学 生 数 |       |       |       |     | 卒業者数 |
|-------|------|------|---------|-------|-------|-------|-----|------|
|       |      |      | 1 学年次   | 2 学年次 | 3 学年次 | 4 学年次 | 計   |      |
| H29年度 | 400  | 100  | 105     | 107   | 106   | 104   | 422 | 101  |
| H30年度 | 400  | 100  | 103     | 111   | 102   | 107   | 423 | 107  |
| R01年度 | 400  | 100  | 101     | 108   | 104   | 100   | 413 | 95   |
| R02年度 | 400  | 100  | 103     | 102   | 104   | 105   | 414 | 102  |
| R03年度 | 400  | 100  | 104     | 107   | 96    | 106   | 413 | 105  |

◆ 入試状況(一般選抜・学校推薦型選抜)

(単位：人)

| 年 度   | 一 般 選 抜 |      |      |      | 学 校 推 薦 型 選 抜 |      |      |      |      |
|-------|---------|------|------|------|---------------|------|------|------|------|
|       | 志願者数    | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 | 区分            | 志願者数 | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 |
| H29年度 | 587     | 575  | 212  | 69   | 指定校制          | 17   | 17   | 17   | 17   |
|       |         |      |      |      | 公募制           | 54   | 54   | 13   | 13   |
| H30年度 | 589     | 583  | 215  | 69   | 指定校制          | 13   | 13   | 13   | 13   |
|       |         |      |      |      | 公募制           | 50   | 50   | 18   | 18   |
| R01年度 | 518     | 514  | 221  | 64   | 指定校制          | 15   | 15   | 15   | 15   |
|       |         |      |      |      | 公募制           | 58   | 58   | 15   | 15   |
| R02年度 | 519     | 515  | 217  | 66   | 指定校制          | 17   | 17   | 17   | 17   |
|       |         |      |      |      | 公募制           | 59   | 59   | 13   | 13   |
| R03年度 | 522     | 516  | 218  | 70   | 指定校制          | 17   | 17   | 17   | 17   |
|       |         |      |      |      | 公募制           | 45   | 45   | 15   | 15   |

◆ 入試状況(社会人・大学入学共通テスト利用選抜)

(単位：人)

| 年 度   | 社会人等特別選抜 |      |      |      | 大学入学共通テスト利用選抜 |      |      |      |   |
|-------|----------|------|------|------|---------------|------|------|------|---|
|       | 志願者数     | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 | 志願者数          | 受験者数 | 合格者数 | 入学者数 |   |
| H29年度 | 2        | 2    | 2    | 1    | A方式           | 236  | 236  | 61   | 4 |
|       |          |      |      |      | B方式           | 142  | 142  | 41   | 1 |
| H30年度 | 4        | 2    | 1    | 1    | A方式           | 212  | 212  | 68   | 2 |
|       |          |      |      |      | B方式           | 152  | 151  | 54   | 0 |
| R01年度 | 1        | 1    | 0    | 0    | A方式           | 264  | 264  | 74   | 6 |
|       |          |      |      |      | B方式           | 166  | 165  | 59   | 1 |
| R02年度 | 3        | 3    | 0    | 0    | A方式           | 280  | 279  | 83   | 6 |
|       |          |      |      |      | B方式           | 189  | 189  | 69   | 1 |
| R03年度 | 1        | 1    | 0    | 0    | A方式           | 298  | 298  | 84   | 1 |
|       |          |      |      |      | B方式           | 191  | 189  | 79   | 1 |

◆ 国家試験合格者数及び合格率

| 年 度   | 看護師国家試験 |     |        |     | 保健師国家試験 |     |        |     |
|-------|---------|-----|--------|-----|---------|-----|--------|-----|
|       | 合格者数(人) |     | 合格率(%) |     | 合格者数(人) |     | 合格率(%) |     |
|       | 新卒者     | 既卒者 | 新卒者    | 既卒者 | 新卒者     | 既卒者 | 新卒者    | 既卒者 |
| H29年度 | 101     | -   | 100    | -   | 27      | 0   | 96.4   | 0   |
| H30年度 | 107     | -   | 100    | -   | 27      | 1   | 93.1   | 100 |
| R01年度 | 95      | -   | 100    | -   | 29      | 0   | 100    | 0   |
| R02年度 | 101     | -   | 99.0   | -   | 15      | 0   | 100    | 0   |
| R03年度 | 105     | 0   | 100    | 0   | 15      | -   | 100    | -   |

## (11) 研究員数

### ◆ 研究員数 (単位：人)

| 名 称   | 研究員数 |
|-------|------|
| 研究員   | 321  |
| 客員研究員 | 54   |

## (12) 国際交流の状況

### ◆ 大学

| 大学名       | 国 名         | 開始年月日    | 交流内容      |
|-----------|-------------|----------|-----------|
| 東亜大学校医科大学 | 大韓民国        | 平成27年6月  | 学生・研究者の交流 |
| ウッチ医科大学   | ポーランド共和国    | 平成28年2月  | 学生・研究者の交流 |
| バーモント大学   | アメリカ合衆国     | 平成29年11月 | 学生・研究者の交流 |
| シーラーズ医科大学 | イラン・イスラム共和国 | 令和元年8月   | 学生・研究者の交流 |
| キーウ医科大学   | ウクライナ       | 令和2年3月   | 学生・研究者の交流 |
| ポズナン医科大学  | ポーランド共和国    | 令和2年4月   | 学生・研究者の交流 |

### ◆ 医学部

| 大学名        | 国 名      | 開始年月日    | 交流内容      |
|------------|----------|----------|-----------|
| 南イリノイ大学医学部 | アメリカ合衆国  | 平成19年4月  | 学生の短期留学   |
| コンケン大学医学部  | タイ王国     | 平成23年11月 | 学生・研究者の交流 |
| ルール大学医学部   | ドイツ連邦共和国 | 平成24年1月  | 学生の短期留学   |

### ◆ 看護学部

| 大学名                            | 国 名     | 開始年月日    | 交流内容                            |
|--------------------------------|---------|----------|---------------------------------|
| サンディエゴ大学<br>ハーン看護健康科学学部        | アメリカ合衆国 | 平成14年7月  | 教育・研究に関する情報交換                   |
| オウル大学<br>医学部健康科学センター<br>看護科学学科 | フィンランド  | 平成16年6月  | 教員・研究者の招聘・派遣                    |
| ケース・ウェスタン・<br>リザーブ大学<br>看護学部   | アメリカ合衆国 | 平成21年3月  | 共同研究<br>学生の短期留学<br>教員・研究者の招聘・派遣 |
| マハサラカム大学<br>看護学部               | タイ王国    | 平成29年10月 | 学生の短期交換留学<br>教員・研究者の招聘・派遣       |

**(13) 総合学術情報センター(図書館部門)**

## ◆ 蔵書数(R4.3.31現)

(単位:冊)

(単位:種)

| 区分 | 医学・<br>看護学<br>書 | 一般教養書  | 製本雑誌   | 視聴覚資料 | 計      | カレント雑誌 |         |
|----|-----------------|--------|--------|-------|--------|--------|---------|
|    |                 |        |        |       |        | プリント版  | 電子ジャーナル |
| 和書 | 41,125          | 16,641 | 14,019 | 1,592 | 73,377 | 472    | 1,577   |
| 洋書 | 14,302          | 1,562  | 8,076  | 11    | 23,951 | 16     | 2,313   |
| 計  | 55,427          | 18,203 | 22,095 | 1,603 | 97,328 | 488    | 3,890   |

## ◆ 月別入館者数推移(R4.3.31現)

(単位:人)

| 月   | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月  | 計      |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|--------|
| 入館者 | 7,378 | 4,476 | 6,466 | 8,650 | 5,455 | 4,854 | 6,491 | 4,524 | 6,650 | 6,098 | 3,869 | 959 | 65,870 |

## ◆ 年間入館者数内訳(R4.3.31現)

(単位:人)

|      |        |
|------|--------|
| 学生   | 57,386 |
| 教職員  | 8,325  |
| 卒業生  | 18     |
| 学外者  | 0      |
| 高大連携 | 141    |

**(14) 公開講座**

## ◆ 公開講座概要

- ・ 講座名 愛知医科大学公開講座
- ・ 開催時期 9月の毎土曜日
- ・ 開催時間 午前10時から正午(H25年度以前:午後1時30分から午後3時30分)
- ・ 開催場所 たちばなホール(大学本館2階)
- ・ 開催回数 4回
- ・ 講師 本学教員(1回につき2名)

## ◆ 公開講座年次推移

(単位:人)

| 年度    | 講座名                  | 申込者数  | 受講者延数 |     | 全回出席者数<br>(修了証授与者数) |
|-------|----------------------|-------|-------|-----|---------------------|
|       |                      |       | 男性    | 女性  |                     |
| H29年度 | 〇〇と診断されたら            | 246   | 348   | 381 | 103                 |
| H30年度 | 知って得する最新医療           | 228   | 344   | 303 | 85                  |
| R01年度 | 健康で生きるために            | 429   | 432   | 443 | 78                  |
| R02年度 | 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み中止 | —     | —     | —   | —                   |
| R03年度 | コロナ時代の健康講座           | 1,509 | ※964  |     | —                   |

※ 受講者の平均年齢は約60歳

※R3はyoutubeによる動画公開形式で開催し、受講者延数は視聴回数です。

## (15) 大学病院概要

### ◆ 特 徴

昭和47年12月愛知医科大学附属病院として開院，昭和54年7月救命救急センターを開設し，地域の重篤救急患者の医療確保に対応，昭和61年1月特定承認保険医療機関として高度先進医療を開始し，平成6年2月特定機能病院として承認されている。

加えて，平成8年3月に中部地区で初の高度救命救急センターに認定，平成14年1月からドクターヘリ事業が開始され，地域の救急医療の重責を担っている。

平成8年10月にはエイズ拠点病院，同年11月に災害拠点病院，平成11年2月に難病医療拠点病院に指定されている。

平成17年4月に愛知医科大学病院へ改称。同年10月に(公財)日本医療機能評価機構の認定を受け，平成22年10月に更新。

平成18年9月に基幹災害拠点病院に指定され，平成20年10月にはDMAT指定医療機関として災害派遣医療チームを編成し待機させている。

また，平成22年4月肝疾患診療連携拠点病院，同年6月愛知県がん診療拠点病院，平成23年4月救急告示病院，平成25年4月地域周産期母子医療センター，同年9月愛知県認知症疾患医療センターの指定を受けている。

平成26年5月9日に新病院が開院した。約27万平米の敷地に，延床面積約8万7000平米，地上15階，地下1階で，基幹災害拠点病院として診療機能を維持できる高性能免震構造となっている。

「生活時間の最大活用」「医療の可視化」「地域との協力」をコンセプトに，高度専門医療機能の強化と地域救急医療の充実に重点を置いた最先端の医療環境を整備し，数多くの最新医療機器を導入し，また新病院を機に高度急性期医療を支える「電子カルテシステム」，地域連携を支える「地域医療連携ネットワークシステム」を導入した。

### ◆ 理 念

診療・教育・研究のすべての領域において，医療を基盤とした社会貢献を目指す

- ・社会の信頼に応えうる医療機関
- ・人間性豊かな医療人を育成できる教育機関
- ・新しい医療の開発と社会還元が可能な研究機関

### ◆ 基本方針

1. 人間性を尊重した患者中心の医療の提供
2. 安全で良質な医療の実践
3. 思いやりと温もりのある医療人の育成
4. 先進的医療技術の開発・導入・実践の推進
5. 災害・救急医療への積極的な取り組み
6. 地域医療連携の推進及び地域医療への貢献

### ◆ 許可病床数

(単位：床)

| 一 般 | 精 神 | 計   |
|-----|-----|-----|
| 853 | 47  | 900 |

### ◆ 診療科・部門

|         |       |
|---------|-------|
| 診療科     | 36科   |
| 中央診療部門等 | 41部門等 |

(事務部門除く)

### ◆ 職員数

(単位：人)

| 区 分  | 職員数     |       |
|------|---------|-------|
| 医師   | 490     |       |
| 歯科医師 | 13      |       |
| 看護職員 | 助産師     | 32    |
|      | 看護師     | 1,016 |
|      | 准看護師    | 1     |
| 医療職員 | 薬剤師     | 77    |
|      | 臨床検査技師  | 67    |
|      | 診療放射線技師 | 65    |
|      | 理学療法士   | 38    |
|      | 作業療法士   | 13    |
|      | 言語聴覚士   | 7     |
|      | 栄養士     | 15    |
|      | 歯科技工士   | 2     |

| 区 分   | 職員数     |       |
|-------|---------|-------|
| 医療職員  | 歯科衛生士   | 5     |
|       | 視能訓練士   | 8     |
|       | 臨床工学技士  | 21    |
|       | 臨床心理士   | 6     |
|       | 精神保健福祉士 | 2     |
|       | 社会福祉士   | 8     |
| 事務職員  | 事務職員    | 90    |
| 技術職員  | 臨床技術員   | 10    |
|       | 医療技術員   | 4     |
| 技能職員  | 調理師     | 29    |
| 業務職員  | 看護補助員   | 1     |
| その他   |         | 6     |
| 合 計   |         | 2,026 |
| 臨床研修医 |         | 61    |

## (16) 大学病院業務統計

◆ 各中央診療部門等の業務統計 (R03年度)

(R4. 3. 31)

(単位：件)

| 業 務 名                  |            | 件 数       | 計         |
|------------------------|------------|-----------|-----------|
| 手術件数                   |            | 13,333    | 13,333    |
| 分娩件数                   | 正常分娩       | 243       | 486       |
|                        | 異常分娩       | 243       |           |
| 放射線取扱件数                | 診断         | 205,771   | 241,128   |
|                        | 治療         | 31,865    |           |
|                        | R・I        | 3,492     |           |
| 調剤件数                   |            | 1,347,745 | 1,347,745 |
| 注射薬処方件数                |            | 709,650   | 709,650   |
| 院外処方件数                 |            | 11,124    | 11,124    |
| 病理検査件数                 | 病理組織検査     | 13,042    | 33,519    |
|                        | 術中組織検査     | 762       |           |
|                        | 病理診断       | 11,494    |           |
|                        | 細胞診断       | 8,221     |           |
| 輸血業務                   | 輸血検査       | 58,254    | 95,540    |
|                        | 同種血輸血(単位)  | 35,460    |           |
|                        | 自己血輸血(単位)  | 791       |           |
|                        | 自己血貯血(単位)  | 1,022     |           |
|                        | 細胞採取(回)    | 13        |           |
| 臨床検査件数                 | 微生物学的検査    | 80,894    | 6,156,634 |
|                        | 免疫血清学的検査   | 376,338   |           |
|                        | 血液学的検査     | 588,748   |           |
|                        | 生理機能検査     | 60,065    |           |
|                        | 一般検査       | 203,311   |           |
|                        | 遺伝子検査      | 59,825    |           |
|                        | 生化学的検査     | 4,537,193 |           |
|                        | 緊急検査       | 74,313    |           |
|                        | 外注検査       | 175,947   |           |
| リハビリテーション患者延数          | 外来患者(人)    | 11,629    | 70,642    |
|                        | 入院患者(人)    | 59,013    |           |
| 腎センター患者延数              | 外来患者(人)    | 2,363     | 6,444     |
|                        | 入院患者(人)    | 4,081     |           |
| 睡眠科患者延数                | 外来患者(人)    | 11,909    | 12,636    |
|                        | 入院患者(人)    | 727       |           |
| 内視鏡センター検査件数            | 上部消化管内視鏡   | 4,795     | 9,915     |
|                        | 下部消化管内視鏡   | 3,433     |           |
|                        | カプセル消化管内視鏡 | 33        |           |
|                        | 胆・膵消化管内視鏡  | 1,365     |           |
|                        | 気管支鏡       | 257       |           |
|                        | 小腸         | 32        |           |
| 生殖・周産期母子<br>医療センター患者延数 | N I C U(人) | 2,487     | 5,467     |
|                        | G C U(人)   | 2,980     |           |
| 病理解剖                   | 件数         | 13        | 13        |
|                        | 剖検率(%)     | 1.9       | 1.9       |

(16) 大学病院業務統計

〔法令による医療機関の指定〕

(R4. 3. 31)

| 法令等の名称                 |                    | 年月日         |
|------------------------|--------------------|-------------|
| 医療法第7条第1項による開設許可(承認)   |                    | S47. 11. 28 |
| 特定機能病院の名称の使用承認         |                    | H6. 2. 1    |
| 労働者災害補償保険法による医療機関      |                    | S49. 6. 1   |
| 地方公務員災害補償法による医療機関      |                    |             |
| 原爆援護法                  | 一般医療               |             |
| 戦傷病者特別援護法による医療機関       |                    |             |
| 母子保健法                  | 妊婦乳児健康診査<br>療育医療機関 |             |
| 生活保護法による医療機関           |                    | S49. 6. 18  |
| 障害者自立支援法               | 育成医療               | S49. 6. 1   |
|                        | 更生医療               |             |
|                        | 精神通院医療             | S49. 8. 1   |
| 臨床修練指定病院(外国医師, 外国歯科医師) |                    | S63. 3. 29  |
| 基幹災害医療センター指定           |                    | H18. 9. 25  |
| DPCの導入                 |                    | H15. 7. 1   |
| 救急病院の指定                |                    | H23. 4. 1   |
| 小児慢性特定疾患治療研究事業         |                    | H27. 1. 1   |
| 先天性血液凝固因子障害等治療研究事業     |                    | H1. 4. 1    |

## ◆ 届出事項

(R4. 3. 31)

## 〔東海北陸厚生局への届出事項〕

| 診療料 (基本診療料)     | 年月日        |
|-----------------|------------|
| 名称              |            |
| 地域歯科診療支援病院歯科初診料 | H22. 4. 1  |
| 歯科外来診療環境体制加算 2  | H30. 9. 1  |
| 歯科診療特別対応連携加算    | H22. 4. 1  |
| 特定機能病院入院基本料     | R2. 9. 1   |
| 救急医療管理加算        | R2. 4. 1   |
| 超急性期脳卒中加算       | H20. 4. 1  |
| 診療録管理体制加算 2     | H13. 4. 1  |
| 医師事務作業補助体制加算 1  | R4. 1. 1   |
| 急性期看護補助体制加算     | R3. 10. 1  |
| 看護職員夜間配置加算      | H30. 8. 1  |
| 療養環境加算          | H26. 5. 1  |
| 重症者等療養環境特別加算    | H27. 8. 1  |
| 無菌治療室管理加算 1     | R2. 6. 1   |
| 緩和ケア診療加算        | H26. 7. 1  |
| 精神科身体合併症管理加算    | H28. 7. 1  |
| 精神科リエゾンチーム加算    | H28. 6. 1  |
| 栄養サポートチーム加算     | H23. 8. 1  |
| 医療安全対策加算 1      | H20. 4. 1  |
| 感染防止対策加算 1      | H30. 4. 1  |
| 患者サポート体制充実加算    | H24. 4. 1  |
| 褥瘡ハイリスク患者ケア加算   | H19. 10. 1 |
| ハイリスク妊娠管理加算     | H20. 4. 1  |
| ハイリスク分娩管理加算     | H20. 4. 1  |
| 呼吸ケアチーム加算       | H24. 10. 1 |
| 病棟薬剤業務実施加算 1    | H27. 10. 1 |
| 病棟薬剤業務実施加算 2    | H28. 4. 1  |
| データ提出加算         | H24. 10. 1 |
| 入退院支援加算         | H30. 4. 1  |
| 精神疾患診療体制加算      | H28. 4. 1  |
| 精神科急性期医師配置加算    | R2. 4. 1   |
| 排尿自立支援加算        | R2. 9. 1   |
| 地域医療体制確保加算      | R2. 4. 1   |
| 地域歯科診療支援病院入院加算  | H20. 4. 1  |
| 救命救急入院料 3       | H31. 4. 1  |
| 救命救急入院料 4       | H31. 4. 1  |
| 特定集中治療室管理料 2    | H31. 3. 1  |
| 新生児特定集中治療室管理料 1 | H26. 8. 1  |
| 新生児治療回復室入院医療管理料 | H26. 5. 1  |
| 小児入院医療管理料 2     | H26. 5. 1  |

| 診療料 (特掲診療料)  | 年月日        |
|--|------------|
| 名称   |            |
| 歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料                      | H18. 4. 1  |
| 外来栄養食事指導料の注 2  | R2. 4. 1   |
| 心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算                          | R2. 4. 1   |
| 糖尿病合併症管理料  | H22. 4. 1  |
| がん性疼痛緩和指導管理料   | H22. 4. 1  |
| がん患者指導管理料イ   | H22. 4. 1  |
| がん患者指導管理料ロ   | H26. 5. 1  |
| がん患者指導管理料ハ   | H26. 4. 1  |
| がん患者指導管理料ニ   | R2. 4. 1   |
| 外来緩和ケア管理料  | H26. 7. 1  |
| 移植後患者指導管理料 (臓器移植後)                                       | H25. 11. 1 |
| 移植後患者指導管理料 (造血幹細胞移植後)                                    |            |
| 糖尿病透析予防指導管理料   | H24. 4. 1  |
| 婦人科特定疾患治療管理料   | R2. 10. 1  |
| 腎代替療法指導管理料   | R2. 4. 1   |
| 院内トリアージ実施料   | H24. 4. 1  |
| 外来放射線照射診療料   | H24. 4. 1  |
| ニコチン依存症管理料   | R1. 7. 1   |
| がん治療連携計画策定料  | H22. 11. 1 |
| がん治療連携指導料  | H29. 4. 1  |
| 外来排尿自立指導料  | R2. 9. 1   |
| 肝炎インターフェロン治療計画料  | H22. 4. 1  |
| ハイリスク妊産婦連携指導料 1  | H30. 4. 1  |
| ハイリスク妊産婦連携指導料 2  | H30. 4. 1  |
| 薬剤管理指導料  | H22. 4. 1  |
| 検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料                                  | H28. 4. 1  |
| 医療機器安全管理料 1  | H20. 4. 1  |
| 医療機器安全管理料 2  | H20. 4. 1  |
| 医療機器安全管理料 (歯科)   | H20. 4. 1  |
| 精神科退院時共同指導料 1 及び 2                                       | R2. 4. 1   |
| 歯科疾患在宅療養管理料の注 4 に掲げる在宅総合医療管理加算及び在宅患者歯科治療時医療管理料           | H22. 4. 1  |
| 在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注 2 に掲げる遠隔モニタリング加算                       | H30. 4. 1  |
| 在宅腫瘍治療電場療法指導管理料  | R2. 10. 1  |
| 持続血糖測定器加算 (間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合) 及び皮下連続式グルコース測定 | H26. 4. 1  |
| 持続血糖測定器加算 (間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)               | R2. 5. 1   |
| 遺伝学的検査   | H28. 4. 1  |
| 有床義歯咀嚼機能検査 1 の口及び咀嚼能力検査                                  | R2. 5. 1   |
| 精密触覚機能検査   | H30. 5. 1  |
| 骨髄微小残存病変量測定  | H30. 6. 1  |

## 〔東海北陸厚生局への届出事項〕

| 診療料 (特掲診療料)                                 | 年月日       |
|---|-----------|
| 名称  |           |
| B R C A 1 / 2 遺伝子検査                         | R2. 4. 1  |
| がんゲノムプロファイリング検査                             | R2. 4. 1  |
| 先天性代謝異常症検査                                  | R2. 4. 1  |
| 抗H L A抗体 (スクリーニング検査) 及び抗H L A抗体 (抗体特異性同定検査) | H31. 4. 1 |
| H P V核酸検出及びH P V核酸検出 (簡易ジェノタイプ判定)           | H26. 4. 1 |
| ウイルス・細菌核酸多項目同時検出                            | R2. 4. 1  |
| 検体検査管理加算 (IV)                               | H22. 4. 1 |
| 国際標準検査管理加算                                  | H30. 2. 1 |
| 遺伝カウンセリング加算                                 | H20. 4. 1 |
| 遺伝性腫瘍カウンセリング加算                              | R2. 4. 1  |
| 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算                    | H20. 4. 1 |
| 胎児心エコー法                                     | H31. 1. 1 |
| 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト                      | H24. 4. 1 |
| ヘッドアップティルト試験                                | H24. 4. 1 |
| 人工臓器検査、人工臓器療法                               | H30. 2. 1 |
| 長期継続頭蓋内脳波検査                                 | H12. 4. 1 |
| 脳波検査判断料 1                                   | H30. 4. 1 |
| 単線維筋電図                                      | R2. 4. 1  |
| 終夜睡眠ポリグラフィ (安全精度管理下で行うもの)                   | R2. 8. 1  |
| 神経学的検査                                      | H20. 4. 1 |
| 補聴器適合検査                                     | H12. 6. 1 |
| ロービジョン検査判断料                                 | H29. 8. 1 |
| コンタクトレンズ検査料 1                               | H28. 6. 1 |
| 小児食物アレルギー負荷検査                               | H18. 4. 1 |
| 内服・点滴誘発試験                                   | H22. 4. 1 |
| C T透視下気管支鏡検査加算                              | H24. 4. 1 |
| 画像診断管理加算 3                                  | H30. 8. 1 |
| ポジトロン断層撮影                                   | H26. 5. 1 |
| ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影                       | H26. 5. 1 |
| C T撮影及びMR I撮影                               | H27. 1. 1 |
| 冠動脈C T撮影加算                                  | H27. 1. 1 |
| 血流予備量比コンピューター断層撮影                           | R2. 4. 1  |
| 外傷全身C T加算                                   | H27. 1. 1 |
| 心臓MR I撮影加算                                  | H27. 1. 1 |
| 乳房MR I撮影加算                                  | H28. 4. 1 |
| 小児鎮静下MR I撮影加算                               | H30. 4. 1 |

| 診療料 (特掲診療料)                                       | 年月日        |
|---|------------|
| 名称  |            |
| 頭部MR I撮影加算  | R1. 11. 1  |
| 全身MR I撮影加算  | R2. 4. 1   |
| 抗悪性腫瘍剤処方管理加算                                      | H22. 4. 1  |
| 外来化学療法加算 1  | H21. 5. 1  |
| 連携充実加算  | R2. 4. 1   |
| 無菌製剤処理料   | H20. 4. 1  |
| 心大血管疾患リハビリテーション料 (I)                              | H25. 6. 1  |
| 脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)                              | H24. 4. 1  |
| 運動器リハビリテーション料 (I)                                 | H24. 4. 1  |
| 呼吸器リハビリテーション料 (I)                                 | H24. 4. 1  |
| がん患者リハビリテーション料                                    | H28. 11. 1 |
| リンパ浮腫複合的治療料                                       |            |
| 歯科口腔リハビリテーション料 2                                  | H26. 4. 1  |
| 療養生活環境整備指導加算                                      | R2. 4. 1   |
| 抗精神病特定薬剤治療指導管理料 (治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)           | H26. 4. 1  |
| 医療保護入院等診療料  | H17. 9. 1  |
| 静脈圧迫処置 (慢性静脈不全に対するもの)                             | R2. 4. 1   |
| 硬膜外自家血注入  | H30. 5. 1  |
| 人工腎臓  | H30. 4. 1  |
| 導入期加算 2 及び腎代替療法実績加算                               | R2. 4. 1   |
| 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算                             | R3. 9. 1   |
| 手術用顕微鏡加算  | H28. 11. 1 |
| C A D / C A M冠                                    | H28. 1. 1  |
| 歯科技工加算 1 及び 2                                     | H22. 4. 1  |
| センチネルリンパ節加算                                       | H22. 4. 1  |
| 皮膚移植術 (死体)  | H30. 4. 1  |
| 組織拡張器による再建手術 (乳房 (再建手術) の場合に限る。)                  | H25. 8. 19 |
| 骨移植術 (軟骨移植術を含む。)(同種骨移植 (非生体) (同種骨移植 (特殊なものに限る。))) | H28. 4. 1  |
| 骨移植術 (軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)                   | H26. 3. 3  |
| 後縦靭帯骨化症手術 (前方進入によるもの)                             | H30. 4. 1  |
| 椎間板内酵素注入療法  | R2. 4. 1   |
| 腫瘍脊椎骨全摘術  | H24. 4. 1  |
| 脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術                                | H12. 4. 1  |
| 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術                              | H12. 4. 1  |
| 仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術 (過活動膀胱)                  | H30. 4. 1  |
| 緑内障手術 (緑内障治療用インプラント挿入術 (プレートのあるもの))               | H26. 4. 1  |

## 〔東海北陸厚生局への届出事項〕

| 診療料 (特掲診療料)  | 年月日        |
|--|------------|
| 名称   |            |
| 緑内障手術 (水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)  | H30. 4. 1  |
| 網膜再建術  | R1. 10. 1  |
| 人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術   | H26. 3. 3  |
| 内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型 (拡大副鼻腔手術)  | H26. 4. 1  |
| 鏡視下咽頭悪性腫瘍手術 (軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)  | R2. 8. 1   |
| 鏡視下喉頭悪性腫瘍手術  | R2. 8. 1   |
| 上顎骨形成術 (骨移動を伴う場合に限る。)<br>(歯科)、下顎骨形成術 (骨移動を伴う場合に限る。)<br>(歯科)              | H24. 4. 1  |
| 内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下パセドウ甲状腺全摘 (亜全摘) 術 (両葉)、内視鏡下副甲状腺 (上皮小体) 腺腫過形成手術     | R2. 8. 1   |
| 乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検 (併用)  | H22. 4. 1  |
| 乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検 (単独)  | H22. 4. 1  |
| ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術 (乳房切除後)  | H25. 8. 19 |
| 胸腔鏡下拡大胸腺摘出術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)   | R2. 4. 1   |
| 胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)  | H30. 4. 1  |
| 胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)  | H30. 4. 1  |
| 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 (区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)   | R1. 6. 1   |
| 肺悪性腫瘍手術 (縦隔・縦隔胸膜全切除 (縦隔膜、心臓併切除を伴うもの) に限る。)                               | H28. 5. 1  |
| 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術<br>(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)                        | R1. 6. 1   |
| 食道縫合術 (穿孔、損傷) (内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術 (内視鏡によるもの)、等            | R3. 4. 1   |
| 内視鏡下筋層切開術  | R2. 10. 1  |
| 経皮的冠動脈形成術 (特殊カテーテルによるもの)   | R2. 4. 1   |
| 胸腔鏡下弁形成術   | H30. 4. 1  |
| 経カテーテル大動脈弁置換術  | H29. 6. 1  |
| 胸腔鏡下弁置換術   | H30. 4. 1  |
| 経皮的左心筋焼灼術  | H20. 12. 1 |
| ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術   | H10. 4. 1  |
| ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 (リードレスペースメーカー)                                    | H30. 4. 1  |
| 両心室ペースメーカー移植術 (経静脈電極の場合) 及び両心室ペースメーカー交換術 (経静脈電極の場合)                      | H19. 1. 1  |
| 植込型除細動器移植術 (経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの) 植込型除細動器交換術 (その他のもの) 及び経静脈電極除去術 | H15. 2. 1  |
| 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術 (経静脈電極の場合) 及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術 (経静脈電極の場合)      | H20. 4. 1  |
| 大動脈バルーンパンピング法 (IABP法)  | H10. 4. 1  |
| 経皮的循環補助法 (ポンプカテーテルを用いたもの)  | H31. 2. 1  |
| 補助人工心臓   | H29. 6. 1  |
| 経皮的下肢動脈形成術   | R2. 4. 1   |
| 腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術<br>腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術<br>腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、等            | H20. 7. 1  |
| 腹腔鏡下胃切除術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)  | H31. 1. 1  |
| 腹腔鏡下噴門側胃切除術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)   | H31. 1. 1  |

| 診療料 (特掲診療料)  | 年月日       |
|--|-----------|
| 名称   |           |
| 腹腔鏡下十二指腸局所切除術 (内視鏡処置を併施するもの)                             | R2. 4. 1  |
| 腹腔鏡下胃縮小術 (スリーブ状切除によるもの)                                  | H30. 3. 1 |
| 腹腔鏡下胃全摘術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)                              | H31. 1. 1 |
| バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術  | H30. 4. 1 |
| 胆管悪性腫瘍手術 (総胆管切除及び肝切除 (葉以上) を伴うものに限る。)                    | H28. 4. 1 |
| 腹腔鏡下肝切除術   | H22. 4. 1 |
| 生体部分肝移植術   | H15. 2. 1 |
| 腹腔鏡下膝腫瘍摘出術   | R2. 4. 1  |
| 腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術  | H24. 4. 1 |
| 腹腔鏡下腓頭部腫瘍切除術   | R2. 3. 1  |
| 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術  | H24. 4. 1 |
| 腹腔鏡下直腸切除・切断術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)                          |           |
| 腹腔鏡下腎盂形成手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)                            | R3. 2. 1  |
| 体外衝撃波腎・尿管結石破砕術   | H2. 1. 1  |
| 腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの)                           | H28. 4. 1 |
| 同種死体腎移植術   | H29. 9. 1 |
| 生体腎移植術   | H24. 6. 1 |
| 膀胱水圧拡張術  | H22. 4. 1 |
| 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)                          | H30. 4. 1 |
| 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術   | R2. 1. 1  |
| 腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術  | R2. 1. 1  |
| 人工尿道括約筋植込・置換術  | H25. 7. 1 |
| 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術 (内視鏡手術用支援機器を用いるもの)                         | H24. 5. 1 |
| 腹腔鏡下仙骨腫瘍固定術  | R2. 11. 1 |
| 腹腔鏡下仙骨腫瘍固定術 (内視鏡手術用支援機器を用いる場合)                           | R2. 11. 1 |
| 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術 (子宮体がんに限る。)                                 | H26. 4. 1 |
| 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術 (子宮頸がんに限る。)                                 | H30. 4. 1 |
| 医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術                               | H26. 4. 1 |
| 医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術 (遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)  | R3. 1. 1  |
| 医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術 (遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮付属器腫瘍摘出術) | R3. 1. 1  |
| 輸血管管理料 I   | H26. 5. 1 |
| 輸血適正使用加算   | R2. 4. 1  |
| コーディネート体制充実加算  | R3. 10. 1 |
| 同種クリオプレシビレート作製術  | R2. 4. 1  |
| 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算  | H24. 4. 1 |
| 胃瘻造設時嚥下機能評価加算  | H26. 4. 1 |

(R4. 3. 31)

〔東海北陸厚生局への届出事項〕

| 診療料 (特掲診療料)       | 年月日        |
|-------------------|------------|
| 名称                |            |
| 歯周組織再生誘導手術        | H20. 4. 1  |
| 広範囲顎骨支持型装置埋入手術    | H24. 5. 1  |
| 歯根端切除手術の注 3       | H28. 11. 1 |
| 麻酔管理料 (I)         | H8. 4. 1   |
| 麻酔管理料 (II)        | R2. 4. 1   |
| 放射線治療専任加算         | H14. 4. 1  |
| 外来放射線治療加算         | H20. 4. 1  |
| 高エネルギー放射線治療       | H14. 4. 1  |
| 1 回線量増加加算         | H30. 4. 1  |
| 強度変調放射線治療 (IMRT)  | H27. 4. 1  |
| 画像誘導放射線治療 (IGRT)  | H30. 10. 1 |
| 体外照射呼吸性移動対策加算     | H26. 11. 1 |
| 定位放射線治療           | H26. 11. 1 |
| 定位放射線治療呼吸性移動対策加算  | H26. 12. 1 |
| 保険医療機関間の連携による病理診断 | H29. 12. 1 |
| 病理診断管理加算 1        | H26. 7. 1  |
| 病理診断管理加算 2        | H28. 6. 1  |
| 悪性腫瘍病理組織標本加算      | H30. 6. 1  |
| 口腔病理診断管理加算 2      | H29. 9. 1  |
| クラウン・ブリッジ維持管理料    | H8. 5. 1   |

◆ 特掲診療料の施設基準(通則5及び6)に掲げる手術の実施件数(R3.1.1~R3.12.31) (単位:件)

| 手術名                                  | 実施件数(年間) |
|--------------------------------------|----------|
| 頭蓋内腫瘍摘出術等                            | 52       |
| 黄班下手術等                               | 477      |
| 鼓室形成手術等                              | 0        |
| 肺悪性腫瘍手術等                             | 122      |
| 経皮的カテーテル心筋焼灼術                        | 192      |
| 靭帯断裂形成術等                             | 76       |
| 水頭症手術等                               | 54       |
| 鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等                          | 72       |
| 尿道形成手術等                              | 4        |
| 角膜移植術                                | 1        |
| 肝切除術等                                | 36       |
| 子宮附属器悪性腫瘍手術等                         | 34       |
| 上顎骨形成術等                              | 12       |
| 上顎骨悪性腫瘍手術等                           | 23       |
| バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(全葉)                  | 7        |
| 母指化手術等                               | 1        |
| 内反足手術等                               | 0        |
| 食道切除再建術等                             | 2        |
| 同種腎移植術等                              | 18       |
| 胸腔鏡を用いる手術および腹腔鏡を用いる手術                | 1184     |
| 人工関節置換術                              | 244      |
| 乳児外科施設基準対象手術                         | 18       |
| ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術               | 26       |
| 冠動脈, 大動脈バイパス移植術(人工心肺を使用しないものを含む)     | 48       |
| 経皮的冠動脈形成術, 経皮的冠動脈粥腫切除及び経皮的冠動脈ステント留置術 | 253      |

(17) 高度救命救急センター

◆ 救急車搬送件数 (単位：件)

| 年 度   | 件 数   | 1 日平均 |
|-------|-------|-------|
| H29年度 | 6,494 | 17.8  |
| H30年度 | 7,077 | 19.4  |
| R01年度 | 6,836 | 18.7  |
| R02年度 | 5,784 | 15.8  |
| R03年度 | 5,695 | 15.6  |

◆ 患者数 (単位：人)

| 年 度   | 区 分   | 実患者数  | 延患者数   | 1 日平均 |
|-------|-------|-------|--------|-------|
| H29年度 | I C U | 824   | 3,846  | 10.5  |
|       | H C U | 2,594 | 8,872  | 24.3  |
|       | 計     | 3,418 | 12,718 | 34.8  |
| H30年度 | I C U | 882   | 3,652  | 10    |
|       | H C U | 2,728 | 8,314  | 22.8  |
|       | 計     | 3,610 | 11,966 | 32.8  |
| R01年度 | I C U | 878   | 3,915  | 10.7  |
|       | H C U | 2,638 | 8,196  | 22.4  |
|       | 計     | 3,516 | 12,111 | 33.1  |
| R02年度 | I C U | 867   | 3,787  | 10.4  |
|       | H C U | 1,724 | 5,548  | 15.2  |
|       | 計     | 2,591 | 9,335  | 25.6  |
| R03年度 | I C U | 992   | 3,987  | 10.9  |
|       | H C U | 1,962 | 6,718  | 18.4  |
|       | 計     | 2,954 | 10,705 | 29.3  |

◆ 疾患別収容患者数 (単位：人)

| 循環器疾患 | 脳血管障害 | 呼吸器疾患 | 腹部疾患 | 熱 傷 患 | 左記以外呼吸管理 | その他  | 計     |
|-------|-------|-------|------|-------|----------|------|-------|
| 386   | 122   | 48    | 53   | 18    | 0        | 190  | 790   |
| 333   | 378   | 429   | 574  | 9     | 8        | 848  | 2,432 |
| 719   | 500   | 477   | 627  | 27    | 8        | 1038 | 3,222 |
| 401   | 178   | 49    | 74   | 11    | 2        | 167  | 817   |
| 288   | 329   | 402   | 641  | 13    | 8        | 1047 | 2,579 |
| 689   | 507   | 451   | 715  | 24    | 10       | 1214 | 3,396 |
| 403   | 146   | 55    | 78   | 15    | 0        | 180  | 882   |
| 370   | 329   | 351   | 551  | 14    | 4        | 1019 | 2,728 |
| 773   | 475   | 406   | 629  | 29    | 4        | 1199 | 3,610 |
| 340   | 139   | 92    | 83   | 11    | 4        | 198  | 867   |
| 196   | 162   | 558   | 218  | 11    | 19       | 560  | 1,724 |
| 536   | 301   | 650   | 301  | 22    | 23       | 758  | 2,591 |
| 432   | 123   | 111   | 64   | 18    | 1        | 236  | 985   |
| 200   | 156   | 613   | 206  | 8     | 13       | 757  | 1,953 |
| 632   | 279   | 724   | 270  | 26    | 14       | 993  | 2,938 |

◆ ドクターヘリ出動種類別実績(ドクターヘリ事業は平成14年1月1日から開始)

| 年 度   | 総出動要請数<br>(件) | 救急現場<br>(件) | 病院間転送<br>(件) | キャンセル<br>(件) | 当院搬送数<br>(件) | 当院搬送割合<br>(%) |
|-------|---------------|-------------|--------------|--------------|--------------|---------------|
| H29年度 | 417           | 283         | 38           | 96           | 162          | 50.5          |
| H30年度 | 509           | 334         | 40           | 135          | 178          | 47.6          |
| R01年度 | 449           | 305         | 49           | 95           | 194          | 54.8          |
| R02年度 | 367           | 248         | 28           | 91           | 108          | 39.1          |
| R03年度 | 398           | 290         | 31           | 77           | 125          | 38.9          |

病院間転送・・・本院から他院への患者搬送，他院から本院又は他院への患者搬送

キャンセル・・・出動命令後の要請取消

当院搬送割合・・・当院搬送数／救急現場＋病院間転送

(18) 大学病院病床数・患者数等

◆ 病床数

(単位：床)

| 年 度   | 一 般 | 精 神 | 計   | 稼働病床数 |
|-------|-----|-----|-----|-------|
| H29年度 | 853 | 47  | 900 | 832   |
| H30年度 | 853 | 47  | 900 | 832   |
| R01年度 | 853 | 47  | 900 | 832   |
| R02年度 | 853 | 47  | 900 | 832   |
| R03年度 | 853 | 47  | 900 | 832   |

◆ 外来患者数

| 年 度   | 新患者数<br>(人) | 延患者数<br>(人) | 1日平均<br>(人) | 診療実日数<br>(日) |
|-------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| H29年度 | 14,512      | 643,926     | 2,639.0     | 244          |
| H30年度 | 14,383      | 647,460     | 2,653.5     | 244          |
| R01年度 | 14,423      | 647,006     | 2,619.5     | 247          |
| R02年度 | 12,232      | 599,017     | 2,415.4     | 248          |
| R03年度 | 12,788      | 638,492     | 2,574.6     | 248          |

◆ 入院患者数

| 年 度   | 延患者数<br>(人) | 1日平均<br>(人) | 診療実日数<br>(日) | 新入院患者数<br>(人) | 退院患者数<br>(人) | 平均在院日数<br>※ (日) | 病床利用率<br>(%) |
|-------|-------------|-------------|--------------|---------------|--------------|-----------------|--------------|
| H29年度 | 275,770     | 755.5       | 365          | 23,540        | 23,515       | 10.7            | 90.8         |
| H30年度 | 268,997     | 737.0       | 365          | 23,918        | 23,989       | 10.2            | 88.6         |
| R01年度 | 274,650     | 750.4       | 366          | 24,798        | 24,768       | 10.1            | 90.2         |
| R02年度 | 247,403     | 677.8       | 365          | 22,211        | 22,181       | 10.1            | 81.5         |
| R03年度 | 259,543     | 711.1       | 365          | 23,516        | 23,538       | 10.0            | 85.5         |

※ 平均在院日数 =  $\frac{(\text{延患者数} - \text{退院患者数})}{1/2(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})}$

◆ 地域医療連携関係(R3年度)

| 区 分      | 紹介患者数  | 事前紹介予約受付数 |
|----------|--------|-----------|
| 延 数 (人)  | 30,624 | 22,461    |
| 1日平均 (人) | 123.5  | 75.1      |

(R4.3.31現)

| 登録医施設数 | 登録医数<br>(人) |
|--------|-------------|
| 1,700  | 1,897       |

(19) 大学病院分析指標(主要比率)

◆ 職員数等

(単位：人)

| 年 度   | 100床当たりの<br>職員数 | 100床当たりの<br>医師数 | 100床当たりの<br>看護師数 |
|-------|-----------------|-----------------|------------------|
| H29年度 | 238.1           | 60.5            | 122.2            |
| H30年度 | 238.7           | 61.1            | 121.5            |
| R01年度 | 238.5           | 61.1            | 122.1            |
| R02年度 | 237.7           | 60.8            | 121.5            |
| R03年度 | 243.5           | 60.5            | 126.1            |

※ 100床当たりの収入等の算出基礎となる病床数は稼働病床数とした。

(単位：人)

| 年 度   | 患者100人当たりの<br>職員数 | 患者100人当たりの<br>医師数 | 患者100人当たりの<br>看護師数 |
|-------|-------------------|-------------------|--------------------|
| H29年度 | 121.1             | 30.8              | 62.2               |
| H30年度 | 122.5             | 31.3              | 62.3               |
| R01年度 | 122.2             | 31.3              | 62.6               |
| R02年度 | 133.4             | 34.1              | 68.2               |
| R03年度 | 129.1             | 32.1              | 66.8               |

◆ 収 入

(単位：千円)

| 年 度   | 入院収入       | 外来収入       |
|-------|------------|------------|
| H29年度 | 19,748,124 | 12,986,611 |
| H30年度 | 19,783,467 | 13,378,171 |
| R01年度 | 20,918,486 | 14,983,049 |
| R02年度 | 20,108,341 | 15,073,421 |
| R03年度 | 22,035,306 | 16,401,216 |

注) 室料差額収入は含まれていない。

(単位：千円)

| 年 度   | 100床当たりの<br>医療収入 | 職員1人当たりの<br>年間収入 | 医師1人当たりの<br>年間収入 |
|-------|------------------|------------------|------------------|
| H29年度 | 3,934,463        | 16,524           | 65,079           |
| H30年度 | 3,985,774        | 16,698           | 65,279           |
| R01年度 | 4,315,088        | 18,096           | 70,672           |
| R02年度 | 4,228,577        | 17,787           | 69,529           |
| R03年度 | 4,619,774        | 18,972           | 76,415           |

※ 100床当たりの収入等の算出基礎となる病床数は稼働病床数とした。

## (20) 愛知医科大学メディカルセンター概要

### ◆ 特 徴

令和3年4月に医療法人愛整会北斗病院を事業承継し、愛知医科大学メディカルセンターとして開設。岡崎市、豊田市をはじめとする周辺の医療機関とともに、2次救急患者から慢性期に至るまでの幅広い患者を対象とし、大学分院ならではの質の高い医療を提供している。

また、愛知県のコロナワクチン大規模接種会場として、3回目接種や小児接種を引き受けるなど、病院機能をより一層充実させ、地域の信頼に応える中核病院を担っている。

### ◆ 理 念

地域を守り共に生きる中核病院として、患者本位の医療を目指します。

- ・ 社会の信頼に応える医療機関
- ・ 人間性豊かな医療人を育成できる教育機関

### ◆ 基本方針

1. 継続性を重視した医療の提供
2. 治し支える医療の実践
3. 医療、介護、福祉へのつなぐ医療の実践
4. 信頼関係を大切にされた安全で良質な医療の提供
5. 豊かな人間性と優れた医療技術を持った医療人の育成
6. 地域の医療機関と連携し、地域の医療・福祉の向上に貢献

### ◆ 許可病床数

|        |      |
|--------|------|
| 一 般    | 90床  |
| 療 養    | 180床 |
| 透析用ベッド | 15床  |

### ◆ 診療科

|     |     |
|-----|-----|
| 診療科 | 18科 |
|-----|-----|

### ◆ 職員数

| 区 分  |         | 職員数 |
|------|---------|-----|
| 医師   |         | 13  |
| 看護職員 | 看護師     | 91  |
|      | 准看護師    | 7   |
| 医療職員 | 薬剤師     | 4   |
|      | 臨床検査技師  | 3   |
|      | 診療放射線技師 | 6   |
|      | 理学療法士   | 52  |
|      | 作業療法士   | 12  |
|      | 言語聴覚士   | 5   |
|      | 栄養士     | 4   |

(単位：人)

| 区 分   |         | 職員数 |
|-------|---------|-----|
| 医療職員  | 視能訓練士   | 0   |
|       | 臨床工学技士  | 3   |
|       | 臨床心理士   | 0   |
|       | 精神保健福祉士 | 0   |
|       | 社会福祉士   | 4   |
| 事務職員  | 事務職員    | 29  |
| 業務職員  | 看護補助員   | 34  |
|       | 技術補助員   | 5   |
| その他   |         | 0   |
| 合 計   |         | 272 |
| 臨床研修医 |         | 0   |

(21) 愛知医科大学メディカルセンター業務統計

◆ 各中央診療部門等の業務統計 (R03年度)

(R4. 3. 31)

(単位：件)

| 業 務 名         |                            | 件 数    | 計      |
|---------------|----------------------------|--------|--------|
| 手術件数          |                            | 339    | 339    |
| 放射線取扱件数       | 診断                         | 12,259 | 12,259 |
| 調剤件数          |                            | 9,607  | 9,607  |
| 注射薬処方件数       |                            | 9,633  | 9,633  |
| 院外処方件数        |                            | 18,436 | 18,436 |
| 病理検査件数        | 病理組織検査                     | 0      | 151    |
|               | 術中組織検査                     | 0      |        |
|               | 病理診断(全て外注委託)               | 77     |        |
|               | 細胞診断(全て外注委託)               | 74     |        |
| 輸血業務          | 輸血検査(全て外注委託)               | 844    | 1,158  |
|               | 同種血輸血(単位)                  | 306    |        |
|               | 自己血輸血(単位)                  | 8      |        |
|               | 細胞採取(回)                    | 0      |        |
|               | 活性化自己リンパ球輸入療法(回)           | 0      |        |
| 臨床検査件数        | 微生物学的検査(一般細菌、抗酸菌)          | 456    | 31,797 |
|               | 免疫血清学的検査(Dimentoin甲状腺、BNP) | 1,472  |        |
|               | 血液学的検査(CBC)                | 9,209  |        |
|               | 生理機能検査                     | 2,251  |        |
|               | 一般検査(尿定性)                  | 2,691  |        |
|               | 遺伝子検査(COVID19、PCR検査)       | 1,609  |        |
|               | 生化学的検査                     | 9,420  |        |
|               | 緊急検査                       | 0      |        |
|               | 外注検査                       | 4,689  |        |
| リハビリテーション患者延数 | 外来患者(人)                    | 10,569 | 50,316 |
|               | 入院患者(人)                    | 39,747 |        |
| 腎センター患者延数     | 外来患者(人)                    | 275    | 2,239  |
|               | 入院患者(人)                    | 1,964  |        |
| 内視鏡センター検査件数   | 上部消化管内視鏡                   | 144    | 186    |
|               | 下部消化管内視鏡                   | 42     |        |
| 病理解剖          | 件数                         | 0      | 0      |
|               | 剖検率(%)                     | 0.0    | 0.0    |

## ◆ 届出事項

(R4. 3. 31)

## 〔法令による医療機関の指定〕

| 法令等の名称               |      | 年月日       |
|----------------------|------|-----------|
| 医療法第7条第1項による開設許可(承認) |      | R3. 4. 1  |
| 労働者災害補償保険法による医療機関    |      | R3. 4. 1  |
| 生活保護法による医療機関         |      | R3. 4. 1  |
| 結核指定医療機関             |      | R3. 4. 1  |
| 障害者自立<br>支援法         | 育成医療 | R3. 6. 1  |
|                      | 更生医療 | R3. 6. 1  |
| 難病法第14条第1項に基づく指定医療機関 |      | R3. 4. 1  |
| 指定小児慢性特定疾病医療機関       |      | R3. 4. 1  |
| 愛知県B型・C型肝炎患者医療給付事業   |      | R3. 10. 1 |
| 救急病院の指定              |      | R3. 4. 1  |

## 〔東海北陸厚生局への届出事項〕

| 診療料(基本診療料)               | 年月日      |
|--------------------------|----------|
| 名称                       |          |
| 一般病棟入院基本料 急性期一般入院料4      | R4. 3. 1 |
| 療養病棟入院基本料 1              | R3. 4. 1 |
| 夜間看護加算                   | R3. 6. 1 |
| 救急医療管理加算                 | R3. 8. 1 |
| 診療録管理体制加算 2              | R3. 4. 1 |
| 急性期看護補助体制加算              | R3. 6. 1 |
| 看護職員夜間配置加算               | R3. 6. 1 |
| 療養環境加算                   | R3. 4. 1 |
| 療養病棟療養環境加算 1             | R3. 4. 1 |
| 医療安全対策加算 2               | R3. 4. 1 |
| 医療安全対策地域連携加算 2           | R3. 4. 1 |
| 感染防止対策加算 2               | R3. 4. 1 |
| 後発医薬品使用体制加算 1            | R3. 4. 1 |
| データ提出加算                  | R3. 4. 1 |
| 認知症ケア加算 3                | R3. 4. 1 |
| せん妄ハイリスク患者ケア加算           | R3. 4. 1 |
| 精神疾患診療体制加算               | R3. 4. 1 |
| 回復期リハビリテーション病棟入院料 2      | R3. 4. 1 |
| ニコチン依存症管理料               | R3. 4. 1 |
| がん治療連携指導料                | R3. 4. 1 |
| 薬剤管理指導料                  | R3. 4. 1 |
| 医療機器安全管理料 1              | R3. 4. 1 |
| ヘッドアップティルト試験             | R3. 4. 1 |
| CT撮影及びMRI撮影              | R3. 4. 1 |
| 外来化学療法加算 2               | R3. 4. 1 |
| 脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)     | R3. 4. 1 |
| 運動器リハビリテーション料 (I)        | R3. 4. 1 |
| 呼吸器リハビリテーション料 (II)       | R3. 4. 1 |
| 人工腎臓                     | R3. 4. 1 |
| 透析液水質確保加算                | R3. 4. 1 |
| 下肢末梢動脈疾患指導管理加算           | R3. 4. 1 |
| ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術   | R3. 4. 1 |
| 胃瘻造設術                    | R3. 4. 1 |
| 胃瘻造設時嚥下機能評価加算            | R3. 4. 1 |
| 入院時食事療養 (I) ・入院時生活療養 (I) | R3. 4. 1 |

◆ 特掲診療料の施設基準(通則5及び6)に掲げる手術の実施件数(R3. 4. 1～R3. 12. 31) (単位：件)

| 手術名                    | 実施件数(年間) |
|------------------------|----------|
| 靭帯断裂形成術等               | 3        |
| 人工関節置換術                | 11       |
| ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術 | 3        |

※メディカルセンターは初年度のため、9カ月分の実施件数となります。

(22) 愛知医科大学メディカルセンター病床数・患者数等

◆ 病床数

(単位：床)

| 年 度   | 一 般 | 療 養 | 計   | 稼働病床数 |
|-------|-----|-----|-----|-------|
| 令和3年度 | 90  | 180 | 270 | 190   |

◆ 外来患者数

| 年 度   | 新患者数<br>(人) | 延患者数<br>(人) | 1日平均<br>(人) | 診療実日数<br>(日) |
|-------|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 令和3年度 | 5,072       | 37,043      | 123.9       | 299          |

◆ 入院患者数

| 年 度   | 延患者数<br>(人) | 1日平均<br>(人) | 診療実日数<br>(日) | 新入院患者数<br>(人) | 退院患者数<br>(人) | 平均在院日数<br>※ (日) | 病床利用率<br>(%) |
|-------|-------------|-------------|--------------|---------------|--------------|-----------------|--------------|
| 令和3年度 | 42,434      | 116.3       | 365          | 725           | 693          | 57.9            | 61.3         |

$$\text{※ 平均在院日数} = \frac{(\text{延患者数} - \text{退院患者数})}{1/2(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})}$$

(23) 愛知医科大学メディカルセンター分析指標(主要比率)

◆ 職員数等

(単位：人)

| 年 度   | 100床当たりの<br>職員数 | 100床当たりの<br>医師数 | 100床当たりの<br>看護師数 |
|-------|-----------------|-----------------|------------------|
| 令和3年度 | 143.2           | 6.8             | 51.6             |

※ 100床当たりの収入等の算出基礎となる病床数は稼働病床数とした。

(単位：人)

| 年 度   | 患者100人当たりの<br>職員数 | 患者100人当たりの<br>医師数 | 患者100人当たりの<br>看護師数 |
|-------|-------------------|-------------------|--------------------|
| 令和3年度 | 113.2             | 5.4               | 40.8               |

◆ 収 入

(単位：千円)

| 年 度   | 入院収入      | 外来収入    |
|-------|-----------|---------|
| 令和3年度 | 1,559,946 | 644,704 |

注) 室料差額収入は含まれていない。

(単位：千円)

| 年 度   | 100床当たりの<br>医療収入 | 職員1人当たりの<br>年間収入 | 医師1人当たりの<br>年間収入 |
|-------|------------------|------------------|------------------|
| 令和3年度 | 1,160,342        | 8,105            | 169,588          |

※ 100床当たりの収入等の算出基礎となる病床数は稼働病床数とした。

## (24) メディカルクリニック概要

### ◆ 特 徴

愛知医科大学メディカルクリニックは、愛知医科大学病院と緊密な連携の下に有機的に結びつき、高度の機能を備えた大学病院と最前線の医療を担当する開業医が協調し、互いに足らざるを相補って地域医療に貢献するために、両者の間をつなぐパイプ役として機能することを目的に、昭和58年6月に設置されました。

本クリニックは、より高度な医療および技術を提供することにより、地域社会に貢献しています。

### ◆ 職員数

(単位：人)

| 区 分  |         | 職員数 |
|------|---------|-----|
| 医師   |         | 1   |
| 看護職員 | 看護師     | 7   |
|      | 准看護師    | 2   |
| 医療職員 | 薬剤師     | 3   |
|      | 臨床検査技師  | 3   |
|      | 診療放射線技師 | 3   |
|      | 視能訓練士   | 1   |
| 事務職員 |         | 4   |
| 技術職員 |         | 1   |
| 業務職員 |         | 1   |
| 合 計  |         | 26  |

### ◆ 診療科等

|      |     |
|------|-----|
| 診療科等 | 21科 |
|------|-----|

### ◆ 各業務統計

(単位：件)

| 業 務 名  | 検査名        | 件 数     |         |
|--------|------------|---------|---------|
| 臨床検査件数 | 微生物学的検査    | 1,463   |         |
|        | 免疫血清学的検査   | 4,730   |         |
|        | 血液学的検査     | 5,866   |         |
|        | 病理組織・細胞診検査 | 126     |         |
|        | 生理機能検査     | 1,753   |         |
|        | 一般検査       | 3,336   |         |
|        | 遺伝子検査      | 232     |         |
|        | 生化学的検査     | 132,874 |         |
|        | 内視鏡検査      | 168     |         |
|        | 外注検査       | 3,228   |         |
|        | 合 計        |         | 153,776 |

(単位：件)

| 業 務 名       | 件 数    |
|-------------|--------|
| 放射線取扱件数（診断） | 1,700  |
| 調剤件数        | 70,134 |
| 注射薬処方件数     | 902    |
| 院外処方件数      | 2,807  |

◆ 届出事項

〔法令による医療機関の指定〕

| 法令等の名称                        |                | 年月日         |
|-------------------------------|----------------|-------------|
| 医療法第7条第1項による開設許可(承認)          |                | S58. 4. 20  |
| 健康保険法による(特定承認)保険医療機関          |                | S58. 6. 1   |
| 国民健康保険法による<br>(特定承認)療養取扱機関    |                |             |
| 労働者災害補償保険法による医療機関             |                | S58. 10. 1  |
| 原爆援護法                         | 一般医療           | S58. 6. 17  |
| 生活保護法による医療機関                  |                | S63. 11. 1  |
| 児童福祉法                         | 措置等に係る医療       | S58. 6. 1   |
|                               | 指定小児慢性特定疾病医療機関 | H27. 1. 1   |
| 障害者自立支援法                      | 精神通院医療         | S58. 6. 1   |
| 感染症法(結核)による医療機関               |                | S58. 10. 1  |
| 難病の患者に対する医療等に関する法律<br>による医療機関 |                | H26. 12. 10 |

〔厚生労働大臣の定める施設基準等の状況〕

| 疾患名           | 年月日        |
|---------------|------------|
| 検体検査管理加算(I)   | H20. 7. 1  |
| 明細書発行体制等加算    | H22. 4. 1  |
| ニコチン依存症管理料    | H29. 7. 1  |
| CT透視下気管支鏡検査加算 | H24. 10. 1 |
| CT撮影及びMRI撮影   |            |

**(25) メディカルクリニック患者数等**

## ◆ 患者数

(単位：人)

| 年 度   | 新患者数  | 延患者数   | 1 日平均 | 紹介患者数 |
|-------|-------|--------|-------|-------|
| H28年度 | 2,070 | 34,941 | 143.8 | 522   |
| H29年度 | 2,331 | 30,327 | 124.3 | 493   |
| H30年度 | 2,560 | 33,589 | 137.7 | 509   |
| R01年度 | 2,926 | 35,958 | 145.6 | 478   |
| R02年度 | 2,540 | 33,037 | 133.2 | 427   |
| R03年度 | 3,122 | 32,641 | 131.6 | 399   |

**(26) 運動療育センター**

## ◆ センターの目的

運動処方及び運動生理に関する教育研究を行い、疾病予防、健康の保持・増進のための体力診断、指導等を行い、健康づくりに寄与する。

## ◆ メディカルチェック項目

|              |               |          |           |
|--------------|---------------|----------|-----------|
| 問 診          | 身体計測          | 皮下脂肪厚測定  | 尿検査       |
| 血液(一般)       | 血液(生化学)       | 胸部X線     | 肺機能       |
| 血圧(安静時)      | 心拍数(安静時)      | 心電図(安静時) | 体力測定      |
| 運動負荷テスト(1誘導) | 運動負荷テスト(12誘導) | 呼気ガス分析   | 運動指導 総合指導 |

## ◆ メディカルチェック者数

(単位：人)

| コース名等             | 人 数 |
|-------------------|-----|
| 健康増進コース (A)       | 61  |
| 運動器系療法コース (E1)    | 218 |
| 内科系運動療法コース (E2)   | 180 |
| 内科系運動療法コース (E2-1) | 163 |
| アクアセラピー           | 8   |
| 本学職員              | 46  |
| 合 計               | 676 |

## ◆ 施設利用者数(学生除く)

(単位：人)

| 施設名      | 利用者数   | 一日平均  |
|----------|--------|-------|
| ジム       | 12,687 | 43.0  |
| プール      | 6,689  | 22.7  |
| ジム&プール   | 17,110 | 58.0  |
| 計(実利用者数) | 36,486 | 123.7 |

営業295日

## (27) 施設の概要

## ◆ 施設の概要

(R3.5.1)

| 施設の名称             | 完成(竣工)年月日   | 建築面積<br>(㎡) | 延床面積<br>(㎡) | 土地面積<br>※<br>(㎡) |
|-------------------|-------------|-------------|-------------|------------------|
| 大学本館(1号館)         | 平成11年9月6日   | 4,711.24    | 18,031.25   | 11,531.78        |
| 守衛所(大学本館の附属建物)    | 平成12年3月9日   | 24.00       | 6.60        |                  |
| 研究棟(2号館)          | 昭和48年5月10日  | 4,791.52    | 16,924.83   | 7,449.00         |
| 基礎科学棟(3号館)        | 昭和46年6月3日   | 1,839.00    | 3,176.60    | 5,800.80         |
| 看護学部棟(4号館)        | 平成12年3月3日   | 1,323.18    | 3,767.03    | 241.00           |
| 総合実験研究棟(5号館)      | 昭和63年3月30日  | 1,033.32    | 4,092.06    | 3,566.00         |
| 動物実験センター(5号館)     | 昭和53年12月25日 | 857.14      | 898.27      |                  |
| 体育館・運動療育センター(6号館) | 昭和57年11月17日 | 3,281.35    | 7,076.11    | 4,461.00         |
| 医心館(7号館)          | 平成21年8月31日  | 1,582.02    | 3,238.03    | 4,768.73         |
| 廃棄物保管庫            |             |             | 9.74        |                  |
| 中央棟               | 平成25年11月30日 | 12,728.50   | 85,755.82   | 65,357.11        |
| 自家発電機棟            |             |             | 552.85      |                  |
| マニホールド棟           |             |             | 32.50       |                  |
| C棟                | 昭和56年12月16日 | 2,080.31    | 16,929.68   |                  |
| D棟                | 昭和63年3月18日  | 1,915.77    | 11,326.03   |                  |
| 新立体駐車場            | 平成21年5月15日  | 5,230.03    | 22,407.36   |                  |
| 車庫棟               |             |             | 533.26      |                  |
| 新ガスガバナー室          |             |             | 52.64       |                  |
| アメニティ棟            | 平成29年4月21日  | 1,218.69    | 1,178.62    |                  |
| バスロータリー           |             |             |             |                  |
| ドクターヘリ格納庫         | 平成30年3月31日  | 354.85      | 320.41      |                  |
| 燃料庫               |             |             | 34.44       |                  |
| 保育所               | 平成21年3月31日  | 470.66      | 362.13      |                  |
| メディカルクリニック        | 昭和58年4月6日   | 1,984.38    | 2,714.63    | 1,284.81         |
| 雁又グラウンド           |             |             |             | 11,169.00        |
| 寅山グラウンド(器具庫・トイレ)  | 平成19年2月8日   | 237.04      | 133.04      | 56,010.00        |
| クラブハウス            | 昭和61年12月10日 | 552.00      | 1,152.74    | 1,112.00         |
| 特高変電所             |             |             |             | 1,890.00         |
| 駐車場               |             |             |             | 88,978.58        |
| その他(遊休地)          |             |             |             | 26,523.40        |
| 旧橋寮跡地             |             |             |             | 528.92           |
| メディカルセンター         | 平成27年3月31日  | 4,126.22    | 16,792.38   | 15,549.44        |
| 合 計               |             | 50,341.22   | 217,499.05  | 307,802.57       |

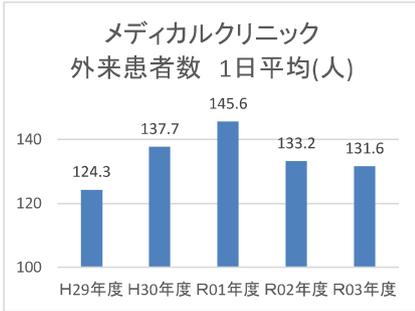
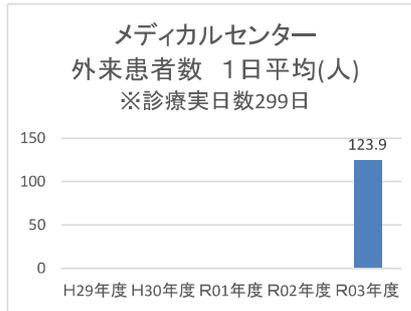
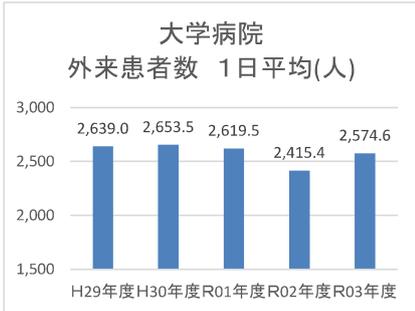
※ 土地面積には借地を含む。

◆ キャンパスマップ

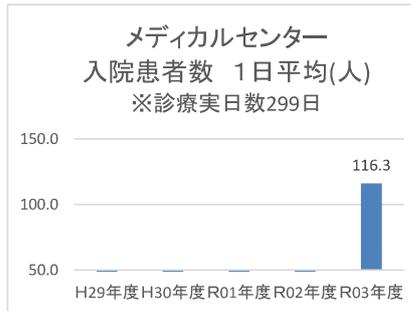
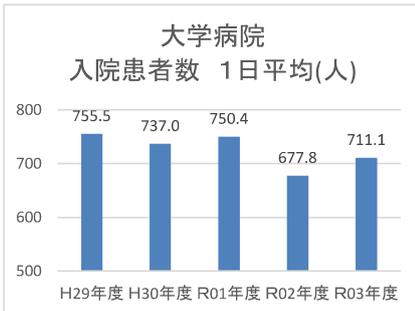


- |   |                    |    |                           |
|---|--------------------|----|---------------------------|
| 1 | 1号館 (大学本館)         | 10 | C棟・D棟                     |
| 2 | たちばなホール            | 11 | 雁又グラウンド (テニスコート・野球場)      |
| 3 | レストランオレンジ          | 12 | 寅山グラウンド (陸上・サッカー・ラグビー・弓術) |
| 4 | 2号館 (研究棟)          | 13 | 保育所 (アイキッズ)               |
| 5 | 3号館 (基礎科学棟)        | 14 | 病院外来駐車場 (立体)              |
| 6 | 4号館 (看護学部棟)        | 15 | 中央棟 (診療棟・A病棟・B病棟)         |
| 7 | 5号館 (総合実験研究棟)      | 16 | バスロータリー                   |
| 8 | 6号館 (体育館・運動療育センター) | 17 | アメニティ棟 (立石プラザ)            |
| 9 | 7号館 (医心館)          | 18 | ドクターヘリ格納庫                 |

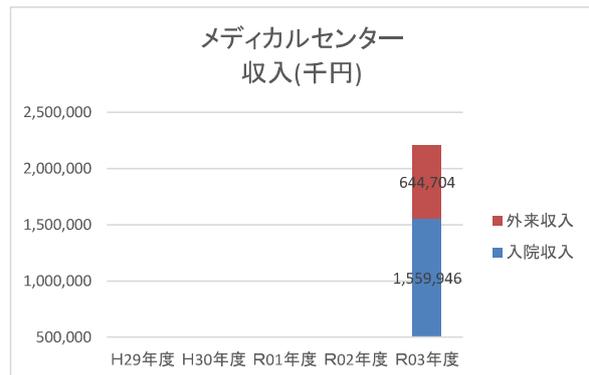
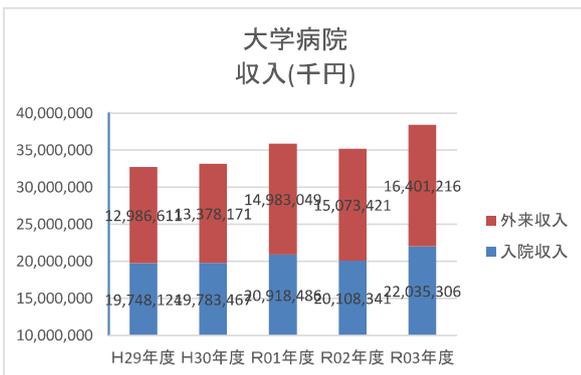
・ 外来患者数



・ 入院患者数



・ 収入





### 3 事業概要



#### 大学の理念・目的

愛知医科大学は、「新時代の要請に答え得る医師を養成し、併せて地域住民の医療に奉仕すること」を『建学の精神』の主眼とし、昭和47年度に医学部のみの単科大学として開学しました。「多種多様な社会的ニーズに迅速かつ積極的に応え、広い視野と高い教養をも備えた看護職員を養成すること」を目的とした看護学部を開設し、2学部を擁する医科系大学となりました。

こうした生い立ちを持つ本学の理念・目的は、「充実した教育・研究環境のなかで、新時代の医学医療を担う人材を育成するとともに、私学の特性に鑑み、社会福祉、殊に地域医療への貢献と国際的な医療の進歩・向上への協力を目指すこと」です。

#### 学是「具眼考究」

医療においては、超高齢社会や人口減少に伴い日本の医療そのものが大きく様変わりをしていること、教育においては、医学教育分野別評価（国際認証）の受審が決定し、グローバル化の流れを受けた医科系大学の教育が大きな転換期を迎えたこと等から、職員・学生にとって、新しい時代に即した「建学の精神」の実現・実践に向けて、心の拠り処となる「学是（基本理念）」が必要となり、全学的な議論を経て、新たに学是として「具眼考究」を掲げました。

「具眼」とは、江戸中期の天才絵師で近年脚光を浴びている伊藤若冲の言葉として知られており、坪内逍遙や夏目漱石等の明治の文人も好んで使用した言葉です。「確かな眼」、「見通す眼」、「眼力」、「慧眼」といった意味であり、医学的には「正しくみる」ことを表します。「みる」とは「診る」、「看る」、「見る」、「観る」、「視る」の全てを含みます。

「考究」とは、「具眼」によって得た神髄を深く考え、それに対して正しく対処して究めることを指します。

「具眼考究」は上述のように、深い多くの意味を持っています。例を挙げますと、この度の新病院建設も「具眼考究」の体現と呼ぶことができます。

先が全く見えない混乱の時代に最高のタイミングで新病院建設を開始したのは「具眼」のなせる業で、組織の構造改革の実践、新病院建設費用の最良の資金繰り、リーマンショックへの善処等が功を奏し、問題なく新病院建設を成し得た一連の成果は「具眼考究」により達成されたといえます。

「具眼考究」を愛知医科大学の学是として、職員、学生に広く深く周知し、意味の正しい理解の下で、根付かせていきます。

## はじめに

令和3年度は、新型コロナウイルスが世界的な広がりを見せてから2年目を迎えた年でした。

外出時のマスク着用は当たり前ものとなり、日常生活を送る中での手指消毒や黙食などの感染症対策もすっかり生活の中に定着したと感じられます。そして不要不急の呼びかけや外出自粛やワクチン接種による感染抑制策が推し進められましたが、残念ながらデルタ株による第5波、そして令和4年にはオミクロン株による第6波が押し寄せ、新型コロナウイルス感染症は収束の兆しが見えません。もはやコロナ前の世界に戻すのではなく、コロナによって変化してきた行動様式をどのように日常生活の中に受け入れて、対応していくかが課題となっています。

このように令和3年度は新型コロナウイルス感染症と向き合い続けた年となりましたが、制約を受けつつも工夫を凝らしてできる限り『コロナ対応』しながら多くの事業を実施したことを誇る年でもあります。ITを活用することにより自宅でも大学でも講義を受け、オンライン上での学習プログラムを利用することができるようになり、いつでもどこでも学習することができるようになったことは成果の一つです。

病院では、専用病室の整備等基本的なコロナ対策は令和2年度中に実施しましたが、令和3年度はさらに空調陰圧化や専用病床の拡張等の整備工事を実施し、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れを進めました。併せて、ワクチン接種も積極的に実施し、県の委託を受けて大規模集団接種会場も設置するなど、大学病院として期待される使命に応えることができました。この接種会場が設置されたメディカルセンターは令和3年4月に念願の分院として開院したばかりでしたが、地域のワクチン接種でも地域に貢献することができ、意義のある一歩を踏み出すことができました。

令和3年度は大学全体の取り組みとしてみると、上記のとおりコロナと戦いつつイノベーションプロジェクトを推進し、力の及ぶ限り多くの事業を展開しましたので、ここに事業報告として取りまとめました。

## 中期的な計画及び事業の進捗・達成状況

「中期経営計画（令和元年4月1日－令和6年3月31日）」（以下、中期計画）においては、本学の理念に依拠する本学発展の3つのキーワードである「自己実現」、「連携」、「独自性」とこれら3つのキーワードにより導き出された下記の5つの戦略に基づき、事業計画を策定し、各部署が具体的な短期・中期目標を設定し、変化の激しい環境に迅速に対応するため、毎年度、計画の進捗状況を検証し、必要に応じ、計画の見直し等を行います。

### 【5つの戦略】

- ・ 本学の発展を裏付ける経営基盤の強化
- ・ 世界を見据えた教育・研究活動の充実と発展
- ・ 診療・研究・教育を担う卓越した人材の育成
- ・ 評価される卓越した大学力の涵養
- ・ 地域医療・地域貢献の促進

### 【経営改革・イノベーション推進事業】

中期計画の目標達成に向け、かつ、法人の永続的な発展を目的に経営戦略の立案及び計画、実行を主な業務とし、組織横断的に機能する部署として、令和2年4月に経営戦略推進本部が設置されました。各部局から独立し、理事長直轄の組織として、各部局をまたぐ全体の問題、新規のイノベーションのテーマ、組織改変といった人事・予算を伴う案件等を比較的短い時間で進めて実行に移すため、推進本部の下に幾つかのプロジェクトチームを作り、各々に当事者や関係者を集め、プロジェクト型での問題解決を進めています。

令和3年度は、イノベーションプロジェクトとして地域医療連携推進プロジェクト、救急医療体制改革プロジェクト、働き方改革プロジェクト及び中長期計画プロジェクトさらに本学事業部門の再編プロジェクトとしてメディカルセンター（分院）開院及びメディカルクリニック・アイセンター（仮称）構想もプロジェクトとして進められました。

各プロジェクトには、リーダーと、その下にワーキンググループ（WG）・タスクフォース（サブワーキング（SW））が立ち上げられており、事務も含めて各職種の関係者30人あるいは、それ以上のメンバーで進められ、ワーキンググループは随時開かれました。

### 【令和3年度に実施した主なイノベーションプロジェクト】

1. 地域医療連携推進プロジェクト～顔の見える地域連携、救急の後方支援体制推進
2. 救急医療体制改革 プロジェクト～断らない救急体制の構築を目指して
3. 働き方改革プロジェクト～日本一働きやすい病院を目指して
4. 本学事業部門の再編（メディカルセンター開院）プロジェクト
5. 本学事業部門の再編（メディカルクリニック・アイセンター（仮称）構想）
6. 創立50周年記念事業プロジェクト

### 【イノベーションプロジェクトの進捗・達成状況】

#### 1. 地域医療連携推進プロジェクト～顔の見える地域連携、救急の後方支援体制推進

地域連携ネットワークの構築を行う本プロジェクトでは、「顔の見える病病連携・病診連携」と「救急の後方病院体制推進」をめざして進めています。

令和3年度は、令和2年度に引き続き看護における連携がさらに前進しました。連携病院35病院のうちコアモデルとして、地域の5病院（長久手市「東名病院」、名東区「メイトウホスピタル」、守山区「川島病院」、日進市「日進おりど病院」、瀬戸市「瀬戸みどりのまち病院」）を選定、令和3年10月からは「愛知国際病院」「福友病院」「あさい病院」の3病院と本院及びメディカルセンター（分院）を加えた10病院体制へ拡大し、患者さんご家族の暮らしを支えるために、「看護の力で地域包括ケアシステムを推進する！」をビジョンに具体的な連携の構築を進めているところです。それぞれの看護の機能を連携し継続・持続的に患者・家族の暮らしをさせるため、活発な議論と実務的な取り組みを重ね、多くの成果を得ることができました。

#### 【看護機能連携ネットワークシステムの主な成果】

- ① ネットワークを10病院に拡大できたことにより前年度から整備したシステムの活用と相まって相互交流が大いに深まり、多くの職員が他病院の見学や研修の機会を得ることができ、自病院の業務改善に資することができました。

- ② 看護機能連携ネットワークの趣旨の一つである患者さんに最善の医療・介護を適切な時期に提供するため転院先病院が求める患者情報を整理し、本院の看護サマリーを改善する等、医療チームが地域連携する際の双方のニーズをすりあわせることができるようになってきました。
- ③ また、地域看護研修は、本院の師長の地域包括ケアへの意識が高まる重要な学習の機会となり、ダイヤルインを活用して活発に情報交換ができ、病棟看護師が転院後の患者を見据える力が付くとともに学び合い地域全体の看護実践能力を高めることができました。
- ④ 相互の理解と人事交流が円滑になり、今年度は転職実績につながり、看護師が働き続けられる環境整備に一役買うことができました。
- ⑤ 看護部長同士で、気軽に相談できるようになり、学会（日本ヒューマンヘルスケア学会）発表という共同作業を行うこともできました。ダイヤルインによる看護師間の連携、認定看護師の派遣は、地域全体の今後の質の向上に貢献できました。

令和3年度、定例会議は6回開催され、ネットワーク立ち上げから通算13回会議を重ねました。その内、第12回（令和3年12月8日開催）は、川島病院を会場にして、施設見学を含めて実施いたしました。今後会場を輪番にすることも決定しました。今後は、相互交流研修プログラムの作成と実施、実務者による地域勉強会、看護師による転院調整の検討等今まで以上に強固なネットワークシステムの構築に尽力してまいります。

#### 【瀬戸旭医師会・東名古屋医師会との連携】

コロナ禍の影響から延期となっていた「瀬戸旭医師会・愛知医科大学病院地域医療連携懇話会」について、令和4年3月12日、瀬戸旭医師会から27名、本院から44名が参加し、講演会を中心にWebにより開催されました。

講演1 「膵癌の治療成績向上を目指して～尾張東部・膵がん早期診断プロジェクト」  
演者 本院肝胆膵内科 助教 井上 匡央

講演2 「新型コロナウイルス感染症における後遺症について」  
演者 メディカルクリニック長 馬場 研二

講演1の「尾張東部膵がんプロジェクト」は、本院、瀬戸旭医師会及び東名古屋医師会と連携した愛知県では初めての取り組みとなります。担当する本院井上助教の話す「手術で治る可能性のある人をいかに早く見つけるかが重要」を具体的に実践していきます。医師会所属の診療所や病院にチェックリストを配布、患者さんの症状、背景及び血液検査や画像所見などでリスク要因があれば本院での精密検査を推奨し、本院ではEUS（超音波内視鏡）、ERCP（内視鏡的逆行性胆管・膵管造影）などで検査するスキームです。

また、講演2「新型コロナウイルス感染症における後遺症について」、演者の馬場クリニック長の診察には全国から患者さんが訪れています。今後は、メディカルセンター（岡崎）において対象の患者さんをケアしていくこととなりました。

地域医療連携は、顔の見える病病連携・病診連携、救急の後方病院体制推進の実現のため看護機能連携ネットワークを皮切りに今後ニーズが高まるリハビリテーションに係る連携等を地道に進めていく必要があります。同時に地域医療連携のための院内体制の整備が急務となります。

## 2. 救急医療体制改革プロジェクト～断らない救急

本プロジェクトでは、「断らない救急体制の構築を目指して」のスローガンの下、救急医療体制改革プロジェクトチームの下に「救急体制WG（リーダー：加納秀記教授）」「救急内科WG（リーダー：伊藤恭彦教授）」「救急外科WG（リーダー：加納秀記教授）」「救急教育WG（リーダー：中野正吾教授）」「連携病院WG（リーダー：牛田享宏教授）」を配し、各ワーキンググループが多くの関係者と議論を重ねてきました。

救急は地域医療にとって要になるものです。まず問題となっていた内科・外科の当直体制を見直し、救急当直と各科当直の関係や各々の責務について専門性等を考慮して大幅に変更しました。令和3年5月からはこの変更により、ファーストタッチの救急当直は従前の7名（内、専修医1名、研修医5名）から総勢10名（内、専修医3名、研修医4名）となりました。専修医を増やしたことが大きなポイントになります。

また、管理当直1名を配置するとともに、救急の場にスタッフがすぐに集まれるように、救急エリアに新たに当直室を3室設置しました。各科の当直室も、中央棟の各階にあった当直室を整備し、すぐに対応できる導線になりました。

患者の導線としての前方後方病院の連携については、地域医療連携のプロジェクトグループも加わり、連携の形作りを進めているところです。重要なのは、このように体制を変えることについて、各科の教授を始めとした関係者に集まって頂き、何度も議論を重ねて大方の同意を形成していったこと、及びその結論を踏まえ迅速に対応してきたことです。例えば、専修医の業務負担が大きくなれば直ちに体制変更し、一日当たりの配置人数を減らし（2名→1名）負担軽減を図る等、適宜問題点の改善に努めてきました。

### 【救急医療体制の変更による効果等】

- ① 令和3年5月から救急診療新体制がスタート、令和4年1月、一部見直し
- ② 愛知医科大学病院救急マニュアルの整備と改訂版（現在、バージョン1.3）
- ③ 管理当直設置による病棟を含め時間外に発生した問題への迅速な対応、死亡退院への対応等による安全な医療の実行
- ④ 研修医が関わる医療問題事例の減少
- ⑤ 研修医からの不満、潜在的な問題点が顕在化したものの、ワーキング開催等の都度対応したことによる業務改善
- ⑥ 専修医・研修医から上級医への相談が容易にできるなど、救急当直への意識の格段の改善

今後、現行の体制を注視しながら日々、時間外診療の質の維持向上、医療安全の向上及び効率的運用等を図ることとするが、救急体制の抜本的なことを含めてさらに改変していくこととなります。

## 3. 働き方改革プロジェクト

本プロジェクトでは、「時代にマッチした勤務体制の構築」を目的に掲げ、具体的な目標として、①適切な勤務時間の設定及び適切な休暇取得の維持、②医師、看護師、コ・メディカル及び事務等の効率化・活性化を設定しました。設置されたSWと目的及びアウトカムは以下のとおりです。

① 勤務時間適正化（医師）SW

②         "                 （看護・医療職員）SW

目         的：過重労働を防ぎ、働きやすい職場環境の構築と国が示す時間外労働規制の対応

アウトカム：医師の学内滞在時間の実態把握と改善案の策定

③ ワークシェア（医師事務作業補助）SW

④         "                 （看護・医療職員）SW

目         的：医師の適切な勤務時間と体制を最適化する”日本一働きやすい病院”

アウトカム：医師事務作業補助体制の実態把握（診療報酬加算による収入と雇用に伴う支出等の関係性）

※ 付加価値、改善案（診療科ごとの優先順位、外来患者数の多い医師へのサポート等）の策定

⑤ 医師労働時間短縮計画策定 SW

⑥ 大学運営のデジタル化 SW

目         的：時代にマッチした大学運営（＝デジタルを活用した大学運営）構築のための推進計画及び体制整備

アウトカム：推進計画・体制案策定と重点事業予算要求書の作成、事務業務のデジタル化推進（申請書類の電子化・押印廃止・決裁承認の電子化）

令和3年度においては、①勤務時間適正化（医師）SWと⑤医師労働時間短縮計画策定SWを統合し、喫緊の課題となった2024年4月からの医師の時間外労働上限規制の適用に向けた厚生労働省のガイドラインに準じた医師の勤務実態調査を最優先課題として取り組みました。

#### 【医師の勤務実態調査概要】

・ 調査目的・背景

○ 2024年4月から医師の時間外労働の上限規制の適用に伴い、全勤務医は、年間の時間外・休日労働時間数を2024年3月までに960時間または1,860時間にする必要があること

○ 各医療機関は、2021年度中に医師の勤務実態を把握し、2022年度中に「医師労働時間短縮計画」を作成・提出し、医師の労働時間の短縮を計画的に進めていく必要があること

○ 本調査は、医師の多岐に渡る業務内容及び「主たる勤務先」・「副業・兼業先」の勤務実態を把握することを目的とすること

・ 調査期間 第1回 令和3年11月4日～11月18日

第2回 令和4年2月12日～2月21日

・ 調査内容 調査票①（7日間のタイムスタディー）

調査票②（年間を通じた土日勤務、宿日直、学外勤務に係る調査）

第1回調査では、回収率100%（計576名、医師560名、歯科医師16名）、第2回調査では現在、回収率97%（計548名、コロナの影響等）となっており、第2回の集計・分析中であり、2回を合わせた結果報告は、もう少し先になるところです。

## 【ワークシェア（医師事務作業補助）SW】

令和3年度の活動について、第1回勤務実態調査に併せて医師事務作業補助者の活用推進に向けたアンケート調査を実施した。調査の結果、医師事務作業補助者に対する必要性や期待値を確認できた。現状の業務が電子カルテの代行オーダー入力を中心となっているが、診療情報提供書や返書などの文書作成（下書き）項目の要望があることがわかった。今後、目指すべきゴールを「医師の働き方改革への貢献」「医療の質の向上というアウトカム」「病院経営への貢献」とし、日本一働きやすい病院を目指して！医師事務補助体制の3ヶ年計画（案）を策定した。

働き方改革に向けて期待されるアウトカム（まとめ）

- ・ 医師の院内での滞在（勤務）時間の適正化
- ・ 各部署別・職種別キャリアパス
- ・ 休暇取得と開院日数の適正化
- ・ 教員評価制度の見直し
- ・ 地域連携型代務へのシフト
- ・ 事務組織の活性化と業務の電子（効率）化
- ・ 正規職員と補助者のワークシェア、業務拡大

本学事業部門の再編（メディカルセンター開院）プロジェクト、本学事業部門の再編（メディカルクリニック・アイセンター（仮称）構想）及び創立50周年記念事業プロジェクトについては、各担当部署からの報告が後述となる。

## 1 教育・研究関連事業

＜医学部・大学院医学研究科＞

### (1) 医学教育分野別認証評価の受審

令和元年9月に日本医学教育評価機構（JACME）の医学教育分野別認証評価を受審しました。その結果、世界医学教育連盟のグローバル・スタンダードを踏まえた評価基準に適合していることが認定されました。認定期間は令和2年6月1日から令和9年5月31日までの7年間です。このことに伴い、部分適合と判定された項目を中心に医学教育分野別評価推進委員会で分析し、医学教育センターとも連携を図り、改善に向けた取り組みについて具体化して年次報告書を作成の上、同機構へ提出しました。

### (2) 国家試験対策，学力強化について

6学年次生の医師国家試験対策として予備校講師による講義（総合試験対策等）、模擬試験を4回、確認テストを5回実施し、5学年次生に対しても予備校講師による医師国家試験対策講義を1回、模擬試験を1回、確認テストを7回、4学年次生への特別プログラム等を実施しました。これらは、Web会議システム（Zoom）を活用して実施し、早期からの対策を強化しました。

また、医師国家試験対策強化委員会にて組織的に対策を講じ、新卒合格率は94.1%でした。

### (3) コロナ禍での授業について

4月からカリキュラムを変更することなく、対面での授業においては出校者を各学年次在籍学

生の半数とし、Web会議システム（Zoom）を活用したオンライン授業を併用する等の工夫により授業計画に沿って実施しました。

#### (4) 私立大学研究ブランディング事業

令和2年度をもって3年間の文部科学省の補助期間が終了したことに伴い、令和3年5月6日（木）に評価委員会をオンラインにて開催しました。外部評価委員の先生方から取り組みに対する評価や今後の展開に向けた建設的なご意見を頂きました。

昨年度の調査に基づいた長久手市民への採血等協力依頼を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症のデルタ株やオミクロン株の感染状況を考慮し、実施に至っていません。

#### (5) 奨学金制度

① 医学部の奨学金制度では、卒業生が医師国家試験合格直後、本学の医師等として、貸与期間1年間につき2年間勤務することを条件に奨学金（年額300万円）を貸与しており、この事業での新規採択者は4名でした。

② 国の修学支援新制度による経済的に困難な学生への支援について、医学部では6名の学生に対し、授業料等の減免を行いました。

#### (6) 新型コロナウイルス感染症関連の支援

① 家計が急変した世帯の学生に対して、授業料減免の支援を実施し、申請のあった2名の学生に対し、後学期の授業料から90万円を減免しました。

② 新型コロナワクチンの接種を学内にて実施し、1回目・2回目の接種を6月から7月にかけて実施しました。追加接種（3回目）については、医師国家試験を控えた6学年次生を対象に1月に実施後、在学生には2月に実施しました。

③ 入学式・卒業式について、前年度と同様に新型コロナウイルス感染症対策として、式典の出席を対象学生のみ限定して実施しました。これに伴い、当日来場できない保護者・ご家族の皆様のために、今年度においても式典の様子のライブ配信を行いました。さらに今回は、専門業者の協力を得ることにより、高画質、高音質による配信（式典終了後もしばらく公開）を実現することができました。特に卒業式では、卒業生たちの協力による新たな試み（事前に、保護者・ご家族の皆様に向けての感謝の気持ちを綴ったメッセージ動画を作成しておき、式典直後に配信）が大変好評でした。

#### (7) 入学者選抜について

① 私立医科大学全体の志願者数が年々減少する中、前期日程となる一般選抜の志願者は、4年連続で2,000名を上回る2,040名を集め、他の募集区分と合わせて総数は2,851名を確保しました。後期日程では、愛知県地域特別枠B方式において、過去最高の志願者数を獲得しました。また、国際バカロレア選抜では、令和元年度に私立医科大学として、初めての入学者を迎えて以来、一昨年度2名、今年度においても1名が入学しました。国際色豊かな環境で幅広い教育を受けてきたバカロレア入学者との関わりは、周囲に様々な影響を与えています。

② 医学部における全区分の入学選抜において、救護室並びに救護担当教員を置き、体調不良者への対応を行っていますが、今年度は、入試時の危機管理及びリスク管理、また、試験の実施及び運営の円滑な遂行並びに受験生の安全確保等を図るために、体調不良者の救護を含む様々な不測の事態への対応マニュアルを全面的に見直しました。試験中始め試験時間外においても、急病人の発生から災害に至る何らかの不測の事態が発生した場合には、原則として本マニュアルに基づき対応することを徹底しました。その結果、大きな事故等なく全試験を無事に終えることができました。

(8) コロナ禍における学生募集対応

① Webオープンキャンパスの実施について

昨年度に引き続き、Web開催としました。Zoomによるオンライン企画「トークライブ」では、在学生による「入試合格体験談」（1～3年生）、「研究・学会発表体験談」（6年生）の他、卒業生医師による「留学体験談」では、留学での学びが卒業後にどのように活かされているかを伝えることができました。様々な視点、立場による体験談を通して、参加者は、自分の目指す医師像がより明確となったようでした。さらに、「入試過去問解説講座」を新たに実施する等、内容の充実を図りました。参加者数は、前年度の約3倍を数え、既存の「オープンキャンパス特設サイト」のリニューアル、十分な時間をかけた広報の結果、広く受験希望者に本学の魅力を周知することができました。今後は、来場型とのハイブリッド開催の実現が課題となります。

② 重点高校・予備校への訪問、広報活動の強化による地元志願者の確保について

通常、春秋期に実施する高校訪問、予備校訪問を冬期となる12月にも実施、県内の高校や予備校に対して、特に志願者が伸び悩む「愛知県地域特別枠」への出願を促しました。加えて、様々な媒体を利用した広報活動を強化するなど、愛知県地域特別枠始め後期日程の入学選抜に向けて、様々な対策を講じた結果、優秀な入学者の獲得に繋げることができました。

(9) 今後に向けての入試制度改革

臨時定員増により10名の選抜枠を確保する「愛知県地域特別枠」が令和5年度選抜まで延長されることとなったため、臨時定員枠が終了する令和6年度以降の入学選抜等について、愛知県とも調整し、検討を進めています。愛知県の医師確保計画等の進捗状況を注視しつつ、恒久定員の中での継続実施も視野に入れ、意欲的な医学部志願者を確保するための奨学金制度のあり方と併せて検討を進めています。

(10) 卒前・卒後教育のシームレスな教育体制の構築

6学年次生のPost-CC OSCEの正式実施など、今後の医師養成教育はより実習を重視した内容となっていくことを踏まえて、卒前・卒後・専門医教育における一貫した医師の養成を支援・実践するための具体策を検討する必要性から、医学部と卒後臨床研修センターの教員等の他に学生も委員に加えて組織する「医学部卒前・卒後医学教育連携支援委員会」を正式に設置し、新たな教育体制の構築に向けた具体策の検討を始めました。

#### (11) 感染症医療人材養成事業

医学教育センターとシミュレーションセンターが中心となって立案した事業である文部科学省「感染症医療人材養成事業（令和2年度第3次補正）」が採択されました。

本事業では、高度な知識を身に付けた感染症医療人材を養成することを目的とし、医学部学生や看護学部学生に限らず、若手医師、看護師の他広く医療人を対象とした講義・実習を実行しました。そのプログラムでは、新型コロナウイルス感染症のみならず、他の新興感染症や再興感染症に関しても感染症の特性（感染経路・症状等）に応じた教育を実施しました。

#### (12) 大学院医学研究科

大学院医学研究科における令和3年度の学位授与数は、課程博士が24名、論文博士が7名の合計31名でした。また、令和3年度の入学者は26名で、内訳は基礎医学系専攻4名、臨床医学系専攻22名でした。

なお、令和3年度は次のような活動を行いました。

##### ① 大学院FD（ファカルティ・ディベロップメント）の改善

2020年度に受審した大学基準協会の認証評価での指摘を受け、2022年度の医学研究科のファカルティ・ディベロップメント（FD）の希望調査では、各指導教授に対し、予め「テーマ」、「目的」、「期待される成果」、「実施方法」に関する情報提供を依頼し、5件開催希望ありました。

各指導教授から回答があったFDの企画内容は、いずれも教員の資質向上にふさわしい内容であったため、過去の開催実績も勘案し、FDの採用順位を検討した結果、2022年度においては、FD2件を開催することを計画しました。FDの目的やねらい等企画意図を明瞭にし、より一層、教員の資質向上に資する取組みとするよう改善しました。

##### ② 大学院医学研究科入学試験の見直し

###### 【入試の実施方法（外国語試験の試験内容等）の見直し・改善】

現行の外国語試験は、実施年度により、出題問題の専門性や、受験者の背景因子（医師・非医師、基礎系志望・臨床系志望）が、平均点及び合格率に影響していました。そのため、外国語試験の質と厳格性を担保しつつ、大学院生として十分な語学力を有する受験生を、より適切に判定する試験となるよう入試の実施方法の改善を行いました。

###### 【入試に関する入学試験委員会規程の制定】

医学研究科においての入試運営については、大学院医学研究科委員会運営委員会がその任を行ってききましたが、2020年度に受審した大学基準協会の認証評価での指摘を受け、運営委員会の審議事項から、入試に関する事項を独立させ、新たに大学院医学研究科入学試験委員会規程を令和4年4月1日付で制定しました。

##### ③ 新型コロナウイルス感染症下での教育体制の確立

新型コロナウイルス感染拡大禍において、大学院生、教職員の安全確保に留意した教育・研究活動を行うため、ICT（Zoom、VIMEO、AIDLE-K等）を積極的に活用し、最大限の教育・研究活動を行いました。

##### ④ 学生表彰について

大学院生の研究活動の活性化を図るため、学生が顕著な業績を挙げた表彰として、2名を「優秀論文賞」として表彰しました。

⑤ 連携大学院制度の導入について

教育研究の充実を図ることを目的として、一般社団法人日本造血細胞移植データセンターと連携・協力し、令和3年4月1日に連携講座が設置され連携大学院制度の運用を開始しました。

(13) 国際交流

平成27年4月1日に開設した「国際交流センター」は設立7年を迎え、更なる国際交流の活性化に努め、教育・研究のグローバル化の推進、教育・研究環境の質向上を図っています。

教職員が学外で英語による発表を行う際に直面する問題の相談を受ける事業（英文ワンポイント相談）を行っており、令和3年度は12件の実績がありました。（令和3年9月1日から当面の間、本事業は一時休止）また、教職員の英語能力の向上を支援するため、外部機関から英会話講師を招聘して、英語能力向上のセミナー（イブニング英会話）を年2回実施しました。

国際交流の主眼となる外国大学との交流は、アメリカの南イリノイ大学医学部（平成19年4月学術国際交流協定締結）、タイのコンケン大学医学部（平成23年11月学術国際交流協定締結）、ドイツのルール大学医学部（平成24年1月学術国際交流協定締結）、韓国の東亜大学校医科大学（平成27年6月学術国際交流協定締結）、ポーランドのウッチ医科大学（平成28年2月学術国際交流協定締結）、アメリカのバーモント大学（平成29年11月学術国際交流協定締結）、イランのシーラーズ医科大学（令和元年8月学術国際交流協定締結）、ウクライナのキーウ医科大学（令和2年3月学術国際交流協定締結）及びポーランドのポズナン医科大学（令和2年4月学術国際交流協定締結）の9大学となりました。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、学術国際交流協定校との学部学生の交換留学は中止となりましたが、学生の質的向上の取り組みの一環として、英語力のみならず、学業成績、コミュニケーション能力など様々な点で高い能力を獲得できるよう、選択講座の授業（英語でPBL）を3コマ開講しました。加えて、イギリスのレスター大学教員によるオンライン医療英語実習コースを開講し、1学年次から5学年次まで16名の学生が受講しました。

また、学術国際交流協定校であるウッチ医科大学とのErasmus+K107 Grantプログラムについては、大学院学生を1名派遣しました。

(14) 運動療育センター事業

本センターでは、新型コロナウイルス感染症の影響により、やむを得ず令和2年は約3か月間の一時閉館としましたが、その後、万全な新型コロナウイルス対策を講じて再開した結果、利用者数は徐々に増加し、令和3年度は予算を達成することができました。プール利用、パーソナルトレーニングの利用が増したことも売り上げにつながりました。

(15) 教育・研究事業

① 外国人研究者に対する滞在費助成

外国人研究者（外国人大学院生）に対して滞在費の助成を行いました。

## ② 若手研究者への教育研究奨励助成

顕著な研究業績を上げている若手研究者に対し、更なる業績を上げることができるよう若手研究者個人に研究費の助成を行いました。

### <看護学部・大学院看護学研究科>

#### (1) 看護学部

新型コロナウイルス感染拡大状況により、臨地実習では対象者への直接ケア時間の制限が生じていたが、臨床教授等や臨地実習指導者と連携し、臨地で学ぶ内容を明確化し、事前の計画・準備を行うことで、効果的な学修につなげることができました。学内実習やICTを活用した実習においては、リアリティのある学修内容となるよう、場面や情報を時間経過と共に設定した模擬患者事例を作成するなど、カンファレンスに臨地実習指導者が参加する等の工夫を行いました。

2022（令和4）年度稼働予定の新カリキュラムに向けては、カリキュラムマップおよびカリキュラムチェックリストを作成し、担当教員によるシラバス作成の内容および未対応の有無を確認し修正しました。モデル・コア・カリキュラムとの整合性のチェックも実施、新カリキュラムの稼働後、現行カリキュラム学生が留年となった場合に備え、単位修得の読替案の作成も行いました。さらに、学内教員だけでなく非常勤講師、兼任教員の理解を得ることを目的として、カリキュラム変更について9月の教育懇談会で説明を行いました。

学生が自己の変化・成長を自覚し主体的に学修に取り組むことを目指して、今年度は学修成果アンケートをMicrosoft formsで実施し、学生はその結果をe-ポートフォリオ（Mahara）に蓄積することとしました。これにより、学生が経年的に自己の学習成果と成長を振り返ることが期待されます。また、学修成果アンケート、卒業時アンケートおよび卒業後アンケートについては、ホームページ上に公開をしています。授業評価アンケートの結果については、学生のクラス委員と教員とで懇談会を開催し、その結果を教員会議にて全教員で共有し、対応について話し合いました。

令和4年3月には、第三者評価会議を開催し外部評価者に、本学部の教育内容及び2022年度からの新カリキュラムについて説明し、今後の改善に向けた意見・要望を得ました。

#### (2) 看護学研究科

大学院生の研究経験に差があることから、主指導と副指導2名に加え、必要時は副指導を1名追加することを可能とし、研究指導体制の強化をはかりました。今後も、大学院生個々人の特性に合わせた研究指導の在り方を検討する必要があります。

6月にオンラインによる大学院説明会を実施し、42名（動画視聴は73名）の参加が得られました。オンラインの説明会を行うにあたり、事前に看護学研究科でのカリキュラムなどの説明や各専門領域の紹介動画を作成し、応募者の都合に合わせて視聴できるようにし、好評であった。また、年間3回、オンラインによる特別講義を開催することで、遠隔地を含めた延499名の参加を得られ、本看護学研究科のよきPRの機会となりました。遠隔地からの応募者・参加者にとってはオンラインによる説明会や特別講義は利便性が高いため、来年度も継続していきます。

看護学研究科における教育力を育成するワークショップ型のFDセミナー（8月）を実施しました。まず、研究科内講師が研究科の現状についての講義を担当し、グループに分かれた話し合いで教員のニーズを把握しました。教員のニーズに基づき、外部講師を迎えたセミナー「大学院生の主体的参加を促す大学院研究指導のあり方」を令和4年2月に開催し、研究指導における悩み

や工夫について、外部講師からの助言を得ながら話しあいました。また、今年度より大学院生を対象とした統計セミナーの対象を若手教員にも拡大し、教員の研究力育成にも役立てています。外部コンサルタントの助言を得ながら、博士課程の設置に関する基礎情報（東海地方における博士課程の情報、研究科担当教員の業績等）を収集し、令和7年度からの博士課程設置（DNP）に向けて中長期的に取り組むことを本研究科内での共通合意として確認しました。また、3月12日にオンライン会議を開催し、同窓会理事等卒業生に博士課程についての意見を得る機会となりました。

### (3) 看護実践研究センター

新型コロナウイルス感染対策として看護実践研究センターの事業活動内容を見直し、キャリア支援部門及び地域連携支援部門ともにWebによるセミナー開催を継続しました。

キャリア支援部門では、オンラインを有効活用し、看護職を対象とした特別セミナー、看護研究セミナー2回、臨床看護セミナー、臨床倫理セミナー、地域保健活動セミナーを開催しました。オンラインセミナーのメリットとして、全国から参加者が得られたことがある。参加者からは高い満足度が得られ、看護職の現場での課題解決やキャリア支援に寄与する活動を展開できました。今後もオンラインを適切に活用し、参加者の増加につなげていきます。

地域連携支援部門では、新型コロナウイルス感染拡大に伴う活動制限ある中、オンラインなど活用できる資源を最大限に活かした活動を展開しました。具体的には、子育て支援ネットながくて、および長久手市多職種連携推進・交流部会の定例会と研修会、子連れ備災クラブ座談会への参画等を行い、地域住民へ健康づくりや介護・福祉の地域連携活動に寄与しました。さらに、長久手市大学連携推進ビジョン4Uに参画し、次年度以降の活動につなげていくことを検討しています。認知症サポーター養成は、継続して1年に1回の研修を開催し、今年度から教職員に加え、学生の参加も得られました。

### (4) 国際交流

新型コロナウイルス感染拡大禍、オンラインにて令和3年8月2日にシンガポール国立大学 ヨン・ルー・リン医学部アリス・リー看護学科との学術交流と協力に関する覚書を締結しました。協定校のマハサラカム大学（タイ）とシンガポール国立大学（シンガポール）の2校からは、本学学生・大学院生および新入学生への学術国際交流の周知を目的にビデオメッセージを得て、看護学部ホームページで公開しています。

今後は、学部生だけでなく、大学院生を対象とした国際交流プログラムの体制づくりを行い、感染収束後を見据え、海外渡航再開後速やかに、交流を再開できるよう、学部生および大学院生への国際交流への関心を高める取り組みを、検討・実施していきます。

昨年度より開始した、ケース・ウエスタン・リザーブ大学日本語サークル「日本語会話クラブつながりジャパン」（1回/週 オンラインを用いた国際サークル）に参加する学生を支援し、1・2年生を対象に説明会を行いました。夏季休暇中には、近隣大学が主催するオンラインセミナー（海外で働く看護師に関する国際セミナー）に国際交流に関心がある複数名の学生が参加しました。参加した学生の満足度も高く、また主催者からも参加学生に対しての高評価を得ました。

### (5) FD活動

FDマザーマップ®の導入準備期間に位置づけ、目標設定とセミナー受講計画及び評価の自己点検を行いました。令和4年3月の報告会では、自己の目標を立て、能力を向上させる意義が

あるという意見があった一方で、教員評価との重複による負担の意見も抽出されたため、導入方法については、今後継続して検討していきます。

#### (6) 国家試験対策

父母会の支援により、今年度は、外部業者から講師を招いて計13回26コマの看護師国家試験対策講座を実施しました。開催当初は、学内において対面形式で開催していたが、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の発令もあり、第4回から遠隔での開催へと変更しました。

模擬試験の実施については、父母会の支援のもと、4学年次生は、看護師模擬試験年4回、保健師模擬試験年3回、3学年次生は看護師必修模試、2学年次生は低学年模試をすべて学内での実施し、模試の結果については、結果分析を教員会議で報告し、教員間で情報共有を行い、学生支援に活かしました。

医心館の利用は、感染防止対策のため1部屋の配置人数を少なくし、8月から国家試験1ヶ月前までの利用としました。また、AIDLE-Kを活用した学習支援システムの整備を行い、講義動画の配信及び国家試験に対する情報提供を行いました。

国家試験が近づくに連れ、新型コロナウイルスの感染が拡大したため、国家試験受験・免許申請等に係る説明会はZoomで開催し、学生が、試験前日から当日に新型コロナウイルスに関連する電話相談を受けられる体制を整備しました。

上記対策の結果、看護師新卒者合格率100%（新卒者105名受験）、保健師新卒者合格率100%（新卒者15名受験）でした。

#### (7) オープンキャンパス

今夏、2021Webオープンキャンパスを、ドローンによる施設紹介などを追加して、さらにパワーアップし、かつ臨場感のある特設サイトを作成しました。参加対象者が使用するデバイスを考慮して、モバイルに焦点を当てリニューアルしたWebページも完成しました。

当日の企画は、Zoomによる教員相談と学生相談を実施し、各相談の予約、スケジュール調整、動画の作成、コンテンツの公開等、事務職員（学生支援課）と教員（広報委員）は、常に情報を共有し、作業スケジュールに沿って、連携を保ちながら運営しました。

特設サイトの閲覧状況は、アクセス総数が昨年度と比較して約12倍の増加がみられ、使用されたデバイスは、モバイルが最も多く、モバイルに焦点を当てリニューアルしたWebページの効果が伺えました。視聴された場所は、愛知県が最も多く、北海道から沖縄県まで全国各地で視聴されました。

#### (8) 高大連携の実施

愛知県立長久手高等学校との高大連携事業に参加した生徒の授業評価では、授業に対する関心が高く意欲的に学ぶことができていた。レポートや学習発表会では医療看護に対する考えが深まり、将来像の明確化がみられました。令和4年度からは、「医療看護探究C」の生徒が20名前後に増加することも鑑み、可能な範囲で大学での演習や体験学習を取り入れた授業計画を立案し、感染拡大状況に合わせて実施方法を検討していきます。

#### (9) 看護学教育評価受審準備

看護学部教授による看護学分野別評価対策ワーキングを立ち上げ、各委員会（教務委員会・学生委員会・実習委員会・入試委員会）による自己点検を実施しました。不足する取り組みについては、令和3年度及び令和4年度前半において改善する計画を立案し、一部の事項（シラバス作成要領の見直し、学生の成績評価の公開時期変更および不服申し立て手続きの制定や学生や高校生にとってわかりやすいホームページなどの記載内容）について改善に取り組みました。令和4年1月に看護学教育評価受審申請を行い、令和5年度に受審することが正式に決定しました。

#### <総合学術情報センター>

##### 【図書館部門】

#### (1) 学術情報の収集及び整理に関すること

総合学術情報センター運営委員会の選書を中心に1,139冊の図書（このうち、買い切りの電子ブック136タイトル）、13タイトルの視聴覚資料の受入れを行いました。

学術雑誌は、電子ジャーナルを中心に国内外あわせて約4,000誌を購読しました。また、学術雑誌の価格高騰等への対処のため、電子ジャーナルパッケージについてはコンソーシアムによる契約を行いました。

DVD動画配信サービスを契約し、120タイトルが視聴可能となり、学部生の授業等で活用されています。

#### (2) 学術情報の管理及び運用に関すること

蔵書資料の管理のため、図書館内の所蔵資料及び講座等へ長期貸出中の資料を対象とした蔵書点検を実施しました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として遠隔講義が取り入れられたことにより、遠隔講義で使われる著作物の使用に関し、許諾が必要となりました。このため、図書館において、授業目的公衆送信補償金制度に登録したことにより、無許諾でも使用できるようになりました。

また、メディカルセンターの開院により、メディカルセンターからでも学術情報データベースを利用できるよう契約を変更しました。

#### (3) 利用者サービスに関すること

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、これまで平日は22時までの開館（夏季休業等を除く）を時間短縮、土・日・祝日の開館を休館としました。

開館時の感染対策としては、日本図書館協会作成の「図書館における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」等を参考に、閲覧席の間引き、利用者への手指消毒等の注意喚起、閲覧席やパソコンの消毒、館内の換気を随時行いました。

時間短縮時の利用者サービスの代替として、来館を伴わない学術資料の提供について、貸出の申請があった利用者に対して自宅へ郵送するサービスや所蔵資料の複写の申請があった利用者に対して、司書が複写を代行し、自宅へ郵送するサービス等を行いました（延べ88件）。また、閉館時間帯は返却ボックスを設置し、貸出図書等の返却を24時間可能としました。

教員の要望に基づき、各学部生及び各研究院生に対して、自宅やオンライン講義における医中誌Webや電子ジャーナル等の利用ができるように学外アクセスSSL-VPN接続用のID及びパスワードを配付し、SSL-VPNの接続による電子リソースの学外アクセス環境整備を行いました。また、自宅等からもアクセスできる出版社等による無料提供のコンテンツについて情報提供を

診療支援として、看護部と連携し、看護技術を動画とeラーニングで確認・習得するオンラインツール「ナーシング・スキル日本版」を用いた支援を行いました。また、医学部学部生・臨床医向けツールUp To Dateをスマートフォン等による学外アクセスで提供しました。

地域における健康・医療への貢献の促進として、近隣の公共図書館との連携による健康支援事業「めりーらいん」では、イベントを1回（令和4年1月19日（水）瀬戸市立図書館にて）開催しました。

#### 【ICT支援部門】

ICT支援部門では、ICTに係る業務を行うことをその役割としており、令和3年度においては、主にeラーニングシステム及びeポートフォリオシステムに係る業務（管理・操作支援等）として、以下のとおり活動しました。

(1) eラーニングシステム（授業支援システム（AIDLE-K）, 業務支援システム（AIDLE-J））について

- 令和3年度においては、425件のコース申請（AIDLE-K:427件（新規作成：247件, 継続132件, 削除：46件）, AIDLE-J：28件（新規作成：8件, 継続19件, 削除：1件））があり、現在稼働しているコースは406件となっています。

また、本システムの利用実績（学生、職員のアクセス数）における月平均ログイン数は、新型コロナウイルス感染症の流行における遠隔授業の実施に伴い漸次増加傾向にあり、授業支援システム（AIDLE-K）で、78,688件（75,716件（令和2年度）, 10,228件（令和元年度））, 業務支援システム（AIDLE-J）で、2,834件（2,541件（令和2年度）, 2,002件（令和元年度））となりました。

本システムの利用促進と理解を深めることを目的として、教職員を対象とした講演会及び説明会を開催しました。また、担当者の理解を深めるため、eラーニング全国交流会への教員の参加を行いました。

- AIDLE-Kの利便性の向上のために、プラグインソフトの新規導入を行いました。
- 4～5月には重点的に問い合わせや相談に対応しました。また、6月以降、個別の問合せや相談には随時対応しており、講座等を対象とした小規模な説明会も行いました。
- 医学部教務課と連携して、シミュレーションセンターで管理するシミュレータの利用管理システムの導入に伴ってのAIDLE-Kとの連携機能の構築を行いました。

(2) eポートフォリオシステム（Mahara）について

- 利用実績（学生・職員のアクセス数）における月平均ログイン数は、373件（令和元年度）, 1,467件（令和2年度）, 1,084件（令和3年度）となりました。
- 本システムの利用促進と理解を深めることを目的として、教職員を対象に、外部講師による講演会を開催しました。また、随時利用者向けマニュアル改訂、及び新規作成を行っており、個別の問い合わせや相談にも応じています。

#### 【情報基盤部門】

(1) 情報セキュリティ対策

ますます増加する、サイバー攻撃や情報漏えい等のセキュリティインシデントに適切に対応するためには、情報機器を使用する各人が情報セキュリティ対策に必要なことを理解し実践することが必要不可欠です。学生及び教職員における情報セキュリティの意識向上を図るため、次の内容を実施しました。

- ① 医学部新入生向けに愛知県警による情報セキュリティ講習会を開催し、情報知識の修得を図りました。
  - ② 継続効果のある標的型攻撃メール訓練を11月15日（月）及び12月13日（月）の2回実施しました。1回目の訓練メールの内容がコロナ給付金に関する内容であったことから、開封率は41.3%と高い結果となりました。2回目の開封率は16.0%と大幅に下がっていることから、訓練の一定の効果は認められました。
  - ③ 令和4年3月には、外部の専門家に講演依頼を行い、情報セキュリティをテーマに最新動向や具体的な対策等についての講演会を開催しました。
  - ④ 情報セキュリティに関する注意喚起や各種情報について、メールやホームページを通じて学内周知を行いました。
- (2) 学内サービスの向上
- ① 無線LAN環境の整備  
学内の無線LAN環境が整っていないエリア（C、D棟教授室、たちばなホール）に、無線LAN環境の整備を行い利用者の利便性向上を図りました。
  - ② オンラインファイル交換サービスの整備  
ネットワーク上で安全に大容量ファイルの受け渡しが可能なオンラインファイル交換サービス「Condor」の整備を行い、大容量ファイルの送信や複数の人とのファイル送信等の利用者の利便性向上、ファイル持ち出しによる情報流出防止等の安全性向上を図りました。

## 教育・研究関連の施設設備

- (1) 教育・研究環境の整備
- ① 倫理指針の改正に伴い、様式の作成、見直しを行い、倫理審査申請システムの改修及び改良の調整を進めました。この改修により、これまでの倫理指針で承認された研究を管理しつつ、改正後の倫理指針に基づく研究の審査が適正にできる環境を整えました。
  - ② 胚凍結及び移植システムについて、全学的なアンケート調査を実施しニーズを明らかにした上で整備しました。今後、技術員の訓練を始めとした立ち上げ作業を行い、より円滑に実験動物リソースを活用できる研究環境を構築します。
  - ③ 高分解能網羅的蛋白分析、定量システム（質量分析計 ZenoTOF7600）について、私学助成を活用し整備しました。旧システムに比べ10倍程度の検出感度を持つ等、機能面で大きく向上しており、医学研究の発展に資しています。
  - ④ 研究棟102号室（解剖学実習準備室）、103号室（法医学剖検室）及び104号室（病理学剖検室）の屋上排気フィルターの除菌等能が低下していたため、フィルターを全て交換し環境を整えました。
  - ⑤ 研究棟102号室（解剖学実習準備室）の給気システムの更新について、外気の高湿多湿を制御し、室内を一定の温度と湿度に保つことで結露を防止し、カビ発生も抑制する給気システムを整備し環境を整えました。
  - ⑥ 大学本館講義室イス張替え  
大学本館2階および3階の講義室6室のうち、イスの布の破損が著しい167脚の張替えを行いました。
  - ⑦ 大学本館講義室の音響設備更新事業

大学本館講義室の音響設備の経年劣化に伴い、不具合の発生していた機器の更新を行いました。

⑧ 研究棟101・106実習室AV機器更新及び壁・天井塗装工事

研究棟101・106実習室の映像・音響機器を老朽化に伴い更新を行いました。

また、壁、天井等の塗装工事およびホルムアルデヒド対策用光触媒塗装を行いました。

⑨ 出席管理システムリプレイス

現行の出席管理システムサーバーの保守契約の終了に伴い令和4年度の導入に向けて新たな出席管理システムを開発しました。顔認証システムの導入や保護者向けに学外から出席状況の確認が可能になる等の新しい機能を追加しました。

⑩ 心臓病患者シミュレータの購入

シミュレーションセンターで使用している心臓病患者シミュレータの老朽化に伴い買い替えを行いました。

⑪ 高機能シミュレータの定期メンテナンス計画

シミュレーションセンターで使用している高機能シミュレータの定期メンテナンスを行いました。

⑫ シミュレーションセンター1及び2の改修

より高いレベルの医学教育を実施できるよう、シミュレーション教育環境を整備し、医学部・看護学部・看護部・若手医師等の教育に利用するための改修を行いました。

⑬ 運動療育センターの旧レントゲン室をパーソナルトレーニングルームに改修しました。この改修により、パーソナルトレーニングを始め、ヒーリングヨガ、ストレッチ等の少人数教室がより良い環境の下で行うことができるようになりました。

⑭ 看護学部棟及びC棟講義室N201講義室、N301講義室、C201講義室、C202講義室、N302講義室、N305講義室におけるプロジェクター（投影比率16：9対応、ランプ交換不要、HDMI対応）、スクリーンの更新（現行の3：4比率から16：9比率対応に変更、一部講義室は取り付け位置及びサイズの変更）、映像出力機器（スイッチャー等）の更新（HDMI端子からの出力に対応）、一部講義室は、プロジェクター、モニターの追加及び制御プログラムの更新を実施しました。

令和4年度は、残りのN102実習室、N103実習室、N202講義室、N203講義室、N205実習室、N306実習室、N101多目的ルームの更新を予定しています。

## 2 医療活動関連事業

<大学病院>

(1) 医療に関する重点事業

① 教員の増員

当院の専修医は過去5年間で毎年平均35名程度の採用実績があるが、令和3年度は52人採用しました。当院の専修医は、日本専門医機構の定める専門研修制度における専攻医であり、特に当直においては救急搬送された一次・二次救急患者のファーストタッチを行っており、時間外診療および救急外来に大きく貢献しています。

② 社会福祉士の増員

医療福祉相談部の部署内の管理業務、入退院支援加算・地域連携診療計画加算・介護支援連

携指導料算定件数の増加，専従または専任の要件がある愛知県の委託事業および病病連携をはじめ地域包括ケアシステムに関連する地域活動に対応ができるように社会福祉士を1名増員しました。

③ 臨床検査技師の増員

新型コロナウイルス疑似症，入院時スクリーニング，各団体および愛知県の行政検査におけるPCR・微生物検査に対応できるように臨床検査技師を1名増員しました。

④ 診療放射線技師の増員

時間外における放射線検査は2018年以降急激に増加していることに加えて，新型コロナウイルス感染症陽性疑い患者の増加に対応できるように診療放射線技師を1名増員しました。

⑤ 臨床工学技士の増員

新型コロナウイルス感染症の診療に必要な，人工呼吸器，ECMO，血液浄化装置，血漿分離機器等体外循環回路を使用した治療に対応できるように臨床工学技士を1名増員しました。

⑥ 理学療法士の増員

集中治療室における術後の管理により，術後合併症を予防し，早期離床を促進するために理学療法士を2名増員しました。

⑦ 診療放射線技師2名，看護師1名の増員

がんの3大療法（手術・化学療法・放射線治療）のいずれとも併用可能で，その治療効果を高める特徴を持つ温熱療法に対応するため，診療放射線技師を2名，看護師を1名増員しました。

⑧ 管理栄養士の増員

チーム医療への参画や，臨床現場における新たな役割に対応し，化学療法室栄養指導および早期栄養介入管理による加算を算定できるようにするため，管理栄養士を2名増員しました。

⑨ 手術件数確保のための医師への手当追加

麻酔科員の代務料を補償することで，代務を減らし，当院での勤務に専念してもらうことで手術件数の確保につとめました。また，対応可能な手術件数を増加させるため，麻酔科医師の外部委託を行いました。

⑩ 学生アルバイトの導入による加算の取得

夜間100対1急性期看護補助体制加算及び夜間看護体制加算を取得し，夜間看護業務の負担を軽減しつつ患者サービスを向上するために，学生アルバイトを導入しました。

⑪ 手術用顕微鏡 KINEVOの購入

術者の視野内にICG蛍光箇所や腫瘍位置を投影するAR技術を手術に導入し，先進的な脳腫瘍，頭蓋内血管障害，脊椎脊髄手術を可能にするため，手術用顕微鏡KINEVOを導入しました。

⑫ 体表面補綴外来の設立

形成外科および歯科口腔外科の協同により，エピテーゼ（装具・義手）の作成や再建手術時の鋳型作成において一定の成果を上げており，今後のさらなる発展のため，形成外科内に体表面補綴外来を設立しました。

⑬ 診療用機器の整備

内視鏡センターにおける各種検査について，透視装置併用検査・処置の件数増加に対応し，検査効率を上げ，緊急検査にも対応できるようにするため，X線透視装置を増設しました。

- ・ 画像診断センターにおいて，マンモグラフィ撮影及びマンモトーム生検等に使用している

X線装置について、導入より8年が経過しており、装置トラブルが増加しています。分解能や画質を改善し、読影制度、生検制度を向上するため、トモシンセシス機能及びトモバリオプシー機能搭載のX線装置を導入しました。

- ・ 画像診断センターにおいて、治験や研究等も含めた骨密度測定に使用している装置について、導入から8年が経過しており、既にメーカーからの部品供給も終了している。今後も信頼度の高い測定結果を提供できるようにするため、腰椎側面測定、HSA解析および人工関節解析機能を有する骨密度装置を導入しました。
- ・ がんの5大治療（手術・化学療法・放射線治療）のいずれとも併用可能で、その治療効果を高める特徴を持つ温熱療法に対応するため、温熱療法装置2台を導入しました。

⑭ 医師事務作業補助体制加算1（25対1）を算定できる体制の構築

令和4年1月から「医師事務作業補助体制加算1」の25対1に位置づけられました。

当院の医師事務作業補助者の配置目的は①医師の働き方改革への貢献、②病院経営への貢献、③医療の質向上（医療行為の円滑化）です。

目的を達成するために①さらなる増員②職員比率向上③教育の充実が必要不可欠となります。

⑮ 診療活性化対策費（病院長インセンティブ）の支給

（令和2年度下半期分及び令和3年度上半期分）

令和2年度下半期分の支給については、コロナ禍の影響が各診療科の診療実績に与える度合いがまちまちであるため、病院全体としての公正性を保つために診療科・部門等への予算配付を見合わせることにしました。

令和3年度上半期分の支給については、令和2年4月及び5月の医療収入実績がきわめて低いため、令和3年4月及び5月は評価の対象とせず、6月～10月の5ヶ月を評価期間として、請求額等の評価後に病院長裁量での最終的な評価を行い全体で36,602千円を診療科・部門等へ配付しました。

⑯ syngo via server更新事業

平成25年に導入した読影支援システム「syngo via」の保守が令和3年で終了するため更新を行いました。更新の際、既設viaサーバーにCTとMRIのサーバーを統合し、保存容量確保のため、「syngo plaza storage server」を追加しました。

⑰ PET/CT装置に付随するワークステーション整備事業

平成26年に導入した画像診断装置ワークステーション「XTREK STATION」の保守が令和3年で終了するため更新を行いました。

⑱ NAVIT（患者案内端末）更新事業

平成26年に導入したNAVIT（患者案内端末）については、患者案内端末や無線アンテナ等の機器が老朽化し、更新を契約したが世界的な半導体不足による電子機器の調達が遅れ令和4年度実施となった。

⑲ 医療情報システム運用管理業務委託事業

電子カルテ等のシステム運用に関する業務について、委託化することにより安定化を図り、24時間365日担当職員を病院内に常駐することにより夜間休日におけるシステムトラブルにも迅速に対応できるようした。

(2) 組織整備

令和3年度は、次の組織整備を行いました。

① 頭蓋底外科センター（令和3年6月1日設置）

顔面・頭部の最深部位である頭蓋底は、脳、目、耳、鼻、口、喉などの機能をつかさどる神経や血管が集中しており、ここに発生する腫瘍、奇形、外傷等の様々な疾患を扱う頭蓋底外科の手術は脳や神経を傷つけずに頭蓋底に到達するための大変高度な技術が要求されます。頭蓋底外科に関連する診療科の豊富な経験と高度な技術を集約したチーム医療を実践し、本院を日本における頭蓋底外科治療の拠点施設へと発展させるため設置しました。

② 疼痛緩和外科（令和3年10月1日設置）

本学では、平成14年に本邦で初となる集学的な痛みセンターとして医学部附属学際的痛みセンターが設置されました。それと同時にその診療組織として本院に痛みセンターが設置され、多職種による横断的な慢性疼痛医療に従事してきました。これまで痛みセンターで培われた慢性疼痛医療に必要な知識及び技能を持つ医師を診療科として組織し、本邦に冠たる慢性疼痛医療施設として発展させるため設置しました。

また、疼痛緩和外科の設置に伴い「痛みセンター」は「いたみセンター」へ改称し、引き続き集学的な痛みユニットとして多職種の協同により運営します。

(3) 新型コロナウイルス感染症対応

① 医療従事者向け新型コロナウイルスワクチン接種開始

令和3年3月12日（金）から、医心館1階を会場として、医療従事者向け新型コロナウイルスワクチン接種を開始しました。接種会場の選定、感染防止対策、円滑な接種体制構築及びアナフィラキシー症状発生時の対応体制等について、関係部署及び多職種が複数回協議を重ね実施方法を決定しました。

基本型接種施設として、国から超低温フリーザー、新型コロナウイルスワクチン等の供給を受け、事前のワクチン調製、会場での受付、問診、ワクチン接種、経過観察など、医師、看護師、薬剤師及び事務職員の連携・協力の下、接種が進められました。

② 「あいちワクチンステーション栄」における新型コロナウイルスワクチン接種への協力

令和3年9月11日（土）から同年11月5日（金）にかけて、愛知県が開設する新型コロナワクチン大規模接種会場「あいちワクチンステーション栄」において接種医療機関として協力を実施。愛知芸術文化センター内に開設され、正午から午後8時まで接種可能な体制を取ることで、対象者となる愛知県に在住、在勤、在学の一般市民の方が来場しやすい環境を整備しました。

<メディカルセンター>

(1) メディカルセンターについて

【開院時の構想と状況】

西三河南部東医療圏の岡崎市北部・豊田市南部地域において、整形外科を中心とした回復期の入院医療を展開してきました医療法人愛整会北斗病院の事業を承継し、本学念願の分院として、令和3年4月1日に「愛知医科大学メディカルセンター」を開院しました。

分院開設は、本学の建学の精神に則るものであり、また、創立50周年事業の一つでもあります。

愛知医科大学メディカルセンターの機能が地域の拠点となり、また教育病院として活用され、財政基盤の拡充を通じ、本学の発展に資することを目指しています。

【メディカルセンターの概要】

理 念 「地域を守り共に生きる中核病院として、患者本位の医療を目指します。」

理念 「地域を守り共に生きる中核病院として、患者本位の医療を目指します。」  
社会の信頼に応える医療機関  
人間性豊かな医療人を育成できる教育機関

#### 基本方針

- ・ 継続性を重視した医療の提供
- ・ 治し支える医療の実践
- ・ 医療、介護、福祉へのつなぐ医療の実践
- ・ 信頼関係を大切にした安全で良質な医療の提供
- ・ 豊かな人間性と優れた医療技術を持った医療人の育成
- ・ 地域の医療機関と連携し、地域の医療・福祉の向上に貢献

病床数 270床：急性期一般入院料 90床（令和4年4月1日開棟）、回復期リハビリテーション病棟入院料 100床、地域包括ケア病棟入院料 40床（休床中）、療養病棟入院基本料 40床（令和3年稼働190床、令和4年稼働230床）

総床面積 約16,800㎡（南館：7,600㎡、北館：9,200㎡）

診療科（太字は常勤医師勤務）

**総合診療科**、**消化器内科**、**循環器内科**、呼吸器内科、神経内科、**腎臓・リウマチ膠原病内科**、血液内科、**糖尿病内科**、脳神経外科、**整形外科**、皮膚科、泌尿器科、形成外科、疼痛緩和外科

常勤医師数 13名、非常勤医師数 47名（ともに令和4年3月31日現在）

#### 【メインコンセプト：Family medicine（地域医療サポート）】

「開業医、病院などの地域医療ニーズサポートをする、地域包括医療を後方支援していくこと」

疾患別に丁寧に対応できる専門医を配置し、地域医療の後方支援を行います。また、内科系総合診療の医師を中心とした救急医療体制を整備し、主に2次救急患者の受け入れを通じた循環型の地域医療システムの構築を目指し、さらに災害医療体制における後方支援を行います。分院の病床機能をフルに活用して、最後まで患者さんに寄り添い、また、分院が拠点となって地域ぐるみで患者さんに寄り添っていくという、地域に根差した医療を展開することとしています。さらに大学病院の分院として、次の世代の医療人育成の実践の場を構築していく考えです。

#### 【令和3年度の状況】

「融和の年」として

- ・ 整形外科を中心としつつ、内科の診療体制充実を進め、総合診療と専門診療の連携を強化しました。（「診療の融和」）
- ・ 地域医療連携活動及び地域広報活動を積極的に行い、地元での知名度向上を図りました。（「地域との融和」）
- ・ 職種間を超えた様々な組織体・会議体を設置し、コミュニケーションの向上を図りました。（「職員の融和」）  
診療部については「診療科コミュニケーション会議」を設置し、運営しました。  
医療技術部については「技師長会」を設置し、運営しました。  
部門責任者については「業務連絡会」を設置し、運営しました。
- ・ 集患対策として、地域広報媒体への宣伝広告を継続的に実施しました。
- ・ 地域医療機関に対して、「病診連携」に関するアンケートを実施・集計しました。

- ・ 地域医療機関の要望を受けて、インターネット予約「e-連携」を開始しました。
- ・ 地域医療機関に対する検査予約（MRI, CT, 骨密度, 心エコー）及び栄養相談を開始しました。
- ・ 休床病床（南4階）の再開に向けて、移行方法検討、体制整備及び機器整備等を実施し、令和4年4月に一般病床40床の再開しました。
- ・ 医療技術部の技師等職員の退職補充及び体制増強を進めました。
- ・ メディカルセンターとなって初めての東海北陸厚生局による「適時調査」及び岡崎市保健所による「立入調査」を受審しましたが、大きな問題はなく終了したため、遵法精神に沿って引き続き改善に努めていきます。
- ・ 施設基準の向上及び加算獲得を検討し、順次実現しました。  
救急医療管理加算の取得、急性期一般入院料（7⇒4）の届出変更など
- ・ 外来会計待ち時間の短縮に取り組み、職種間の連携により改善を実施しました。
- ・ 災害時においても、地域の信頼に応えうる医療機関であることを目指して、災害対策委員会を新たに立ち上げ、「防災・非常時マニュアル」（初版）を作成しました。
- ・ 地域及び患者様への広報活動の一環として、広報委員会を新たに立ち上げ、メディカルセンターとしてリニューアルした「病院パンフレット」を完成・配布し、また病院広報誌（創刊号）を完成させました。病院広報誌の名称は、広く職員から募集し、花言葉が先見の明、用心深さ及び保護である「ひいらぎ」を採用することに決定しました。
- ・ その他、医療体制及び職場環境などが急激に変化した中ではありますが、医療安全管理上及び感染管理上などの重大事故は発生することなく、また、各方面において、学校法人及び大学病院の多大な支援を得ることにより、開院初年度を無事終えることができました。

## (2) 職員の体制整備

### ① 教員の配置

令和3年初年度は、総合診療科2名、糖尿病内科2名、腎臓・リウマチ膠原病内科3名、循環器内科2名、消化器内科1名、整形外科3名の合計13名の医師で診療を開始しました。

### ② 医療技術部職員の増員について

医療職員の人員体制を下記のとおり整備しました。

薬剤室1名増員、検査室1名増員、ME室2名増員、栄養室2名増員の合計6名増員。

### ③ 看護部の増員について

令和4年4月からの一般病棟再開に向けて、令和4年3月20日付けで本院からの配置換えにより、以下のとおり増員しました。

正看護師 15名（令和4年3月20日付け）

また、以下主任以上の役職者5名については、令和4年4月1日付けで、配置換えにより増員されました。

主任以上の正看護師 5名（令和4年4月1日）

看護補助者について、令和4年1月1日より、5名の増員を目指し派遣契約にて、採用活動開始。令和4年3月31日現在1名入職済みです。

### ④ 事務部の増員について

正規職員の増員について、大学病院として、承継前以上に事務的な管理が必要となることから、大学および本院からの配置換え等により以下のとおり増員しました。

令和3年4月1日付け 配置換え増員

事務部 部長 1名, 医療情報課 1名, 医事課 1名, 調達課 1名

令和3年7月1日付け 配置換え増員

調達課 1名, 総務課 1名

診療部医師数の増加に伴い, 医局秘書として, 派遣職員 1名を契約しました。

令和3年5月1日付け 派遣契約締結

総務課 1名 (医局秘書)

### (3) 新型コロナワクチン大規模集団接種会場設置

#### ① 1回目・2回目新型コロナワクチン大規模集団接種

令和3年7月3日から11月19日までの間, 愛知県の新型コロナワクチン大規模集団接種会場として1回目・2回目接種(モデルナ社製ワクチン)を行いました。

- ・ 対象自治体: 岡崎市, 豊田市, 知立市, みよし市
- ・ 開設時間: 平日13時～20時, 土日10時～19時
- ・ 接種場所: 南館3階, 4階病棟
- ・ 接種従事者: 愛知医科大学医師, メディカルセンター看護師 ※下記②～④も同様
- ・ 令和3年8月23日から妊婦(夫又はパートナーを含む)に対する予約なし接種を開始しました。また, 令和3年9月23日から若者優先接種(12歳～39歳)のLINE予約による接種を開始しました。
- ・ 延べ接種者数 75,605人

#### ② 2回目新型コロナワクチン大規模集団接種(2回目未接種の救済)

令和3年12月3日から令和4年1月28日まで毎週金曜日(15時～16時)に2回目未接種者の救済接種(20人/日)を行いました。(接種会場: 北館1階外来スペース)

#### ③ 3回目新型コロナワクチン大規模集団接種

令和4年1月31日から愛知県の新型コロナワクチン大規模集団接種会場として3回目接種(モデルナ社製ワクチン)を開始しました。

- ・ 対象者: 18歳以上かつ県内に在住, 在学, 在勤の方(LINE予約及びコールセンター電話予約)
- ・ 開設時間: 平日13時～20時, 土日10時～19時
- ・ 接種場所: 南館3階病棟
- ・ 1回目・2回目未接種者の救済接種を毎週金曜日(13時～14時)に開始しました。
- ・ 令和4年1月31日～3月31日 延べ接種者数 15,908人

#### ④ 小児(5歳～11歳)に対するコロナワクチン大規模集団接種

- ・ 令和4年3月5日から毎週土曜日(10時～15時)に小児(5歳～11歳)に対する1回目・2回目のワクチン接種(小児用ファイザー社製ワクチン)(30人/日, 3月26日から40人/日)を開始しました。(接種場所: 北館1階外来スペース)
- ・ 令和4年3月5日～3月31日 延べ接種者数 127人

### (4) 新型コロナウイルス感染症対応状況

#### ① 陰圧室の設置

新型コロナウイルス感染の疑い症状がある患者へ対応するため, センター内に陰圧室を設置しました。

- ・ 設置日: 令和3年4月27日

- ・ 設置場所：北館3階病棟（N301・N302号室），北館1階 発熱外来処置室

## ② 新型コロナワクチン個別接種

65歳以上の当院かかりつけ患者に対し，新型コロナワクチン（ファイザー社製ワクチン）の個別接種を行いました。

- ・ 対象者：ワクチン接種券を持参した65歳以上の当院かかりつけ患者
- ・ 開設時間：平日14時～15時，土曜日10時～11時
- ・ 実施期間：1回目 令和3年6月14日～6月30日（接種者数 720人）  
2回目 令和3年7月 5日～7月21日（接種者数 726人）  
3回目 令和4年2月28日～3月18日（接種者数 387人）
- ・ 接種場所：北館1階外来スペース
- ・ 周知方法：メディカルセンターホームページ，院内掲示
- ・ 予約方法：専用ダイヤルによる電話予約，外来受付での窓口予約

## (5) 医療機器・パソコン等を中心とした施設設備の整備状況

### ① 医療用機器等の整備

メディカルセンター開設に当たり，令和3年度は約2億円の資金を投じて診療科等から希望のあった医療機器等を整備・更新しました。

《令和3年度に整備・更新した主な医療用機器等》

- ・ 心臓リハビリテーション設備  
心大血管疾患リハビリテーションの実施に必要な心電図モニター装置，運動負荷試験装置，トレッドミル及びエルゴメーター等を購入し，心臓リハビリテーションが実施できる環境を新たに整備しました。
- ・ 手術室内医療機器等  
医療機器が老朽化しているため，手術台をはじめA.T.Sタニケットシステム，メイフィールド頭部固定装置，リーマー型手術用電動工具及び手術顕微鏡用記録システム等を更新しました。
- ・ 超音波診断装置  
腎臓・リウマチ膠原病内科における腎生検及びシャント手術，並びに循環器内科における心臓超音波検査を実施する際に必要な超音波画像診断装置（3台）を整備しました。
- ・ 病棟用生体情報モニター及びアンテナ設備  
病棟の再編に先立ち，各病棟の生体情報モニターを最新機種にアップグレードし，データの送受信に必要なアンテナ設備を更新しました。
- ・ リハビリテーション機器  
リハビリテーション室に長下肢装具（ゲイトイノベーション），ステッパー，トレッドミル，牽引装置（スーパートラック）及び免荷式歩行リフト（POPO）を整備しました。
- ・ 薬剤室内医療機器等  
薬剤室に散薬監査システム，薬用冷凍冷蔵庫及び血液用冷蔵庫を整備しました。また，薬用冷凍冷蔵庫には庫内の温度異常を検知する警報装置を設置しました。

### ② 施設改修工事関係

南館の経年劣化の著しい病棟階（3階から5階）のナースコール，エアコン，照明（LED化）の更新工事を実施し，併せて省エネも図りました。

また、停電時の重要な設備機器である南館非常用発電機整備とオペ室の無停電電源装置（UPS）の更新工事を実施しました。

### ③ 事務室改修工事

事務機能の効率化を図り、分散していた事務部門を集約するため、北館2階事務室の拡張改修工事を実施しました。

### ④ パソコン関連

令和3年7月にはWindows7パソコンが約80台（電子カルテ25台）も院内に設置されておりました。セキュリティ的にWindows10に更新する必要があり、25台の電子カルテパソコンをWindows10に更新、10台を不足部署に追加設置、南4階再編に伴い、8台を設置いたしました。本院と同様に電子カルテパソコンでインターネット閲覧を可能にすることにより、インターネット閲覧用のWindows7パソコンを約50台廃棄し、院内全体で台数を減らすことができました。

### ⑤ 院内ネットワーク更新

北斗病院で構築したネットワークは10年以上の機器も存在し、一部で停止することが多く発生しました。令和4年3月にネットワークの完全リニューアルを行い、大学ネットワークとの接続、本院大学病院の電子カルテ閲覧が可能となりました。また、患者サービスの一環で患者用Wi-Fiも整備いたしました。

### ⑥ 医事システム更新・給食管理システム導入

Windows7パソコンで医事システムが稼動していたのと、導入から10年経っており、令和4年4月の医療改定対象外のシステムのため、後継システムを導入しました。

北斗病院で未導入の給食管理システムを導入し、電子カルテとのオーダー連携が可能となりました。

## <メディカルクリニック>

メディカルクリニック（名古屋市東区東桜）は、令和4年2月まで呼吸器・アレルギー内科、消化管内科、循環器内科、糖尿病内科、皮膚科、眼科及び耳鼻咽喉科の主要7診療科を中心に、高度な医療と技術を多くの人に提供することにより、地域に貢献してきました。

また、本院とは異なり、紹介状を持参していない場合に必要な特別な料金（選定療養費）が不要なく、高度な専門性と誰もが利用しやすい環境の両立を実現してきました。

なお、令和4年3月からはアイセンター（仮称）開設に向けての引越し作業や改修工事が行われています。

#### (1) 広報事業

令和3年度の新規事業として、名古屋市東区の区役所及び保健センターに当クリニックの紹介案内を掲出しました。公的機関とのタイアップによる信頼という名のブランド力向上に繋げることを目途とした施策でした。

また、継続事業として、地域みっちゃく生活情報誌「名古屋フリモ都心版」及び中日新聞朝刊（市民版）「教えて！ドクターQ&A」への紹介記事掲載、並びに地下鉄駅構内における広告（新栄町駅と高岳駅に電照式広告看板、高岳駅にホーム柵ステッカー）を実施しました。

なお、名古屋フリモ都心版については、従来の医師による健康相談のみならず、薬剤師によるお薬相談を始めとして、診療放射線技師や臨床検査技師による相談記事を掲載するなど新たな紙面の工夫を試みました。

## (2) 新型コロナウイルス感染症対応状況

### ① PCR検査

発熱患者等の診療又は検査を行う「診療・検査医療機関」として、令和3年4月～令和4年2月までに1,029件のPCR検査を行いました。（うち陽性者285名）

### ② 自宅療養者診療

新型コロナウイルス感染症自宅療養者等診療医療機関として、令和3年4月～10月までに延べ147名（電話診療20名を含む）の診療を行いました。

### ③ 後遺症外来

#### ・ 診療実績

新型コロナウイルス感染症から回復した後も何らかの症状（いわゆるコロナ後遺症）に苦しむ患者さんを対象とした後遺症外来を設置し、令和3年4月～翌2月までに459名の診療を行いました。

#### ・ 活動実績

クリニック長の馬場研二教授が、厚生労働省「新型コロナウイルス感染症 診療の手引き 罹患後症状のマネジメント」編集委員会に執筆協力者として参加、愛知県「新型コロナウイルス感染症の罹患後症状（後遺症）に係る地域の診療機関向けWEBセミナー」で講演を行う等の活動がありました。

また、NHKニュースウォッチ9等で後遺症外来の診療模様が採り上げられるなど多数のマスコミからの取材に応じました。

### ④ 新型コロナウイルスワクチン接種

令和3年3月30日付けで名古屋市健康福祉局長から、住民に対する個別接種にかかるサテライト型接種施設に選定され、延べ1,846名に接種を行いました。

### ⑤ その他トピックスとなるような事業

- ・ オリンパス 内視鏡システム EVIS X1購入
- ・ 「コロナ対策UVC空気除菌装置」eLENA購入（2台）
- ・ 世界禁煙デーに係る企画展の開催（令和3年5月）
- ・ 「人生100年これからゲーム」紹介企画展の開催（令和3年9～10月）
- ・ 世界糖尿病デーに係る企画展の開催（令和3年10～11月）
- ・ フットケアの日に係る企画展の開催（令和4年2月）

## 3 大学運営関連事業

### (1) 大学運営審議会

学長と副学長を中心に教育・研究・診療に係る重要事項及び将来構想等を審議する機関として発足した「大学運営審議会」においては、令和3年度は全15回（メール審議を含む。）を開催し、様々な事項への対応等を審議してきました。

年度始めの4月の大学運営審議会において、学長補佐体制の強化として、研究管理・不正防止を特命事項とする副学長を設け、適正な研究管理に努めています。

また、10月には私立大学が公共性と公益性を確保し、社会的責任を果たすためのガバナンスの在り方のガイドラインや留意すべき点等を示す指標として「学校法人愛知医科大学ガバナンス・コード」を定め、年度末に点検・評価を実施しました。

両学部における教授選考に係る委員会として、医学部5件の教授選考を行い、教員人事委員会に上申した結果、医学部5名の教授が選考されました。

## (2) 寄附講座

医学部に設置されている八つの寄附講座のうち、令和3年度をもって設置期間終了となる分子標的医薬寄附講座が5年間及び分子疫学・疾病制御学寄附講座が4年間の設置期間を更新し、腫瘍免疫寄附講座（4期10年）及び疼痛データマネジメント寄附講座（4期5年）が令和3年度をもって寄附講座を終了しました。

また、令和4年4月から近視進行抑制寄附講座（5年）が開設予定です。

- ・ 造血細胞移植振興寄附講座（設置期間：R2.4.1～R5.3.31）
- ・ 分子標的医薬寄附講座（設置期間：R4.4.1～R9.3.31）期間更新
- ・ 腎疾患・移植免疫学寄附講座（設置期間：R3.4.1～R6.3.31）
- ・ 地域総合診療医学寄附講座（設置期間：H31.4.1～R5.3.31）期間継続
- ・ 分子疫学・疾病制御学寄附講座（設置期間：R4.4.1～R8.3.31）期間更新
- ・ 先進糖尿病治療学寄附講座（設置期間：R3.4.1～R6.3.31）
- ・ 腫瘍免疫寄附講座（設置期間：R2.4.1～R4.3.31）講座終了
- ・ 疼痛データマネジメント寄附講座（設置期間：R3.4.1～R4.3.31）講座終了

## (3) 地域連携関係

地域貢献・地域連携事業として実施している各種事業については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、Zoomや動画を活用しながらできる限り事業が実施できるように努めました。

### ① 愛知医科大学公開講座

事前収録しYouTube形式で本学ホームページへ動画掲載（7講座）

### ② 愛知医科大学公開講座（長久手市連携事業）

長久手市保健センターにて会場開催

「睡眠の病気あれこれ」

### ③ 愛知医科大学公開講座（尾張旭市連携事業）

事前収録し尾張旭市ホームページに講演動画を配信

「コロナ時代を生き抜くためのこつ～人とのつながりを持って、自分らしく生きよう！～」

### ④ 愛知医科大学公開講座（瀬戸市連携事業）

瀬戸市やすらぎ会館にて会場開催

「コロナ禍のストレスとうまくつきあうコツ～自分らしく生き抜くために～」

（中止事業）

- ・ 市民大学公開講演会
- ・ わくわく体験リノモツアーズ

## (4) 災害医療教育等関係

### ① 災害医療コーディネート研修の開催

平成27年度以降、愛知県及び愛知県医師会と本学（災害医療研究センター）との三者で共同開催している「災害医療コーディネート研修」について、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、「愛知県災害医療研修会」として医師を対象としたオンライン形式の研修会に変更し、本学を運営本部として、12月5日（日）に開催し、実際の活動状況

を学ぶ機会として参加者から好評を得ました。

② 愛知県委託事業「令和3年度介護施設等防災リーダー養成研修」の受託

近年頻発している大規模地震などの激甚災害に対して、要配慮者を預かる介護施設等がどのように対策を講じて備えていくかを考え、「防災リーダー」を養成することを目的として、介護施設等に勤務する方々を対象として令和4年3月10日（木）及び17日（木）にオンライン形式の研修を実施し、各施設における危機意識の向上及びBCPの見直しに繋がりました。

③ 医療体制緊急確保チームへの参画

愛知県に設置された新型コロナウイルス感染症調整本部の機能強化を図るため、医療体制緊急確保チームが配置され、本学の教員がチーム構成員として参画しました。

(5) 広報事業

① イオンシネマ長久手CM広告

昨年度に引き続き、「イオンモール長久手」内に設置されている「イオンシネマ長久手」において上映する、30秒の動画コマーシャル広告（シネアド）を制作しました。

制作動画は、Webオープンキャンパス告知版、インターネット出願受付開始版及び大学・病院紹介版の3種類を制作し、事業期間に合わせて上映しました。

② 東海の大学力

平成29年度から参画している「東海の大学力」について、令和3年度からは、朝日新聞社と河合塾との共同調査「ひらく日本の大学」とのコラボレーション企画として生まれ変わりました。「東海の大学力2021」は、「withコロナ時代の大学選びに、新しいモノサシを」をテーマとし、理事長・学長及び両学部長の取材を通して記事の編集が行われ、「東海の大学力」への掲載はもとより、朝日新聞朝刊（名古屋本社版）、朝日新聞デジタル特集ページ、協賛大学情報ミニブックスの各メディアにおいても紹介されました。

③ 救急の日新聞広告

平成29年度から実施している9月9日「救急の日」のブランド広報について、令和3年度も9月9日（木）の中日新聞朝刊にカラー全15段広告を掲載し、「救急医療＝愛知医科大学」のイメージ定着を図りました。

④ 名鉄バス藤が丘バス停上屋広告

藤が丘駅前名鉄バス4番のりば（愛知医大病院行）の広告付きバス停上屋への広告について、令和3年度は各種事業時期に合わせて3回のデザイン更新を行うとともに、令和4年1月3日（月）から1年間契約を更新しました。

⑤ ホームページ

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症に関する大学及び病院の取組状況等について、ホームページの「重要なお知らせ」機能を活用し、教職員、学生はもとより、ステークホルダーに対する周知に努めました。

また、現在稼働している4台のサーバーが、令和4年8月をもって保守契約期間が満了となるため、令和4年度中のサーバー入替に併せてデザインリニューアルを行えるよう、スマートフォンサイトの更なる充実に重点を置きながら、魅力的で操作のしやすいデザイン・機能の実装を検討しています。

(6) シャトルバスの運行

本院とメディカルセンター間を定時運行しているシャトルバスにおいて、書類等の荷物を運

搬する体制を構築しました。また、本院からメディカルセンターへの患者転院に当たり、メディカルセンターから本院へ戻る患者家族等の交通手段として活用できるよう、ダイヤを一部改正して新たに運行を開始しました。更に、利用者状況及び運行経費を踏まえ、シャトル便として運行するためのハイエース購入を計画していましたが、令和3年度の納車は難しくなりました。

#### (7) 創立50周年記念事業

昭和47年4月1日に開設した本学は、令和4年度をもって創立50周年を迎えます。このことに伴い、「創立50周年記念事業実行委員会」を設置し、各種記念事業の実施を検討しており、開学記念日である11月3日（木・祝）に記念式典・祝賀会の挙行を予定しています。

令和3年度には、記念ロゴマークとともに、「先進の医療を人と社会と未来へつなぐ」というキャッチフレーズを制定し、創立50周年のPRに努めています。また、令和4年4月1日公開を目指し、創立50周年特設ホームページを制作しました。このホームページには、本学の歴史を紹介する50秒の動画を公開しています。

令和3年度から令和4年度において、写真集発刊、新聞広告掲載、記念動画制作、学報特別号発刊、式典・祝賀会挙行など、様々な事業を適切に遂行できるよう実行委員会を中心に検討を進めています。

#### (8) 研究開発プロジェクト

本プロジェクトでは、若手研究者育成の一環として、令和3年度科学研究費（若手研究）の採択を目標に、科研費申請数増加プロジェクト（Jump up作戦）を実施しました。

また、臨床研究における研究基盤である臨床検体を、横断的に質を保って保存・供給することにより、本学の臨床研究をより推進することを主たる目的に研究創出支援センターに設置したバイオバンク部門の施設改修を行い、体制、施設両面からの拡充が図られました。

#### (9) 地域連携関係

##### ① 長久手市との連携事業等

平成24年1月に長久手市と連携協定を締結していますが、平成29年度には、長久手市の、同市と連携協定を締結している4大学（本学、愛知県立大学、愛知県立芸術大学、愛知淑徳大学）が連携し、長久手市大学連携基本計画「長久手市大学連携推進ビジョン4U」を策定しました。令和3年度についても前年度に引き続き、本計画に基づき、関係する学生、教員及び長久手市民の参加を得て、各大学の特色をいかした事業（ワーキング）を実施しました。

なお、令和3年度のワーキングにおいては、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、テレビ会議システムを活用した遠隔講義の手法を用いての実施としました。

#### (10) 研究活動等

令和3年度における科学研究費の採択件数及び受入れ金額、受託研究費、共同研究費及び一般財団等からの研究助成の受入れ件数・金額等は、以下のとおりでした。

- ・ 科学研究費
  - 文部科学省等 191件 245,350千円（前年度比 106.1%）
  - 厚生労働省 4件 20,460千円（前年度比 143.3%）
- ・ 受託研究費 57件 426,498千円（前年度比 176.5%）
- ・ 共同研究費 34件 61,045千円（前年度比 93.9%）

- ・ 研究助成 21件 89,600千円（前年度比 368.7%）

また、奨学寄附金については、322件、223,839千円（前年度比101.9%）の申込みがありました。若手研究者育成の一環として、令和4年度科学研究費（若手研究）の採択を目標に、科研費申請数増加プロジェクト（Jump up作戦）を実施し、27名に対して申請支援を行いました。また、令和3年度科学研究費に申請し、不採択となった課題のうち、審査結果がA評価（不採択のうち、上位20%）であった21名に対して研究費の助成を行いました。

なお、令和3年度科学研究費の申請件数は200件（前年度比100.0%）となりました。

#### (11) 公的研究費等の不正防止に関する体制整備等

令和3年2月に国の「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」（ガイドライン）が改正され、研究機関のガバナンス強化、意識改革などを始めとして国の公的研究費に係る不正防止の取り組みがより強化・厳格化されることとなりました。

これを受けて、関係規程等のガイドラインに沿った内容への改正を始め、監事の研究不正防止活動への関与の強化として、監事との連携・情報共有を目的とした連絡会議、大学運営審議会へ監事の出席を得ての意見の聴取、同審議会への研究不正防止活動実施に関する監事からの勧告が行われたほか、研究不正防止の意識高揚を図るための啓発活動として、学内の研究不正防止活動の周知等を実施しました。

また、研究不正防止意識を涵養するためのコンプライアンス教育及び研究倫理教育については、この内容・実施方法を見直し、令和4年度から新たな内容・実施方法により実施することを決定しました。

一方で、研究活動に係る経費の不正を未然に防止する対策として、例年、医局等で研究費の経理処理を担当する職員に対して、同処理に関する研修会を実施していますが、令和3年度においては、国の研究不正防止の取り組みを理解してもらうため、文部科学省が作成したガイドラインの説明動画を閲覧してもらうことにより本研修会を行いました。

#### (12) 研究創出支援センター関係

研究創出支援センターのバイオバンク部門は、臨床研究における研究基盤である臨床検体を、横断的に質を保って保存供給することにより、本学の臨床研究をより推進することを主たる目的として設置したものです。運営には学内関係部署との連携や、専門的課題の検討が必須であることから、研究創出支援センター運営委員会に専門部会である「バイオバンク部会」を設け、所要事項の審議を行う体制となっています。将来的には、本学で蓄積された臨床検体について、学外機関との共同研究、あるいは、学外研究機関に供与することにより広く医学研究の発展に寄与することを目指しており、平成29年12月からこの収集に実際に着手し、これまで堅調に検体数を増加させ、令和3年度末には940余りの検体を収集することができました。

また、併せて、バイオバンクにおいて収集した臨床検体の管理・配布に係る規則を定め、臨床検体の研究活動への供与を開始する準備を行ってきましたが、その準備が整い、外部機関1件への臨床検体の提供を行い、当該機関での研究に使用してもらうこととなりました。

#### (13) 知的財産関係

本学が特許出願していた「NO産生抑制剤及び固形腫瘍に対する転移・浸潤抑制剤」（発明者：梅澤一夫教授（分子標的医薬寄附講座））について、審査等が完了し特許登録（特許第6915865号）されました。また、本学が国立大学法人群馬大学と共同で特許出願していた「コノフィリンまたはその薬理的に許容される塩を有効成分とする癌関連線維芽細胞抑制剤および癌

治療用医薬」についても、同様に特許登録（特許第7001900号）されました。

本学の知的財産に係る法令上の諸問題に関する指導、助言等を受けることを目的として、LTV特許事務所の丸山修介理士に知的財産権アドバイザーを委嘱していますが、平成30年度から引き続き、内容に応じた具体的な調査（先行技術等）を依頼できる体制で研究者等からの知的財産に係る相談に対応し、研究成果等の積極的な展開（特許出願等）を推進しました。

(14) 教員評価制度の処遇反映

2021年度に実施した2020年度分の教員評価において、前回に引き続き、評価結果の処遇反映を行いました。教育及び研究の活動結果を順位付けし、医学部31名、看護学部3名に対し、賞与での処遇反映を行いました。

(15) 人事・給与・勤怠システムの入替

昨今の働き方改革等、業務の簡素化・効率化が重要な課題となっているが、リスクの低減、職員の利便性の向上、業務効率化を実施するため、人事・給与・勤怠システムの入替を行いました。2021年4月に契約を締結し、月次の定例会議では情報基盤部門等も含めたプロジェクトメンバーで、進捗報告や設定方針、課題解決方法等を決定し、2022年2月22日から3月14日まで並行稼働を実施し、2022年4月1日に本稼働をしました。

(16) ダイバーシティ推進委員会の発足

2021年6月に、新しく愛知医科大学ダイバーシティ推進委員会が発足しました。

ダイバーシティとは、様々な性別、年齢、職歴、人種、国籍、働き方、ライフスタイルなど、多様性を表します。一人ひとりの様々な個性、それぞれの違いをお互いが認め合い、尊重し、その個性や違いを活かして働ける、職員一人ひとりが輝いて働くことができる愛知医科大学を目指して、ダイバーシティ推進委員会はこれから活動していきます。

(17) 働き方改革への取組み

2020年度に「時代にマッチした勤務体制の構築」を目的に掲げたプロジェクトを立ち上げ、具体的な目標として、①適切な勤務時間の設定及び適切な休暇取得の維持、②医師、看護師、コ・メディカル及び事務等の効率化・活性化を設定しました。

2021年度には、本学に在籍する医師へ勤務実態調査を2回実施し、2024年度から適用される医師の時間外労働上限規制に向け準備を整え、他大学への視察も実施するなど2022年度中に策定する「医師労働時間短縮計画」の基礎資料とするための集計・分析を進めております。

また、医師の業務軽減に繋がる医師事務作業補助体制についても、各診療科に対し「活用アンケート」を実施し、各診療科からの要望・実態を把握し、基本的な方向性を示す3ヵ年計画を策定しております。

(18) 省エネルギーの取組み

本学は、省エネ法により第一種エネルギー管理指定工場等に指定されており、エネルギー使用量に対して年平均1%以上削減の努力義務を負っています。そのため省エネルギーの取組みとして、設備投資の面ではエアコン、空調機、変圧器及びLED照明等の高効率機器または適性能力機器への順次更新、また運用の面ではきめ細かな空調・照明の運転管理、省エネ啓蒙活動等により、エネルギー消費量の抑制に日々取組んでおります。今後は、より広義なSDGsの達成や2050年カーボンニュートラルの達成に向けて温室効果ガスの削減等に貢献していくことも重要な課題であり、その取組みは世界基準の大学を目指すうえで必須となってきています。

#### (19) 施設設備整備関連

- ・ D棟7, 8階 新型コロナウイルス対応各種整備工事

大学病院としての社会的使命のため、従来より各病室や診察室等において前室設置や空調陰圧化等の整備工事を実施し、新型コロナウイルス感染症患者受入れを行ってきました。令和3年度はD棟7, 8階においてそれらをさらに拡充整備し、スタッフがより安全に診療が行えるように個室病室の空調陰圧化整備、抗体カクテル療法を処置可能とするための整備及び病床数の増設等の工事を実施しました。これらの工事により、7D病棟では新型コロナウイルス感染症患者受入れ対応病床数が13床増加しました。

- ・ アイセンター（仮称）整備工事

アイセンター（仮称）の開設に向け、名古屋市東区東桜にある愛知医科大学メディカルクリニックにおいて、眼科の診察室、処置室及びクラス管理された手術室等の整備、他にもロビーや待合の改修も含めた全面的なリニューアル工事を開始しました。また診療スペースだけでなく、株式会社メニコンとの産学連携寄附講座（近視進行抑制）の研究スペースも整備し、令和4年6月頃の完工を予定しています。

- ・ 構内変電設備更新工事

特高変電所の特高変圧器は、本学電気設備の根幹をなす最重要機器であり、故障停止した場合にはキャンパス内が全域停電となるため、甚大な経済的・社会的損失の恐れがあります。本変圧器は設置から33年経過しており、変圧器の本体から絶縁油漏れも確認されていたことから、全3基の変圧器を更新しました。

- ・ 1号館(大学本館)外壁等補修工事

- ・ 2号館(研究棟)管理棟西・北面外壁塗装補修工事

1号館(大学本館)は竣工から22年を経過し、外壁のタイルやシーリング、サッシ等の劣化が進行し、タイルの剥がれやそれによる落下被害、雨水の侵入等の懸念があるため、それらの全面的な外壁補修を実施します。本工事は4か年計画とし、第1年次である令和3年度は建物東面の外壁を補修しました。また、大学の玄関口である2号館(管理棟)の外壁についても前回の補修から30年以上が経過し劣化が進行していることから、その外壁補修についても令和3年度に併せて施工を実施しました。

- ・ 5号館(総合実験研究棟)空調設備更新工事

5号館(総合実験研究棟)の空調機は、設置から33年を経過しているため機器の機能劣化が進行し故障リスクも増加していることから、機器を更新し実験動物の飼育環境の安定維持を図ります。また適切な空調能力の機器を検討・導入することで、エアバランスの改善だけでなく、一部過剰な空調エネルギーを改善し省エネにも寄与することも目的としています。本工事は5か年計画とし、第1年次である令和3年度は小動物系飼育室の空調設備更新を実施しました。

- ・ 構内電力ケーブル更新工事

キャンパス内には各棟に電気を供給している高圧電力ケーブルが全部で数十本ほど地中等に張り巡らされており、期待寿命である約20年を目安に古くなったケーブルを順次更新し、構内の電源供給の安定化を図っています。令和3年度は特高変電所を起点とする1号館送りのケーブル及び3, 4号館送りのケーブルをそれぞれ更新しました。

- ・ G-2, G-3ガスタービン発電機更新工事

G-2, G-3ガスタービン発電機は、停電時に主にC, D棟へ電源供給するための非常用発電機であり、設置から33年以上が経過し更新時期を迎えています。現在C, D棟の病院としての用途は縮小していることから、適切な容量の発電機を選定・更新することで、非常時の電源確保の信頼性向上と、維持費の抑制も目指します。本工事は2か年計画とし、第1年次である令和3年度は更新計画の検討・設計期間とし、また拡張性と信頼性の向上のために中央棟のGT-1, GT-2非常用発電機及びG-2, G-3非常用発電機の間をバックアップ用の電力ケーブルを敷設・接続したことで、非常時の相互バックアップ送電ができるようになりました。

- ・ 施設系ネットワーク機器更新工事

施設系ネットワークは、空調制御、電力監視、セキュリティ、照明制御、電話設備、及び防災設備等の、キャンパス内のあらゆる設備を統合しているネットワークであり、このネットワークを通じて異常警報の発報や機器運転の制御等をコントロールしています。そのネットワークを構成しているスイッチングハブ等の機器類は設置より7年が経過したため、期待寿命を迎えた機器を順次更新します。本工事は3か年計画とし、第1年次である令和3年度はネットワークのメイン部であるコアスイッチ等の機器の更新を実施しました。

- ・ 電力監視装置更新工事

電力監視システムは、キャンパス内の電力供給の状態を常時監視し、停電や地絡等の電気の異常が発生した際には即時にその内容を知らせるシステムであり、日々の安定した医療・教育・研究に寄与しています。そのシステムを構成する監視パソコンや各電気室の制御機器等は設置から7年が経過したため、期待寿命を迎えた機器を順次更新します。また同時期に導入している中央棟の監視カメラシステムにおいても、監視パソコンや録画装置が同じく期待寿命を迎えたため、それらの機器も併せて更新を実施します。本工事は4か年計画とし、第1年次である令和3年度はメインの監視パソコン等の更新を実施しました。

- ・ 立石池外周道路（第2期）拡幅事業

立石池周辺道路は本学へのメインアプローチ道路となっていますが、第14駐車場から立体駐車場へ向かう道路の拡幅は、長久手市と共同で実施する旨の覚書を平成29年度に締結し、これに基づき、本学が地権者から対象用地を取得の上、必要となる附帯工事を実施しました。今後は長久手市が令和5年度中の道路完成を目指し、用地買収や設計作業、道路整備工事を進める予定です。

- ・ 1号館非常放送設備更新工事

非常放送設備は、自動火災報知設備から信号を受信し、建物内に自動警報放送を行い安全に避難を誘導するものです。設備の更新目安は一般には15年程度と言われておりますが、1号館に設置されていた非常放送設備は、同建物が竣工された1999年に導入されたものでした。この様な状況下、2013年には既設機器メーカーの部品保有義務期間が終了し、メンテナンスが困難となってきたことから、今般、同機器の更新工事を実施しました。これにより、1号館利用者及び財産の安全・安心の担保が更に図られることとなりました。

- ・ 中央棟他誘導灯修繕工事

火災や停電時に避難する際の目印となる誘導灯は、消防法令に基づき、適正な状態で維持管理することが義務付けられていますが、令和2年度に実施された消防設備点検で、学内全体で計952ヶ所の誘導灯の不具合が報告されました。誘導灯を始めとする消防用設備を適切に

維持管理することは、職員を始め、大切な患者さんや学生を守るための大学の責務であるため、対象となる誘導灯の一斉交換作業を実施しました。

・ スターバックスの誘致事業

大学・病院職員の福利厚生施設、病院関係者（患者さん、見舞客等）の憩いの場所として、世間で圧倒的な支持を得ているスターバックスコffeeを誘致します。病院西側芝生ゾーン（立石池東側）に建設し、屋外テラス席も設けられるため、季節の移り変わりを感じられる、借景が素晴らしい店舗構想となっています。また、長久手地区では唯一の独立店舗であるため周辺住民の方の利用も多く見込まれ、本学入学希望者やオープンキャンパス等のイベント来場者に対して、大きなインパクトを与えるものとなっています。なお、既に店舗建設工事に着手しており、令和4年秋のオープンを予定しています。

・ 日本造血細胞移植データセンター整備工事

一般社団法人 日本造血細胞移植データセンターの拠点誘致のため、2号館(管理棟)4階のスペースに事務室、サーバ室及びセンター長室等の居室の整備、並びに4階まで昇降できるエレベータの新設等の改修工事を実施しました。

#### 4 学部・大学院関係

(1) 令和4年度入学生

医学部 116名 (内推薦入学者20名)  
 看護学部 107名 (内推薦入学者31名)  
 大学院医学研究科 26名  
 大学院看護学研究科 13名

(2) 令和4年度医学部入学試験

| 区分                |            | 入学定員 | 志願者数       | (前年度)   | 合格者数 | (前年度) | 入学者数 | (前年度) |      |
|-------------------|------------|------|------------|---------|------|-------|------|-------|------|
| 学校推薦型選抜(公募制)      |            | 約20名 | 96         | (106)   | 20   | (20)  | 20   | (20)  |      |
| 国際バカロレア選抜         |            | 若干名  | 2          | (3)     | 2    | (2)   | 1    | (0)   |      |
| 一般選抜              |            | 約65名 | 2,040      | (2,244) |      |       |      |       |      |
|                   | 正規合格       |      |            |         | 188  | (181) | 35   | (38)  |      |
|                   | 繰上合格(第1補欠) |      |            |         | 137  | (94)  | 28   | (28)  |      |
|                   | 繰上合格(第2補欠) |      |            |         | —    | (—)   | —    | (—)   |      |
|                   | 計          |      |            |         | 325  | (275) | 63   | (66)  |      |
| 大学入学共通テスト<br>利用選抜 | 前期         | 約15名 | 603        | (713)   |      |       |      |       |      |
|                   |            |      | 正規合格       |         |      | 30    | (31) | 2     | (0)  |
|                   |            |      | 繰上合格(第1補欠) |         |      | 30    | (48) | 14    | (14) |
|                   |            |      | 繰上合格(第2補欠) |         |      | —     | (2)  | —     | (1)  |
|                   |            | 計    |            |         |      | 60    | (81) | 16    | (15) |
|                   | 後期         | 約5名  | 57         | (63)    |      |       |      |       |      |
|                   |            |      | 正規合格       |         |      | 5     | (5)  | 4     | (0)  |
|                   |            |      | 繰上合格(第1補欠) |         |      | 3     | (8)  | 2     | (5)  |
| 繰上合格(第2補欠)        |            |      |            |         | —    | (—)   | —    | (—)   |      |
|                   | 計          |      |            |         | 8    | (13)  | 6    | (5)   |      |
| 愛知県地域特別枠          | A方式        | 約5名  | 12         | (25)    | 2    | (5)   | 2    | (5)   |      |
|                   | B方式        | 約5名  | 41         | (35)    |      |       |      |       |      |
|                   |            |      | 正規合格       |         |      | 8     | (5)  | 0     | (1)  |
|                   |            |      | 繰上合格(補欠)   |         |      | 17    | (8)  | 8     | (4)  |
|                   | 計          |      |            |         | 25   | (13)  | 8    | (5)   |      |
| 合計                |            | 115名 | 2,851      | (3,189) | 442  | (409) | 116  | (116) |      |

(3) 令和4年度看護学部入学試験

| 区 分           |      | 入学定員 | 志願者数 | (前年度)   | 合格者数 | (前年度) | 入学者数 | (前年度) |     |
|---------------|------|------|------|---------|------|-------|------|-------|-----|
| 学校推薦型選抜       | 指定校制 | 約15名 | 17   | (17)    | 17   | (17)  | 17   | (17)  |     |
|               | 公募制  | 約15名 | 46   | (45)    | 14   | (13)  | 14   | (15)  |     |
|               | 計    | 約30名 | 63   | (62)    | 31   | (30)  | 31   | (32)  |     |
| 社会人等特別選抜      |      | 約5名  | 2    | (1)     | 2    | (0)   | 2    | (0)   |     |
| 一般選抜          |      | 約50名 | 470  | (522)   |      |       |      |       |     |
|               | 正規合格 |      |      |         | 208  | (205) | 64   | (66)  |     |
|               | 繰上合格 |      |      |         | 0    | (13)  | 0    | (4)   |     |
|               | 計    |      |      |         | 208  | (218) | 64   | (70)  |     |
| 大学入学共通テスト利用選抜 | A方式  | 約10名 | 217  | (298)   |      |       |      |       |     |
|               |      |      | 正規合格 |         |      | 114   | (73) | 9     | (1) |
|               |      |      | 繰上合格 |         |      | 0     | (11) | 0     | (0) |
|               |      | 計    |      |         |      | 114   | (84) | 9     | (1) |
|               | B方式  | 約5名  | 136  | (191)   |      |       |      |       |     |
|               |      |      | 正規合格 |         |      | 72    | (64) | 0     | (1) |
|               |      |      | 繰上合格 |         |      | 7     | (15) | 1     | (0) |
|               | 計    |      |      |         | 79   | (79)  | 1    | (1)   |     |
| 合 計           |      | 100名 | 888  | (1,074) | 434  | (413) | 107  | (104) |     |

(4) 令和4年度大学院医学研究科入学試験

1次募集 (試験日：令和3年10月1日)  
 受験者12名 合格者11名  
 2次募集 (試験日：令和4年2月4日)  
 受験者192名 合格者9名

(5) 令和4年度大学院看護学研究科入学試験

1次募集 (試験日：令和3年9月1日)  
 受験者31名 合格者13名 入学者13名  
 2次募集 (試験日：令和4年2月3日)  
 受験者1名 合格者0名 入学者0名

(6) 令和3年度医学部卒業生 102名

(7) 令和3年度看護学部卒業生 105名

(8) 令和3年度大学院医学研究科修了者 14名

(9) 令和3年度大学院看護学研究科修了者 15名

(10) 第116回医師国家試験 (試験日：2月5日, 6日)

受験者 108名 (新卒：102名, 既卒6名)  
 合格者 98名 (合格率：90.7%) うち新卒96名 (合格率94.1%)  
 既卒 2名 (合格率33.3%)

医師国家試験合格者累計 4, 489名 (卒業生累計4, 529名の99. 1%)

(11) 第111回看護師国家試験 (試験日: 令和4年2月13日)

受験者 106名 (新卒: 105名, 既卒1名)

合格者 105名 (合格率: 99. 1%) うち新卒105名 (合格率100%)  
既卒 0名 (合格率 0%)

(12) 第108回保健師国家試験 (試験日: 令和4年2月11日)

受験者 15名 (新卒: 15名, 既卒0名)

合格者 15名 (合格率: 100%) うち新卒 15名 (合格率100%)  
既卒 一名 (合格率 - %)

## 5 診療実態関係

(1) 大学病院

1日平均入院患者数 711. 1人 (前年比 104. 9%)

1日平均外来患者数 2, 574. 6人 (前年比 106. 6%)

外来延べ患者数 638, 492人 (前年比 106. 6%)

(2) メディカルセンター

1日平均入院患者数 116. 3人

1日平均外来患者数 126. 0人

外来延べ患者数 37, 043人

(3) メディカルクリニック

1日平均外来患者数 131. 6人 (前年比 98. 8%)

外来延べ患者数 32, 641人 (前年比 98. 8%)

## 6 附属施設関係

運動療育センターの利用状況は、次のとおりです。

メディカルチェック675件 (前年比105%)

健康増進コース (A) 61件

運動器系療法コース (E1) 218件

内科系運動療法コース (E2) 180件

内科系運動療法コース (E2-1) 162件

いきいき健康教室 0件

スイミング教室 (J2) 0件

リウマチ教室 8件

トレーニングコース (健康測定・指導) 0件

本学職員 46件

## 7 本学事業部門の再編（メディカルクリニック・アイセンター（仮称）事業計画）

<愛知医科大学創立50周年記念事業>

令和3年度第2回理事会及び第2回評議員会（令和3年9月27日開催）において、今後もメディカルクリニックを運営していくためには、現在のメディカルクリニックの総合的な診療体制等を抜本的に見直し、新しいメディカルクリニックのあり方を早急に検討していく必要であるとされ、以下の方針が決定されました。

- (1) 現在のメディカルクリニックの総合的な診療体制を抜本的に見直すこと
- (2) メディカルクリニックにある医療資源について、可能な限りメディカルセンターに投入すること
- (3) そして新しいメディカルクリニックとして「アイセンター（仮称）構想」を早急に検討すること

メディカルクリニックは、昭和58年（1983年）4月名古屋市東区東桜に開設されました。

開設目的は、①名古屋市の中心地に本院と直結したクリニックを開設し、本院への通院患者の不便を解消し、期待に応えることにより、本院の更なる発展の原動力となることを目指す②勤務者向けの総合診療所③地域医療貢献とされ、直近17の診療科（消化管内科、肝胆膵内科、循環器内科、呼吸器・アレルギー内科、内分泌・代謝内科、神経内科、腎臓・リウマチ膠原病内科、血液内科、糖尿病内科、精神神経科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、総合診療科、睡眠科、痛みセンター）を展開してきました。

開設から38年を迎え、これまで、開設目的の一つである本院発展のための原動力となるという目的は十分に果たしてきましたが、現在は、本院への紹介患者も限られ、必ずしも開設当初の目的を達成しているとは言えない状況です。また、開設当初、都心部の総合診療所として多様な診療科を有していることがクリニックの強みでしたが、都心部と地域を中心に診療所が大幅に増加し、競合環境は激変、患者数は伸び悩みが見られ、総合的な診療所が必ずしも優位ではなくなってきました。その結果、多くの医療資源を有しているものの、恒常的な赤字体質から脱却できずにいる状況にあります。

一方、株式会社メニコン（田中社長、本学OB）から以下の提案がありました。①コンタクトレンズを中心としたビジョンケア事業に加えヘルス・ライフケアにアカデミア（大学）と一緒にチャレンジしたい②近視抑制コンタクトレンズの開発拠点を作りたい③そのためには効果の検証治験が重要となる、母校と連携して「みる」を提案していきたいとのことで、これを受ける本学眼科科学講座からは、近視予防・抑制のための新しいコンタクトレンズの開発に治験としての役割を果たすことができ、近視の合併症をケアするためには日帰り手術も必要となれば、予てから構想していたアイセンタープランと連携、具現化するにはメディカルクリニックが最適な施設であると旨示されました。

令和3年度第3回理事会及び第3回評議員会（令和3年12月20日開催）において、メディカルクリニック・アイセンター（仮称）構想事業計画案が審議されました。総合診療所から時代が求める集約介入治療・臨床研究の拠点を旨すこと、株式会社メニコンによる産学連携寄附講座・共同拠点の設置すること、眼科日帰り手術ラボとして機能することが再確認されました。大学と企業の共同診療、研究拠点は全国初となります。好立地（栄に近い中心地）にあるメディカルクリニック施設（駐車場含む）を活用すること、スクラップ&ビルドの考え方、ピンポイントの戦略で医療資源を集約的に活用していくこと、今後、眼科以外の診療科等からの提案に備えスペースを確保、当面は外部保管の紙カルテ等の保管倉庫とすること、さらに、アイセンター（仮称）を始め、新たな展開に対しては、事業計画の達成度を1年・3年・5年後と評価し、継続性を含めた適切な対応を行うことが確認されました。

株式会社メニコンからは研究コンセプト・目標が示されました。①近視抑制研究分野において国際的プレゼンスを確立できる研究成果を継続的に発信する研究拠点の構築②臨床研究分野のみならず企業が保有する先端技術やアイデアを高度に統合したテーマを設定し、これからの産学連携の新しいカタチを追求③近視及び近視合併症（眼疾患）の増加は世界的な健康課題である。一方、近視の進行機序解明と予防は途上であり、当該テーマは社会的意義があるというものです。

令和3年度第6回理事会及び第5回評議員会（令和4年3月22日開催）において、メディカルクリニック・アイセンター（仮称）構想の進捗状況等が報告されました。

改めて、開設から38年を迎えたメディカルクリニックは、抜本的に見直し、大学病院のエキスパート・知識・技術・医療機器をフル活用した今までにない産学連携型・最先端の眼科クリニックを目指すことが報告されました。策定中のアイセンター（仮称）のビジョン、ストラテジー、コンセプト及びスローガン等が紹介され、具体的な眼科先端医療としては、緑内障・眼底（黄斑）・眼瞼涙道のエキスパートが診療に当たり、日帰り手術中心の臨床拠点となる。総合病院や開業医では難しい複合的な手術の紹介を受けることが可能となる最先端の手術環境整備も計画していることが報告されました。事業収支計画では、概ね3年後には黒字化を見込んでいる旨報告されました。

また、株式会社メニコンとの産学連携寄附講座による近視治療・進行抑制開発拠点は、近視進行抑制の世界的な研究開発拠点を目指すこととし、近視の進行・抑制に関わる研究として、脈絡膜に着目した基礎研究を推進し、有効な近視進行抑制コンタクトレンズの評価法の開発に繋げることで、脈絡膜の厚み変化（血流の変化等）に影響を及ぼす光学因子を同定すること、及び短時間で評価可能な近視進行抑制の評価法の確立等により近視の進行抑制に関わるメカニズムの研究に邁進して行くことも報告されました。

今後、新年度のリニューアルオープンに向けて、新名称、診療運営体制、開院日、診察日・診察時間等の決定、迅速な改修工事、遺漏ない調達手続き及び広報戦略等職員一丸となって進めていくことが報告されました。

## 8 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

本学の経常収支差額について、新病院（現中央棟）の建設後には旧病院からの完全移行までに新旧二重生活を余儀なくされた期間があり、また、A B病棟の取り壊しやC D病棟の改修等の病院経営状況分析上の特殊要素があったため、実質的収支では比較的早期に黒字化できていたものの、名目の収支では新病院開院後5年間はなかなか黒字化できませんでした。

名実ともに黒字化を達成したのは、令和元年度の3.8億円からとなり、翌令和2年度には9.6億円と順調に黒字幅を広げることができました。さらに、本令和3年度においては、事業活動収入及び事業活動支出双方が初めて500億円を超える事業規模となり、経常収支の黒字額は15.8億円（対前年度64%増）を計上することができました。

事業活動収入の8割近くを担う医療収入については、地域医療連携推進プロジェクトや救急医療体制改革プロジェクトといった中期経営計画に基づくイノベーションプロジェクトの実施等による診療活性化策が功を奏したこと、また、Family Medicine（地域医療サポート）をメインコンセプトとする「愛知医科大学メディカルセンター」を4月に開院したことにより、過去最高の42,346,374千円を計上しました。因みに、メディカルセンター分を除く医療収入においても40,022,871千円と400億円の大台を初めて超えることができました。

本学にとって令和の時代は、積極的かつ適時的により効率的かつ効果的な新しい事業を打ち出して

いくべき時代と考え、「中期経営計画（令和元年4月1日－令和6年3月31日）」を策定し、その体制づくりとして経営戦略推進本部を立ち上げました。具体的な事例としては、まずは前述の「愛知医科大学メディカルセンター」開院です。本学念願のこの分院は、2次救急から慢性期に至るまでの幅広い患者さんを対象に、大学分院ならではの質の高い医療の提供を通して地域を守り共に生きる中核病院として、患者さん本位の医療を行います。次に、眼科クリニックの設置です。開設38年のメディカルクリニックは、初期の目的を達成し、最近では赤字体質が進行しており、抜本的な改変が望まれています。現在の診療体制等を見直し、株式会社メニコンとの産学連携寄附講座（近視進行抑制）と眼科日帰り手術ラボを中心とした時代が求める治療・開発・臨床研究の拠点として生まれ変わります。これらは、創立50周年記念事業の展開の一部として強力に推進されていますが、これらを支えているのが本院の活性化から生み出されている拡大再生財源であり、そこから得る新しい収益が将来の本院を支えていく財源となっていくものと考えています。また、これからの医療ニーズに対応するため、生活機能と障害の診断・治療技術を基礎から最新技術に至るまで経験・習得するための教育への取り組みや、診療科の枠を越えた多職種での連携業務サポート体制整備によるがん患者さん受入倍増計画を推進していきます。さらに、「本学の発展を裏付ける経営基盤の強化」「世界を見据えた教育・研究活動の充実と発展」「診療・研究・教育を担う卓越した人材の育成」「評価される卓越した大学力の涵養」「地域医療・地域貢献の促進」の5つの目標を掲げ、その実現に向けた先進医療研究棟構想プロジェクトを発足させていきます。

## 9 法人・会議関係

### (1) 令和3年度理事会関係

#### ① 第1回理事会 令和3年5月31日（月）本学第1会議室

##### 主な議題

- ・ 評議員選任等
- ・ 令和2年度事業報告
- ・ 令和2年度決算
- ・ 令和2年度監査報告
- ・ 令和3年度予算の補正
- ・ スターバックス誘致事業
- ・ 大学債及び寄付金の募集
- ・ 理事の競業取引及び利益相反取引
- ・ 愛知医科大学病院規程の一部改正

#### ② 第2回理事会 令和3年9月27日（月）本学第1会議室

##### 主な議題

- ・ 評議員選任等
- ・ 名誉教授称号授与
- ・ 医学部の入学定員増に係る認可申請
- ・ 愛知医科大学病院規程の一部改正
- ・ 令和3年度予算の補正
- ・ メディカルクリニックの再編

- ・ 理事の競業取引及び利益相反取引

③ 第3回理事会 令和3年12月20日（月）本学第1会議室

主な議題

- ・ 学校法人愛知医科大学給与規程の一部改正
- ・ 愛知医科大学病院規程の一部改正
- ・ 創立50周年記念事業募金
- ・ メディカルクリニックの再編

④ 第4回理事会 令和4年1月11日（火）本学第1会議室

主な議題

- ・ 任期満了に伴う評議員候補者の評議員会への推薦
- ・ 任期満了に伴う評議員選任
- ・ 任期満了に伴う理事選任
- ・ 令和3年度予算の補正

⑤ 第5回理事会 令和4年1月28日（金）本学第1会議室

主な議題

- ・ 理事長選任
- ・ 法人の代表権を有する者
- ・ 理事長職務代理指名
- ・ 医学部長選任
- ・ 看護学部長選任
- ・ 常任理事委嘱の同意
- ・ 学校法人愛知医科大学旅費規程の一部改正

⑥第6回理事会 令和4年3月22日（火）本学第1会議室

主な議題

- ・ 常任理事委嘱の同意
- ・ 法人本部長人事
- ・ 事務局長人事
- ・ 評議員候補者の評議員会への推薦
- ・ 名誉教授称号授与
- ・ 令和4年度事業計画
- ・ 令和4年度予算
- ・ 令和3年度予算の補正
- ・ 理事の競業取引及び利益相反取引
- ・ 学校法人愛知医科大学就業規則等の一部改正
- ・ 愛知医科大学病院規程の一部改正
- ・ 令和5年度愛知医科大学大学院学生募集

- ・ 令和5年度愛知医科大学学生募集

(2) 令和3年度評議員会関係

① 第1回評議員会 令和3年5月31日（月）本学第1会議室

主な議題

- ・ 理事選任等
- ・ 令和2年度事業報告
- ・ 令和2年度決算
- ・ 令和2年度監査報告
- ・ 令和3年度予算の補正
- ・ スターバックス誘致事業
- ・ 大学債及び寄付金の募集

② 第2回評議員会 令和3年9月27日（月）本学第1会議室

主な議題

- ・ 理事選任等
- ・ 令和3年度予算の補正
- ・ メディカルクリニックの再編

③ 第3回評議員会 令和3年12月20日（月）本学第1会議室

主な議題

- ・ 創立50周年記念事業募金
- ・ メディカルクリニックの再編

④ 第4回評議員会 令和4年1月11日（火）本学第1会議室

主な議題

- ・ 任期満了に伴う評議員選任
- ・ 任期満了に伴う理事選任
- ・ 任期満了に伴う監事の選任同意
- ・ 令和3年度予算の補正

⑤ 第5回評議員会 令和4年3月22日（火）本学第1会議室

主な議題

- ・ 評議員選任等
- ・ 理事選任等
- ・ 令和4年度事業計画
- ・ 令和4年度予算
- ・ 令和3年度予算の補正

(3) 役員賠償責任保険

保険期間：令和3年4月1日午後4時から令和4年4月1日午後4時まで  
補償内容：役員に関する補償 10億円（支払限度額）



## 4 財務狀況等



## 4 財務状況等

### (1) 概要の推移

## 本学の状況

新病院開院（平成26年5月）から8年目を迎えた令和3年度の医療収入決算額は、コロナ禍の中、令和2年度の366億円を上回る423億円強（対前年比+15.6%）を計上できました。

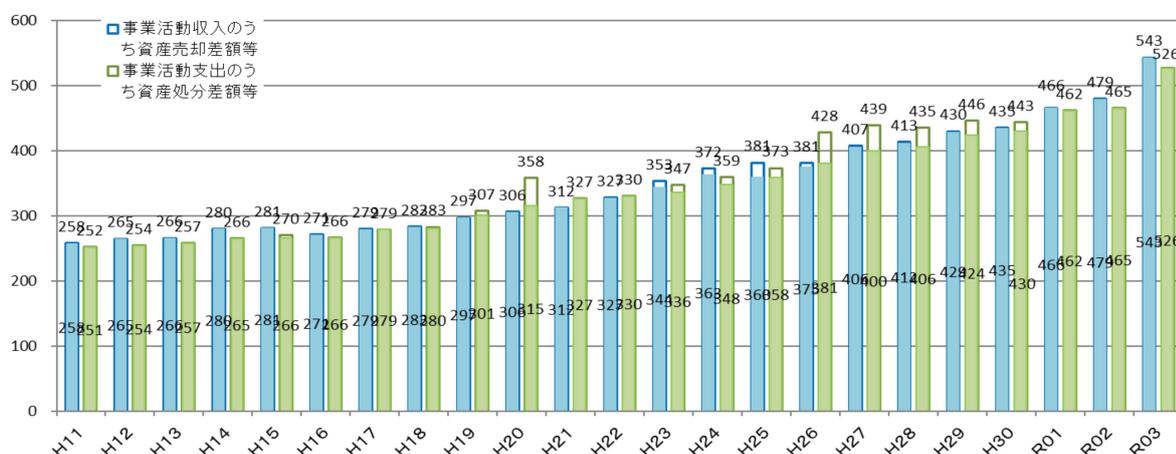
一方、支出の中で大きなウェイトを占める人件費は、教員や病院スタッフの人的資源の確保を図りつつ、人件費率が1.4ポイント改善し、38.3%となりました。

こうしたことから、事業活動収支差は16.5億円強のプラスとなりました。

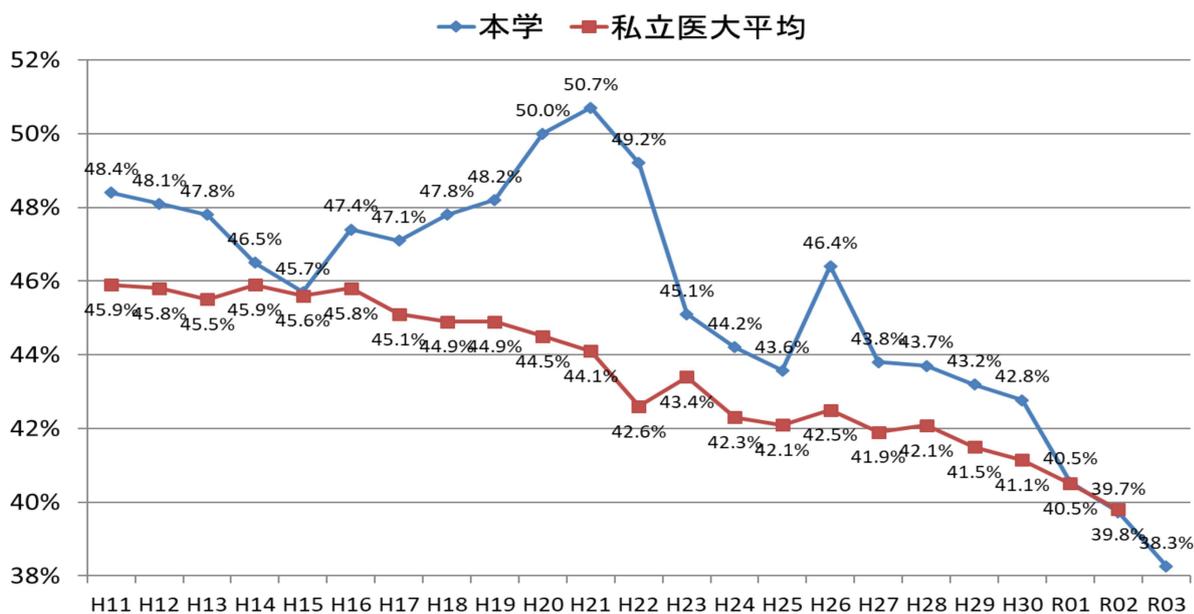
**収入合計**（教育活動収入+教育活動外収入+特別収入） **542億9,071万余円**

**支出合計**（教育活動支出+教育活動外支出+特別支出） **526億3,417万余円**

決算規模の推移

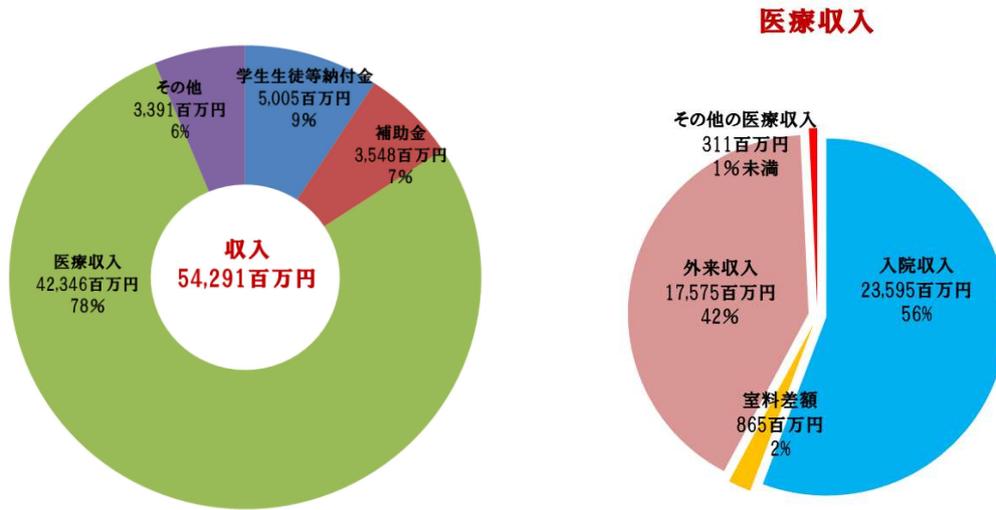


本学と私立医大平均の人件費率年次推移



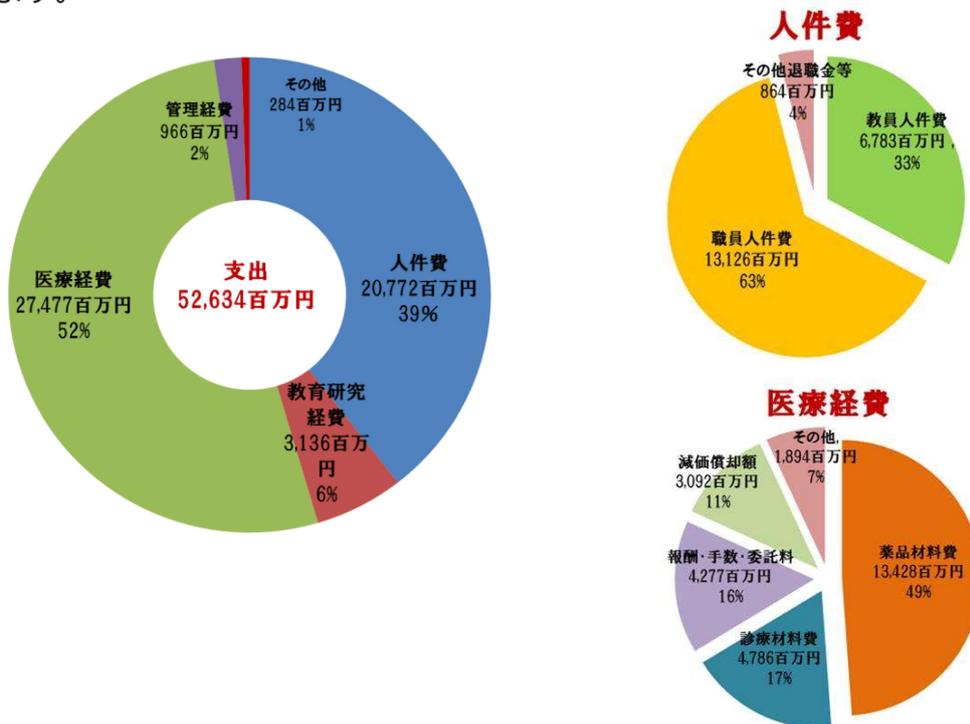
## 教育活動収入＋教育活動外収入＋特別収入

収入額は、その3/4を医療収入に依存しています。医療収入について令和2年度は76%でしたが、補助金の割合が減少したため、2ポイント増の78%となりました。内訳としては、入院収入が約5割強を占め、入院患者数と平均単価の改善が財政に大きく貢献しています。



## 教育活動支出＋教育活動外支出＋特別支出

支出額は、人件費が約4割を、収入に応じて変動する医療経費が約5割を占めています。



## (2) 財務状況概要

### 事業活動収支決算の概要

事業活動収支計算書では、毎期の収支バランスを判断できるよう、基本金組入後の収支差額に加えて、基本金組入前の収支差額を表示している。

また、収支バランスについて、経常的な収支バランスと臨時的な収支バランスを区分して明らかにしている。

令和3年度決算は、事業活動収入54,290百万円（前年度比13.2%増）、事業活動支出52,634百万円（前年度比13.1%増）となり、この収支差額は、1,657百万円の収入超過となった。経常的な収支バランスである経常収支差額は、1,576百万円の収入超過、臨時的な収支バランスの特別収支差額は、80百万円の収入超過となった。経常収支差が前年度から615百万円改善、医療収入額は前年度から5,789百万円改善している。

主な科目の概要は以下のとおりである。

### 学生生徒等納付金収入

学納金は、前年比47百万円減少し、5,005百万円の実績となった。

### 手数料収入

入学検定料、試験料、証明手数料等による収入であり、前年度比19百万円減少し、198百万円の実績となった。

### 寄付金収入

寄附講座への寄付金、施設・設備整備事業に係る寄付金などであり、前年度より29百万円減の420百万円の実績となった。

### 経常費補助金収入

前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症関連補助金で、多額の補助金を獲得できたが、本年度は、前年度より310百万円減少し、3,507百万円の実績となった。

### 付随事業収入

受託研究、臨床治験、病院実習や新型コロナワクチン集団接種などの収入が含まれており、前年度より1,153百万円増加し、1,685百万円の実績となった。

### 医療収入

大学病院、メディカルセンター、メディカルクリニックの医療収入が含まれており、前年度より5,699百万円の増収となり、42,346百万円の実績となった。

#### 人件費

人件費は、新たにメディカルセンター分も計上することとなり、前年度より1,730百万円増加し、20,772百万円の実績となった。

#### 教育研究経費

教育研究経費は、教育研究活動に必要な経費を計上しており、前年度より292百万円増加し、3,135百万円の実績となった。

#### 医療経費

診療に係る経費として、薬品材料費、診療材料費、給食材料費、委託料、修繕費、減価償却額等を計上しており、前年度より3,982百万円増加し、27,477百万円の実績となった。

#### 管理経費

法人、大学、大学病院、メディカルクリニックの管理運営に必要な経費を計上しており、前年度より111百万円増加し966百万円の実績となった。

#### 借入金等利息

新病院、医心館、立体駐車場の建設資金の借入金の利息により、255百万円の実績となった。

### (3) 学校法人会計財務三表

学校法人には、①資金収支計算書②事業活動収支計算書③貸借対照表の財務三表と言われる計算書類がある。

#### ① 資金収支計算書

当該会計年度に行った諸活動に対応する全ての収入・支出の内容と支払資金の収入・支出など1年間の諸活動に伴う、資金の動きを明らかにしたものである。これにより学校法人のキャッシュフローの状況を把握することができる。

#### ② 事業活動収支計算書

当該会計年度の3つの活動に対応する事業活動収入及び事業活動支出の内容を明らかにするとともに、当該会計年度において基本金に組み入れる額を控除した当該会計年度の諸活動に対応するすべての事業活動収入及び支出の均衡の状態を明らかにする。

#### ③ 貸借対照表

開校以来の財産の一覧表。私立学校法第25条で、私立学校は必要な施設及び設備をきちんと用意しなければならないことになっている。どういう設備を借入金で用意しているのか、自己資金で確保できたのか、つまり、資産があるかどうかということを見るのが貸借対照表である。

| 種類        | 解説         | わかりやすく言うと |
|-----------|------------|-----------|
| 資金収支計算書   | 資金の動き・残高   | 資金規模      |
| 事業活動収支計算書 | 区分経理・収支の均衡 | 利益がでているか  |
| 貸借対照表     | 財政状態       | 資産があるか    |

## (4) 資金収支の状況

## 資 金 収 支 計 算 書

令和3年4月1日から  
令和4年3月31日まで

(単位 円)

| 収入の部              |                |                |               |
|-------------------|----------------|----------------|---------------|
| 科 目               | 予 算            | 決 算            | 差 異           |
| 学生生徒等納付金収入        | 5,020,580,000  | 5,005,350,000  | 15,230,000    |
| 授業料収入             | 2,606,530,000  | 2,590,830,000  | 15,700,000    |
| 入学金収入             | 367,880,000    | 369,220,000    | △1,340,000    |
| 実験実習料収入           | 87,270,000     | 87,025,000     | 245,000       |
| 教育充実費収入           | 1,210,300,000  | 1,210,175,000  | 125,000       |
| 施設維持費収入           | 748,600,000    | 748,100,000    | 500,000       |
| 手数料収入             | 238,142,000    | 197,543,750    | 40,598,250    |
| 入学検定料収入           | 218,860,000    | 183,980,000    | 34,880,000    |
| 試験料収入             | 11,850,000     | 7,675,000      | 4,175,000     |
| 証明手数料収入           | 736,000        | 630,100        | 105,900       |
| 審査手数料収入           | 5,890,000      | 4,635,000      | 1,255,000     |
| 大学入試センター試験実施手数料収入 | 806,000        | 623,650        | 182,350       |
| 寄付金収入             | 397,500,000    | 421,003,224    | △23,503,224   |
| 特別寄付金収入           | 177,500,000    | 202,750,001    | △25,250,001   |
| 一般寄付金収入           | 220,000,000    | 218,253,223    | 1,746,777     |
| 補助金収入             | 3,320,619,000  | 3,548,064,033  | △227,445,033  |
| 国庫補助金収入           | 1,468,151,000  | 1,387,386,500  | 80,764,500    |
| 地方公共団体補助金収入       | 1,852,468,000  | 2,160,677,533  | △308,209,533  |
| 資産売却収入            | 1,000,000,000  | 1,006,518,600  | △6,518,600    |
| 設備売却収入            | 0              | 6,518,600      | △6,518,600    |
| 有価証券売却収入          | 1,000,000,000  | 1,000,000,000  | 0             |
| 付随事業・収益事業収入       | 1,430,576,000  | 1,685,673,288  | △255,097,288  |
| 附属事業収入            | 79,929,000     | 75,082,127     | 4,846,873     |
| 受託事業収入            | 1,325,647,000  | 1,592,804,781  | △267,157,781  |
| 保育所収入             | 25,000,000     | 17,786,380     | 7,213,620     |
| 医療収入              | 42,970,895,000 | 42,346,374,295 | 624,520,705   |
| 入院収入              | 23,227,250,000 | 23,595,252,015 | △368,002,015  |
| 室料差額収入            | 901,001,000    | 865,174,260    | 35,826,740    |
| 外来収入              | 18,636,937,000 | 17,574,569,591 | 1,062,367,409 |
| その他の医療収入          | 205,707,000    | 311,378,429    | △105,671,429  |

(4) 資金収支の状況

| 科 目               | 予 算           | 決 算           | 差 異          |
|-------------------|---------------|---------------|--------------|
| 受取利息・配当金収入        | 1,850,000     | 4,666,218     | △2,816,218   |
| その他の受取利息・配当金収入    | 1,850,000     | 4,666,218     | △2,816,218   |
| 雑収入               | 681,028,000   | 1,030,454,762 | △349,426,762 |
| 退職金財団交付金収入        | 258,936,000   | 315,025,359   | △56,089,359  |
| 施設設備利用料収入         | 136,227,000   | 136,089,937   | 137,063      |
| 雑収入               | 207,938,000   | 502,857,788   | △294,919,788 |
| 過年度修正収入           | 0             | 4,119,547     | △4,119,547   |
| 研究関連収入            | 77,927,000    | 72,362,131    | 5,564,869    |
| 借入金等収入            | 150,000,000   | 120,000,000   | 30,000,000   |
| 学校債収入             | 150,000,000   | 120,000,000   | 30,000,000   |
| 前受金収入             | 993,058,000   | 969,450,618   | 23,607,382   |
| 授業料前受金収入          | 239,100,000   | 226,310,000   | 12,790,000   |
| 入学金前受金収入          | 348,290,000   | 342,780,000   | 5,510,000    |
| 実験実習料前受金収入        | 15,795,000    | 16,670,000    | △875,000     |
| 教育充実費前受金収入        | 317,000,000   | 304,950,000   | 12,050,000   |
| 施設維持費前受金収入        | 59,400,000    | 55,000,000    | 4,400,000    |
| 施設利用料前受金収入        | 423,000       | 533,000       | △110,000     |
| 附属事業収入前受金収入       | 9,559,000     | 20,086,000    | △10,527,000  |
| 雑収入前受金収入          | 122,000       | 121,618       | 382          |
| 寄付金前受金収入          | 3,369,000     | 3,000,000     | 369,000      |
| その他の収入            | 9,302,347,000 | 9,329,357,103 | △27,010,103  |
| 学校債償還引当特定資産取崩収入   | 220,000,000   | 180,000,000   | 40,000,000   |
| 借入金返済引当特定資産取崩収入   | 500,000,000   | 500,000,000   | 0            |
| 国際交流推進引当特定資産取崩収入  | 7,672,000     | 2,091,925     | 5,580,075    |
| 教育研究活性化引当特定資産取崩収入 | 7,503,000     | 5,318,495     | 2,184,505    |
| 前期末未収入金収入         | 8,163,652,000 | 8,235,227,556 | △71,575,556  |
| 貸付金回収収入           | 2,700,000     | 5,800,000     | △3,100,000   |
| 前期末貸付金回収収入        | 0             | 19,100,000    | △19,100,000  |
| 預り金受入収入           | 399,305,000   | 380,313,429   | 18,991,571   |
| 前期末立替金回収収入        | 1,506,000     | 1,505,698     | 302          |
| 前期末保証金回収収入        | 9,000         | 0             | 9,000        |

#### (4) 資金収支の状況

| 科 目       | 予 算            | 決 算            | 差 異           |
|-----------|----------------|----------------|---------------|
| 資金収入調整勘定  | △7,895,821,000 | △9,594,105,676 | 1,698,284,676 |
| 期末未収入金    | △6,904,020,000 | △8,607,504,549 | 1,703,484,549 |
| 前期末前受金    | △991,801,000   | △986,601,127   | △5,199,873    |
| 前年度繰越支払資金 | 6,381,963,000  | 6,381,962,593  |               |
| 収入の部合計    | 63,992,737,000 | 62,452,312,808 | 1,540,424,192 |

#### (4) 資金収支の状況

| 支出の部        |                  |                  |                  |
|-------------|------------------|------------------|------------------|
| 科 目         | 予 算              | 決 算              | 差 異              |
| 人件費支出       | 20,943,533,000   | 20,691,367,347   | 252,165,653      |
| 教員人件費支出     | 6,885,010,000    | 6,782,645,472    | 102,364,528      |
| 職員人件費支出     | 13,213,679,000   | 13,125,731,951   | 87,947,049       |
| 役員報酬支出      | 38,245,000       | 33,939,018       | 4,305,982        |
| 退職金支出       | 806,599,000      | 749,050,906      | 57,548,094       |
| 教育研究経費支出    | 26,227,814,000   | 26,682,497,262   | △454,683,262     |
| (教育研究経費支出)  | (2,961,261,000)  | (2,270,809,283)  | (690,451,717)    |
| 消耗品費支出      | 428,375,000      | 383,023,777      | 45,351,223       |
| 光熱水費支出      | 262,033,000      | 222,879,572      | 39,153,428       |
| 旅費交通費支出     | 121,068,000      | 25,337,435       | 95,730,565       |
| 奨学費支出       | 57,317,000       | 51,712,982       | 5,604,018        |
| 通信費支出       | 16,122,000       | 14,708,582       | 1,413,418        |
| 印刷費支出       | 24,831,000       | 23,482,046       | 1,348,954        |
| 出版物費支出      | 11,128,000       | 10,252,641       | 875,359          |
| 福利費支出       | 120,000          | 60,800           | 59,200           |
| 報酬・手数・委託料支出 | 1,276,515,000    | 1,204,044,103    | 72,470,897       |
| 公租公課支出      | 1,814,000        | 384,122          | 1,429,878        |
| 助成費支出       | 29,056,000       | 16,794,634       | 12,261,366       |
| 保険料支出       | 7,175,000        | 7,121,929        | 53,071           |
| 会費・負担金支出    | 50,030,000       | 47,462,623       | 2,567,377        |
| 会議費支出       | 8,151,000        | 2,947,409        | 5,203,591        |
| 賃借料支出       | 56,420,000       | 50,011,818       | 6,408,182        |
| 広告費支出       | 974,000          | 485,100          | 488,900          |
| 修繕費支出       | 289,638,000      | 208,815,273      | 80,822,727       |
| 車両燃料費支出     | 1,241,000        | 185,213          | 1,055,787        |
| 研究費支出       | 315,396,000      | 0                | 315,396,000      |
| 雑費支出        | 3,857,000        | 1,099,224        | 2,757,776        |
| (医療経費支出)    | (23,266,553,000) | (24,411,687,979) | (△1,145,134,979) |
| 消耗品費支出      | 341,346,000      | 290,015,574      | 51,330,426       |
| 薬品材料費支出     | 11,962,007,000   | 13,468,601,318   | △1,506,594,318   |
| 診療材料費支出     | 4,643,941,000    | 4,774,119,408    | △130,178,408     |
| 給食材料費支出     | 225,844,000      | 197,311,386      | 28,532,614       |
| 光熱水費支出      | 489,814,000      | 507,236,193      | △17,422,193      |
| 旅費交通費支出     | 13,568,000       | 6,683,488        | 6,884,512        |
| 通信費支出       | 42,137,000       | 37,091,923       | 5,045,077        |

(4) 資金収支の状況

| 科 目              | 予 算           | 決 算           | 差 異         |
|------------------|---------------|---------------|-------------|
| 印刷費支出            | 20,105,000    | 13,915,050    | 6,189,950   |
| 出版物費支出           | 4,943,000     | 4,332,052     | 610,948     |
| 報酬・手数・委託料支出      | 4,449,482,000 | 4,277,075,787 | 172,406,213 |
| 公租公課支出           | 1,932,000     | 1,541,540     | 390,460     |
| 助成費支出            | 660,000       | 0             | 660,000     |
| 保険料支出            | 61,897,000    | 58,434,966    | 3,462,034   |
| 会費・負担金支出         | 18,433,000    | 14,581,601    | 3,851,399   |
| 会議費支出            | 2,230,000     | 455,678       | 1,774,322   |
| 賃借料支出            | 569,061,000   | 499,156,793   | 69,904,207  |
| 広告費支出            | 495,000       | 495,000       | 0           |
| 修繕費支出            | 416,315,000   | 258,828,824   | 157,486,176 |
| 車両燃料費支出          | 610,000       | 1,796,748     | △1,186,748  |
| 雑費支出             | 1,733,000     | 14,650        | 1,718,350   |
| 管理経費支出           | 1,027,414,000 | 721,644,320   | 305,769,680 |
| 消耗品費支出           | 162,996,000   | 37,306,701    | 125,689,299 |
| 給食材料費支出          | 1,710,000     | 1,241,411     | 468,589     |
| 光熱水費支出           | 14,920,000    | 14,690,261    | 229,739     |
| 旅費交通費支出          | 12,813,000    | 3,233,233     | 9,579,767   |
| 通信費支出            | 6,693,000     | 4,357,748     | 2,335,252   |
| 印刷費支出            | 33,494,000    | 29,390,651    | 4,103,349   |
| 出版物費支出           | 1,012,000     | 858,012       | 153,988     |
| 福利費支出            | 8,816,000     | 7,827,091     | 988,909     |
| 報酬・手数・委託料支出      | 456,937,000   | 328,353,311   | 128,583,689 |
| 公租公課支出           | 121,387,000   | 108,601,692   | 12,785,308  |
| 助成費支出            | 9,566,000     | 8,354,500     | 1,211,500   |
| 保険料支出            | 2,147,000     | 1,447,387     | 699,613     |
| 会費・負担金支出         | 9,323,000     | 7,210,568     | 2,112,432   |
| 渉外費支出            | 19,697,000    | 5,518,123     | 14,178,877  |
| 会議費支出            | 4,781,000     | 1,443,496     | 3,337,504   |
| 賃借料支出            | 32,364,000    | 47,329,329    | △14,965,329 |
| 広告費支出            | 81,471,000    | 68,302,651    | 13,168,349  |
| 修繕費支出            | 17,743,000    | 16,477,259    | 1,265,741   |
| 車両燃料費支出          | 516,000       | 244,297       | 271,703     |
| 私立大学等経常費補助金返還金支出 | 337,000       | 337,000       | 0           |
| 補助金返還金支出         | 1,738,000     | 1,735,048     | 2,952       |
| 雑費支出             | 15,668,000    | 14,601,339    | 1,066,661   |
| 過年度修正支出          | 11,285,000    | 12,783,212    | △1,498,212  |

#### (4) 資金収支の状況

| 科 目             | 予 算            | 決 算            | 差 異            |
|-----------------|----------------|----------------|----------------|
| 借入金等利息支出        | 255,367,000    | 255,365,466    | 1,534          |
| 借入金利息支出         | 255,367,000    | 255,365,466    | 1,534          |
| 借入金等返済支出        | 2,451,846,000  | 2,411,846,000  | 40,000,000     |
| 借入金返済支出         | 2,231,846,000  | 2,231,846,000  | 0              |
| 学校債返済支出         | 220,000,000    | 180,000,000    | 40,000,000     |
| 施設関係支出          | 1,251,903,000  | 890,925,080    | 360,977,920    |
| 土地支出            | 85,650,000     | 0              | 85,650,000     |
| 建物支出            | 1,097,933,000  | 864,854,080    | 233,078,920    |
| 構築物支出           | 68,320,000     | 26,071,000     | 42,249,000     |
| 設備関係支出          | 2,431,100,000  | 1,922,876,720  | 508,223,280    |
| 教育研究用機器備品支出     | 2,264,984,000  | 1,782,646,627  | 482,337,373    |
| 管理用機器備品支出       | 25,200,000     | 6,627,440      | 18,572,560     |
| 図書支出            | 12,002,000     | 8,516,153      | 3,485,847      |
| ソフトウェア支出        | 128,914,000    | 125,086,500    | 3,827,500      |
| 資産運用支出          | 150,000,000    | 880,000,000    | △730,000,000   |
| 有価証券購入支出        | 0              | 760,000,000    | △760,000,000   |
| 学校債償還引当特定資産繰入支出 | 150,000,000    | 120,000,000    | 30,000,000     |
| その他の支出          | 5,436,669,000  | 5,339,048,449  | 97,620,551     |
| 貸付金支払支出         | 259,900,000    | 236,760,000    | 23,140,000     |
| 前期末未払金支払支出      | 4,579,051,000  | 4,579,051,173  | △173           |
| 前期末預り金支払支出      | 443,598,000    | 351,584,793    | 92,013,207     |
| 立替金支払支出         | 1,913,000      | 1,041,014      | 871,986        |
| 前払金支払支出         | 152,207,000    | 170,611,469    | △18,404,469    |
| [ 予 備 費 ]       | (754,567,000)  |                |                |
|                 | 295,433,000    |                | 295,433,000    |
| 資金支出調整勘定        | △3,549,915,000 | △5,957,869,914 | 2,407,954,914  |
| 期末未払金           | △3,398,045,000 | △5,806,012,411 | 2,407,967,411  |
| 前期末前払金          | △151,870,000   | △151,857,503   | △12,497        |
| 翌年度繰越支払資金       | 7,071,573,000  | 8,614,612,078  | △1,543,039,078 |
| 支出の部合計          | 63,992,737,000 | 62,452,312,808 | 1,540,424,192  |

(5) 活動区分資金収支計算書の状況

活動区分資金収支計算書

令和3年4月1日から

令和4年3月31日まで

(単位 円)

|                              |               | 科 目             | 金 額            |
|------------------------------|---------------|-----------------|----------------|
| 教育活動による資金収支                  | 収 入           | 学生生徒等納付金収入      | 5,005,350,000  |
|                              |               | 手数料収入           | 197,543,750    |
|                              |               | 特別寄付金収入         | 202,220,001    |
|                              |               | 一般寄付金収入         | 218,253,223    |
|                              |               | 経常費等補助金収入       | 3,507,068,033  |
|                              |               | 付随事業収入          | 1,685,673,288  |
|                              |               | 医療収入            | 42,346,374,295 |
|                              |               | 雑収入             | 1,026,335,215  |
|                              |               | 教育活動資金収入計       | 54,188,817,805 |
|                              | 支 出           | 人件費支出           | 20,691,367,347 |
|                              |               | 教育研究経費支出        | 2,270,809,283  |
|                              |               | 医療経費支出          | 24,411,687,979 |
|                              |               | 管理経費支出          | 708,861,108    |
|                              | 教育活動資金支出計     | 48,082,725,717  |                |
|                              | 差引            | 6,106,092,088   |                |
|                              | 調整勘定等         | 343,294,991     |                |
|                              | 教育活動資金収支差額    | 6,449,387,079   |                |
| 施設整備等活動による資金収支               | 科 目           |                 | 金 額            |
|                              | 収 入           | 施設設備寄付金収入       | 530,000        |
|                              |               | 施設設備補助金収入       | 40,996,000     |
|                              |               | 施設設備売却収入        | 6,518,600      |
|                              |               | 学校債償還引当特定資産取崩収入 | 180,000,000    |
|                              |               | 施設整備等活動資金収入計    | 228,044,600    |
|                              | 支 出           | 施設関係支出          | 890,925,080    |
|                              |               | 設備関係支出          | 1,922,876,720  |
|                              |               | 学校債償還引当特定資産繰入支出 | 120,000,000    |
|                              |               | 施設整備等活動資金支出計    | 2,933,801,800  |
|                              | 差引            | △2,705,757,200  |                |
|                              | 調整勘定等         | 474,389,737     |                |
|                              | 施設整備等活動資金収支差額 | △2,231,367,463  |                |
| 小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額) |               |                 | 4,218,019,616  |

(5) 活動区分資金収支計算書の状況

|                           |                | 科 目               | 金 額           |
|---------------------------|----------------|-------------------|---------------|
| その他の活動による資金収支             | 収 入            | 借入金等収入            | 120,000,000   |
|                           |                | 有価証券売却収入          | 1,000,000,000 |
|                           |                | 借入金返済引当特定資産取崩収入   | 500,000,000   |
|                           |                | 国際交流推進引当特定資産取崩収入  | 2,091,925     |
|                           |                | 教育研究活性化引当特定資産取崩収入 | 5,318,495     |
|                           |                | 貸付金回収収入           | 5,800,000     |
|                           |                | 前期末貸付金回収収入        | 19,100,000    |
|                           |                | 預り金受入収入           | 380,313,429   |
|                           |                | 前期末立替金回収収入        | 1,505,698     |
|                           |                | 小計                | 2,034,129,547 |
|                           | 支 出            | 受取利息・配当金収入        | 4,666,218     |
|                           |                | 過年度修正収入           | 4,119,547     |
|                           |                | その他の活動資金収入計       | 2,042,915,312 |
|                           |                | 借入金等返済支出          | 2,411,846,000 |
|                           |                | 有価証券購入支出          | 760,000,000   |
|                           |                | 貸付金支払支出           | 236,760,000   |
|                           |                | 前期末預り金支払支出        | 351,584,793   |
|                           |                | 立替金支払支出           | 1,041,014     |
|                           |                | 小計                | 3,761,231,807 |
|                           |                | 借入金等利息支出          | 255,365,466   |
| 過年度修正支出                   | 12,783,212     |                   |               |
| その他の活動資金支出計               | 4,029,380,485  |                   |               |
| 差引                        | △1,986,465,173 |                   |               |
| 調整勘定等                     | 1,095,042      |                   |               |
| その他の活動資金収支差額              | △1,985,370,131 |                   |               |
| 支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額) |                | 2,232,649,485     |               |
| 前年度繰越支払資金                 |                | 6,381,962,593     |               |
| 翌年度繰越支払資金                 |                | 8,614,612,078     |               |

## (6) 事業活動収支の状況

## 事業活動収支計算書

令和3年4月1日から  
令和4年3月31日まで

(単位 円)

| 科 目      |                 | 予 算            | 決 算            | 差 異          |
|----------|-----------------|----------------|----------------|--------------|
| 教育活動収支   | 事業活動収入の部        |                |                |              |
|          | 学生生徒等納付金        | 5,020,580,000  | 5,005,350,000  | 15,230,000   |
|          | 授業料             | 2,606,530,000  | 2,590,830,000  | 15,700,000   |
|          | 入学金             | 367,880,000    | 369,220,000    | △1,340,000   |
|          | 実験実習料           | 87,270,000     | 87,025,000     | 245,000      |
|          | 教育充実費           | 1,210,300,000  | 1,210,175,000  | 125,000      |
|          | 施設維持費           | 748,600,000    | 748,100,000    | 500,000      |
|          | 手数料             | 238,142,000    | 197,543,750    | 40,598,250   |
|          | 入学検定料           | 218,860,000    | 183,980,000    | 34,880,000   |
|          | 試験料             | 11,850,000     | 7,675,000      | 4,175,000    |
|          | 証明手数料           | 736,000        | 630,100        | 105,900      |
|          | 審査手数料           | 5,890,000      | 4,635,000      | 1,255,000    |
|          | 大学入試センター試験実施手数料 | 806,000        | 623,650        | 182,350      |
|          | 寄付金             | 399,500,000    | 420,980,489    | △21,480,489  |
|          | 特別寄付金           | 177,500,000    | 202,220,001    | △24,720,001  |
|          | 一般寄付金           | 220,000,000    | 218,253,223    | 1,746,777    |
|          | 現物寄付            | 2,000,000      | 507,265        | 1,492,735    |
|          | 経常費等補助金         | 3,260,500,000  | 3,507,068,033  | △246,568,033 |
|          | 国庫補助金           | 1,456,510,000  | 1,374,711,500  | 81,798,500   |
|          | 地方公共団体補助金       | 1,803,990,000  | 2,132,356,533  | △328,366,533 |
|          | 付随事業収入          | 1,430,576,000  | 1,685,673,288  | △255,097,288 |
|          | 附属事業収入          | 79,929,000     | 75,082,127     | 4,846,873    |
|          | 受託事業収入          | 1,325,647,000  | 1,592,804,781  | △267,157,781 |
|          | 保育所収入           | 25,000,000     | 17,786,380     | 7,213,620    |
|          | 医療収入            | 42,970,895,000 | 42,346,374,295 | 624,520,705  |
|          | 入院収入            | 23,227,250,000 | 23,595,252,015 | △368,002,015 |
|          | 室料差額収入          | 901,001,000    | 865,174,260    | 35,826,740   |
| 外来収入     | 18,636,937,000  | 17,574,569,591 | 1,062,367,409  |              |
| その他の医療収入 | 205,707,000     | 311,378,429    | △105,671,429   |              |
| 雑収入      | 681,028,000     | 1,026,335,215  | △345,307,215   |              |
| 退職金財団交付金 | 258,936,000     | 315,025,359    | △56,089,359    |              |
| 施設設備利用料  | 136,227,000     | 136,089,937    | 137,063        |              |
| 雑収入      | 207,938,000     | 502,857,788    | △294,919,788   |              |
| 研究関連収入   | 77,927,000      | 72,362,131     | 5,564,869      |              |
| 教育活動収入計  | 54,001,221,000  | 54,189,325,070 | △188,104,070   |              |

(6) 事業活動収支の状況

| 科 目       |                | 予 算              | 決 算              | 差 異            |
|-----------|----------------|------------------|------------------|----------------|
| 教育活動支出の部  | 人件費            | 20,992,033,000   | 20,772,149,771   | 219,883,229    |
|           | 教員人件費          | 6,885,010,000    | 6,782,645,472    | 102,364,528    |
|           | 職員人件費          | 13,213,679,000   | 13,125,731,951   | 87,947,049     |
|           | 役員報酬           | 38,245,000       | 33,939,018       | 4,305,982      |
|           | 退職給与引当金繰入額     | 697,201,000      | 708,294,748      | △11,093,748    |
|           | 退職金            | 157,898,000      | 121,538,582      | 36,359,418     |
|           | 教育研究経費         | 30,353,814,000   | 30,612,367,191   | △258,553,191   |
|           | (教育研究経費)       | (3,851,261,000)  | (3,135,818,021)  | (715,442,979)  |
|           | 消耗品費           | 428,375,000      | 382,299,183      | 46,075,817     |
|           | 光熱水費           | 262,033,000      | 222,879,572      | 39,153,428     |
|           | 旅費交通費          | 121,068,000      | 25,337,435       | 95,730,565     |
|           | 奨学費            | 57,317,000       | 51,712,982       | 5,604,018      |
|           | 通信費            | 16,122,000       | 14,708,902       | 1,413,098      |
|           | 印刷費            | 24,831,000       | 23,339,948       | 1,491,052      |
|           | 出版物費           | 11,128,000       | 10,252,641       | 875,359        |
|           | 福利費            | 120,000          | 60,800           | 59,200         |
|           | 報酬・手数・委託料      | 1,276,515,000    | 1,204,044,103    | 72,470,897     |
|           | 公租公課           | 1,814,000        | 384,122          | 1,429,878      |
|           | 助成費            | 29,056,000       | 16,794,634       | 12,261,366     |
|           | 保険料            | 7,175,000        | 7,121,929        | 53,071         |
|           | 会費・負担金         | 50,030,000       | 47,462,623       | 2,567,377      |
|           | 会議費            | 8,151,000        | 2,947,409        | 5,203,591      |
|           | 賃借料            | 56,420,000       | 50,011,818       | 6,408,182      |
|           | 広告費            | 974,000          | 485,100          | 488,900        |
|           | 修繕費            | 289,638,000      | 208,815,273      | 80,822,727     |
|           | 車両燃料費          | 1,241,000        | 185,213          | 1,055,787      |
|           | 研究費            | 315,396,000      | 0                | 315,396,000    |
|           | 雑費             | 3,857,000        | 1,099,224        | 2,757,776      |
|           | 減価償却額          | 890,000,000      | 865,875,110      | 24,124,890     |
|           | (医療経費)         | (26,502,553,000) | (27,476,549,170) | (△973,996,170) |
| 消耗品費      | 341,346,000    | 292,694,839      | 48,651,161       |                |
| 薬品材料費     | 11,962,007,000 | 13,427,625,425   | △1,465,618,425   |                |
| 診療材料費     | 4,643,941,000  | 4,786,210,412    | △142,269,412     |                |
| 給食材料費     | 225,844,000    | 196,234,913      | 29,609,087       |                |
| 光熱水費      | 489,814,000    | 507,236,193      | △17,422,193      |                |
| 旅費交通費     | 13,568,000     | 6,683,488        | 6,884,512        |                |
| 通信費       | 42,137,000     | 36,940,060       | 5,196,940        |                |
| 印刷費       | 20,105,000     | 14,417,589       | 5,687,411        |                |
| 出版物費      | 4,943,000      | 4,332,052        | 610,948          |                |
| 報酬・手数・委託料 | 4,449,482,000  | 4,277,075,787    | 172,406,213      |                |
| 公租公課      | 1,932,000      | 1,538,840        | 393,160          |                |
| 助成費       | 660,000        | 0                | 660,000          |                |
| 保険料       | 61,897,000     | 58,434,966       | 3,462,034        |                |
| 会費・負担金    | 18,433,000     | 14,581,601       | 3,851,399        |                |
| 会議費       | 2,230,000      | 455,678          | 1,774,322        |                |
| 賃借料       | 569,061,000    | 499,156,793      | 69,904,207       |                |
| 広告費       | 495,000        | 495,000          | 0                |                |
| 修繕費       | 416,315,000    | 258,828,824      | 157,486,176      |                |
| 車両燃料費     | 610,000        | 1,796,748        | △1,186,748       |                |
| 雑費        | 1,733,000      | 15,690           | 1,717,310        |                |
| 減価償却額     | 3,236,000,000  | 3,091,794,272    | 144,205,728      |                |

(6) 事業活動収支の状況

|            |                | 科 目            | 予 算           | 決 算          | 差 異         |
|------------|----------------|----------------|---------------|--------------|-------------|
| 教育活動収支     | 事業活動支出の部       | 管理経費           | 1,244,454,000 | 965,984,925  | 278,469,075 |
|            |                | 消耗品費           | 162,996,000   | 36,420,932   | 126,575,068 |
|            |                | 給食材料費          | 1,710,000     | 1,241,411    | 468,589     |
|            |                | 光熱水費           | 14,920,000    | 14,690,261   | 229,739     |
|            |                | 旅費交通費          | 12,813,000    | 3,233,233    | 9,579,767   |
|            |                | 奨学費            | 125,325,000   | 154,015,000  | △28,690,000 |
|            |                | 通信費            | 6,693,000     | 4,276,012    | 2,416,988   |
|            |                | 印刷費            | 33,494,000    | 29,325,074   | 4,168,926   |
|            |                | 出版物費           | 1,012,000     | 858,012      | 153,988     |
|            |                | 福利費            | 8,816,000     | 7,785,301    | 1,030,699   |
|            |                | 報酬・手数・委託料      | 456,937,000   | 328,353,311  | 128,583,689 |
|            |                | 公租公課           | 121,387,000   | 111,338,098  | 10,048,902  |
|            |                | 助成費            | 9,566,000     | 8,354,500    | 1,211,500   |
|            |                | 保険料            | 2,147,000     | 1,447,387    | 699,613     |
|            |                | 会費・負担金         | 9,323,000     | 7,210,568    | 2,112,432   |
|            |                | 渉外費            | 19,697,000    | 5,492,123    | 14,204,877  |
|            |                | 会議費            | 4,781,000     | 1,443,496    | 3,337,504   |
|            |                | 賃借料            | 32,364,000    | 47,329,329   | △14,965,329 |
|            |                | 広告費            | 81,471,000    | 66,911,926   | 14,559,074  |
|            |                | 修繕費            | 17,743,000    | 16,477,259   | 1,265,741   |
|            |                | 車両燃料費          | 516,000       | 244,297      | 271,703     |
|            |                | 私立大学等経常費補助金返還金 | 337,000       | 337,000      | 0           |
|            |                | 補助金返還金         | 1,738,000     | 1,735,048    | 2,952       |
|            |                | 雑費             | 15,668,000    | 14,600,539   | 1,067,461   |
|            |                | 減価償却額          | 103,000,000   | 102,864,808  | 135,192     |
|            |                | 徴収不能額等         | 18,332,000    | 12,052,992   | 6,279,008   |
| 徴収不能引当金繰入額 | 18,332,000     | 12,052,992     | 6,279,008     |              |             |
| 教育活動支出計    | 52,608,633,000 | 52,362,554,879 | 246,078,121   |              |             |
| 教育活動収支差額   |                | 1,392,588,000  | 1,826,770,191 | △434,182,191 |             |
| 教育活動外収支    | 事業活動収入の部       | 科 目            | 予 算           | 決 算          | 差 異         |
|            |                | 受取利息・配当金       | 1,850,000     | 4,666,218    | △2,816,218  |
|            |                | その他の受取利息・配当金   | 1,850,000     | 4,666,218    | △2,816,218  |
|            |                | その他の教育活動外収入    | 0             | 0            | 0           |
|            |                | 教育活動外収入計       | 1,850,000     | 4,666,218    | △2,816,218  |
|            | 事業活動支出の部       | 科 目            | 予 算           | 決 算          | 差 異         |
|            |                | 借入金等利息         | 255,367,000   | 255,365,466  | 1,534       |
|            |                | 借入金利息          | 255,367,000   | 255,365,466  | 1,534       |
|            |                | その他の教育活動外支出    | 0             | 0            | 0           |
|            |                | 教育活動外支出計       | 255,367,000   | 255,365,466  | 1,534       |
| 教育活動外収支差額  |                | △253,517,000   | △250,699,248  | △2,817,752   |             |
| 経常収支差額     |                | 1,139,071,000  | 1,576,070,943 | △436,999,943 |             |

(6) 事業活動収支の状況

|               |            | 科 目             | 予 算             | 決 算            | 差 異         |
|---------------|------------|-----------------|-----------------|----------------|-------------|
| 特別収支          | 事業活動収入の部   | 資産売却差額          | 0               | 6,518,597      | △6,518,597  |
|               |            | 設備売却差額          | 0               | 6,518,597      | △6,518,597  |
|               |            | その他の特別収入        | 88,119,000      | 90,206,250     | △2,087,250  |
|               |            | 施設設備寄付金         | 0               | 530,000        | △530,000    |
|               |            | 現物寄付            | 28,000,000      | 44,560,703     | △16,560,703 |
|               |            | 施設設備補助金         | 60,119,000      | 40,996,000     | 19,123,000  |
|               |            | 過年度修正額          | 0               | 4,119,547      | △4,119,547  |
|               | 特別収入計      | 88,119,000      | 96,724,847      | △8,605,847     |             |
|               | 事業活動支出の部   | 科 目             | 予 算             | 決 算            | 差 異         |
|               |            | 資産処分差額          | 20,000,000      | 3,476,301      | 16,523,699  |
| 施設処分差額        |            | 0               | 18              | △18            |             |
| 設備処分差額        |            | 20,000,000      | 3,476,283       | 16,523,717     |             |
| その他の特別支出      |            | 11,285,000      | 12,783,212      | △1,498,212     |             |
| 過年度修正額        |            | 11,285,000      | 12,783,212      | △1,498,212     |             |
| 特別支出計         | 31,285,000 | 16,259,513      | 15,025,487      |                |             |
| 特別収支差額        |            | 56,834,000      | 80,465,334      | △23,631,334    |             |
| 〔予備費〕         |            | (270,888,000)   |                 |                |             |
|               |            | 779,112,000     |                 | 779,112,000    |             |
| 基本金組入前当年度収支差額 |            | 416,793,000     | 1,656,536,277   | △1,239,743,277 |             |
| 基本金組入額合計      |            | △5,300,000,000  | △6,081,641,420  | 781,641,420    |             |
| 当年度収支差額       |            | △4,883,207,000  | △4,425,105,143  | △458,101,857   |             |
| 前年度繰越収支差額     |            | △62,673,017,000 | △62,674,016,705 | 999,705        |             |
| 基本金取崩額        |            | 0               | 3,285,081,384   | △3,285,081,384 |             |
| 翌年度繰越収支差額     |            | △67,556,224,000 | △63,814,040,464 | △3,742,183,536 |             |
| (参考)          |            |                 |                 |                |             |
| 事業活動収入計       |            | 54,091,190,000  | 54,290,716,135  | △199,526,135   |             |
| 事業活動支出計       |            | 53,674,397,000  | 52,634,179,858  | 1,040,217,142  |             |

## (7) 貸借対照表の状況

## 貸 借 対 照 表

令和4年3月31日

(単位 円)

| 資産の部              |                |                |                |
|-------------------|----------------|----------------|----------------|
| 科 目               | 本 年 度 末        | 前 年 度 末        | 増 減            |
| 固定資産              | 49,205,685,055 | 51,017,524,489 | △1,811,839,434 |
| 有形固定資産            | 43,386,954,008 | 44,426,170,313 | △1,039,216,305 |
| 土地                | 9,820,000,256  | 8,830,037,383  | 989,962,873    |
| 建物                | 26,299,811,512 | 24,457,589,844 | 1,842,221,668  |
| 構築物               | 1,272,407,732  | 1,375,581,964  | △103,174,232   |
| 教育研究用機器備品         | 4,874,951,759  | 4,571,321,434  | 303,630,325    |
| 管理用機器備品           | 165,119,063    | 176,188,180    | △11,069,117    |
| 図書                | 936,663,366    | 928,822,177    | 7,841,189      |
| 車両                | 18,000,320     | 23,201,141     | △5,200,821     |
| 建設仮勘定             | 0              | 4,063,428,190  | △4,063,428,190 |
| 特定資産              | 3,910,856,005  | 4,478,266,425  | △567,410,420   |
| 学校債償還引当特定資産       | 700,000,000    | 760,000,000    | △60,000,000    |
| 借入金返済引当特定資産       | 800,000,000    | 1,300,000,000  | △500,000,000   |
| 医療機器等整備調整資金引当特定資産 | 2,350,000,000  | 2,350,000,000  | 0              |
| 国際交流推進引当特定資産      | 33,993,135     | 36,085,060     | △2,091,925     |
| 教育研究活性化引当特定資産     | 26,862,870     | 32,181,365     | △5,318,495     |
| その他の固定資産          | 1,907,875,042  | 2,113,087,751  | △205,212,709   |
| 借地権               | 20,000,000     | 20,000,000     | 0              |
| 電話加入権             | 5,103,000      | 5,103,000      | 0              |
| 施設利用権             | 116,447,786    | 131,003,750    | △14,555,964    |
| ソフトウェア            | 1,208,528,526  | 1,381,975,271  | △173,446,745   |
| 有価証券              | 11,400,000     | 11,400,000     | 0              |
| 長期貸付金             | 545,940,000    | 563,150,000    | △17,210,000    |
| 保証金               | 200,000        | 200,000        | 0              |
| 預託金               | 255,730        | 255,730        | 0              |
| 流動資産              | 17,928,183,785 | 15,432,332,285 | 2,495,851,500  |
| 現金預金              | 8,614,612,078  | 6,381,962,593  | 2,232,649,485  |
| 未収入金              | 8,523,875,882  | 8,163,651,881  | 360,224,001    |
| 貯蔵品               | 395,461,162    | 345,827,430    | 49,633,732     |
| 短期貸付金             | 222,570,000    | 147,515,000    | 75,055,000     |
| 有価証券              | 0              | 240,000,000    | △240,000,000   |
| 立替金               | 1,041,014      | 1,505,698      | △464,684       |
| 前払金               | 170,623,649    | 151,869,683    | 18,753,966     |
| 資産の部合計            | 67,133,868,840 | 66,449,856,774 | 684,012,066    |

(7) 貸借対照表の状況

| 負債の部        |                 |                 |                |
|-------------|-----------------|-----------------|----------------|
| 科 目         | 本 年 度 末         | 前 年 度 末         | 増 減            |
| 固定負債        | 26,438,103,900  | 27,673,521,934  | △1,235,418,034 |
| 長期借入金       | 18,375,163,000  | 19,407,009,000  | △1,031,846,000 |
| 学校債         | 440,000,000     | 580,000,000     | △140,000,000   |
| 長期未払金       | 1,036,614,204   | 1,180,968,662   | △144,354,458   |
| 退職給与引当金     | 6,586,326,696   | 6,505,544,272   | 80,782,424     |
| 流動負債        | 8,689,189,787   | 8,426,295,964   | 262,893,823    |
| 短期借入金       | 1,031,846,000   | 2,231,846,000   | △1,200,000,000 |
| 1年以内償還予定学校債 | 260,000,000     | 180,000,000     | 80,000,000     |
| 未払金         | 5,950,366,869   | 4,579,051,173   | 1,371,315,696  |
| 前受金         | 974,650,618     | 991,801,127     | △17,150,509    |
| 預り金         | 472,326,300     | 443,597,664     | 28,728,636     |
| 負債の部合計      | 35,127,293,687  | 36,099,817,898  | △972,524,211   |
| 純資産の部       |                 |                 |                |
| 科 目         | 本 年 度 末         | 前 年 度 末         | 増 減            |
| 基本金         | 95,820,615,617  | 93,024,055,581  | 2,796,560,036  |
| 第1号基本金      | 92,299,615,617  | 89,566,055,581  | 2,733,560,036  |
| 第2号基本金      | 0               | 0               | 0              |
| 第3号基本金      | 0               | 0               | 0              |
| 第4号基本金      | 3,521,000,000   | 3,458,000,000   | 63,000,000     |
| 繰越収支差額      | △63,814,040,464 | △62,674,016,705 | △1,140,023,759 |
| 翌年度繰越収支差額   | △63,814,040,464 | △62,674,016,705 | △1,140,023,759 |
| 純資産の部合計     | 32,006,575,153  | 30,350,038,876  | 1,656,536,277  |
| 負債及び純資産の部合計 | 67,133,868,840  | 66,449,856,774  | 684,012,066    |

(8) 財務状況の年次推移

◆ 資金収支計算書

(単位 千円)

| 科 目       |             | H29年度      | H30年度      | R01年度      | R02年度      | R03年度      |
|-----------|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 収入の部      | 学生生徒等納付金収入  | 5,100,850  | 5,052,610  | 5,058,830  | 5,058,830  | 5,005,350  |
|           | 手数料収入       | 207,160    | 238,305    | 233,522    | 233,522    | 197,544    |
|           | 寄付金収入       | 538,635    | 428,730    | 778,371    | 778,371    | 421,003    |
|           | 補助金収入       | 1,638,473  | 1,980,075  | 1,743,187  | 1,743,187  | 3,548,064  |
|           | 資産売却収入      | 9,072      | 0          | 0          | 0          | 1,006,519  |
|           | 付随事業・収益事業収入 | 532,082    | 499,064    | 513,242    | 513,242    | 1,685,673  |
|           | 医療収入        | 34,195,253 | 34,635,013 | 37,450,555 | 37,450,555 | 42,346,374 |
|           | 受取利息・配当金収入  | 6,240      | 1,364      | 5,323      | 5,323      | 4,666      |
|           | 雑収入         | 711,507    | 626,106    | 695,278    | 695,278    | 1,030,455  |
|           | 借入金等収入      | 110,000    | 80,000     | 70,000     | 70,000     | 120,000    |
|           | 小 計         | 43,049,272 | 43,541,268 | 46,548,309 | 46,548,309 | 55,365,648 |
|           | 前受金収入       | 946,168    | 909,645    | 966,058    | 966,058    | 969,451    |
|           | その他の収入      | 7,506,359  | 7,855,048  | 7,785,423  | 7,785,423  | 9,329,357  |
|           | 資金収入調整勘定    | △7,330,264 | △7,278,837 | △7,838,265 | △7,838,265 | △9,594,106 |
|           | 前年度繰越支払資金   | 3,853,854  | 3,716,573  | 5,272,474  | 5,272,474  | 6,381,963  |
|           | 収入の部合計      | 48,025,389 | 48,743,697 | 52,733,999 | 52,733,999 | 62,452,313 |
| 支出の部      | 人件費支出       | 18,545,693 | 18,455,591 | 18,816,958 | 18,816,958 | 20,691,367 |
|           | 教育研究経費支出    | 2,081,704  | 1,974,135  | 1,929,325  | 1,929,325  | 2,270,809  |
|           | 医療経費支出      | 18,200,394 | 18,623,667 | 20,645,180 | 20,645,180 | 24,411,688 |
|           | 管理経費支出      | 816,141    | 581,546    | 605,392    | 605,392    | 721,644    |
|           | 借入金等利息支出    | 320,876    | 302,957    | 285,058    | 285,058    | 255,365    |
|           | 借入金等返済支出    | 1,731,846  | 1,711,846  | 1,791,846  | 1,791,846  | 2,411,846  |
|           | 施設関係支出      | 750,345    | 50,397     | 136,445    | 136,445    | 890,925    |
|           | 設備関係支出      | 1,863,830  | 700,243    | 1,172,498  | 1,172,498  | 1,922,877  |
|           | 小 計         | 44,310,829 | 42,400,382 | 45,382,702 | 45,382,702 | 53,576,522 |
|           | 資産運用支出      | 110,000    | 80,000     | 570,000    | 570,000    | 880,000    |
|           | その他の支出      | 4,226,655  | 4,491,231  | 4,350,667  | 4,350,667  | 5,339,048  |
|           | 資金支出調整勘定    | △4,338,668 | △3,500,390 | △3,254,664 | △3,254,664 | △5,957,870 |
| 翌年度繰越支払資金 | 3,716,573   | 5,272,474  | 5,685,294  | 5,685,294  | 8,614,612  |            |
| 支出の部合計    | 48,025,389  | 48,743,697 | 52,733,999 | 52,733,999 | 62,452,313 |            |

※ 科目毎に千円未満を四捨五入表示しているため、合計は必ずしも一致しない。

◆ 事業活動収支計算書

(単位 千円)

| 科 目           |           | H29年度       | H30年度       | R01年度       | R02年度       | R03年度       |            |
|---------------|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|
| 教育活動収支        | 事業活動収入の部  | 学生生徒等納付金    | 5,100,850   | 5,052,610   | 5,058,830   | 5,052,525   | 5,005,350  |
|               |           | 手数料         | 207,160     | 238,305     | 233,522     | 217,243     | 197,544    |
|               |           | 寄付金         | 445,638     | 387,622     | 822,323     | 450,120     | 420,980    |
|               |           | 経常費等補助金     | 1,562,074   | 1,961,537   | 1,732,303   | 3,817,600   | 3,507,068  |
|               |           | 付随事業収入      | 532,082     | 499,064     | 513,242     | 532,163     | 1,685,673  |
|               |           | 医療収入        | 34,195,252  | 34,635,013  | 37,450,555  | 36,647,642  | 42,346,374 |
|               |           | 雑収入         | 708,669     | 623,609     | 693,506     | 752,824     | 1,026,335  |
|               |           | 教育活動収入計     | 42,751,725  | 43,397,760  | 46,504,281  | 47,470,118  | 54,189,325 |
|               | 事業活動支出の部  | 人件費         | 18,557,675  | 18,595,728  | 18,876,922  | 19,042,112  | 20,772,150 |
|               |           | 教育研究経費      | 24,665,447  | 24,585,782  | 26,087,760  | 26,338,156  | 30,612,367 |
|               |           | (うち教育研究経費)  | 3,538,558   | 3,392,698   | 3,101,727   | 2,843,594   | 3,135,818  |
|               |           | (うち医療経費)    | 21,126,889  | 21,193,083  | 22,986,033  | 23,494,561  | 27,476,549 |
|               |           | 管理経費        | 973,565     | 792,083     | 863,419     | 855,432     | 965,985    |
|               |           | 徴収不能額等      | 8,450       | 19,032      | 18,648      | 8,505       | 12,053     |
| 教育活動支出計       |           | 44,205,137  | 43,992,624  | 45,846,749  | 46,244,205  | 52,362,555  |            |
| 教育活動収支差額      |           | △1,453,411  | △594,864    | 657,532     | 1,225,912   | 1,826,770   |            |
| 教育活動外収支       | 事業活動収入の部  | 受取利息・配当金    | 6,240       | 1,364       | 5,323       | 4,314       | 4,666      |
|               |           | 教育活動外収入計    | 6,240       | 1,364       | 5,323       | 4,314       | 4,666      |
|               | 事業活動支出の部  | 借入金等利息      | 320,876     | 302,957     | 285,058     | 269,343     | 255,365    |
|               |           | 教育活動外支出計    | 320,876     | 302,957     | 285,058     | 269,343     | 255,365    |
|               | 教育活動外収支差額 |             | △314,635    | △301,593    | △279,734    | △265,029    | △250,699   |
| 経常収支差額        |           | △1,768,047  | △896,457    | 377,798     | 960,883     | 1,576,071   |            |
| 特別収支          | 事業活動収入の部  | 資産売却差額      | 9,072       | 0           | 0           | 245         | 6,519      |
|               |           | その他の特別収入    | 204,334     | 83,379      | 43,096      | 448,806     | 90,206     |
|               |           | 特別収入計       | 213,406     | 83,379      | 43,096      | 449,051     | 96,725     |
|               | 事業活動支出の部  | 資産処分差額      | 24,485      | 24,355      | 5,080       | 12,495      | 3,476      |
|               |           | その他の特別支出    | 38,533      | 12,168      | 14,506      | 950         | 12,783     |
|               |           | 特別支出計       | 63,018      | 36,524      | 19,586      | 13,445      | 16,260     |
| 特別収支差額        |           | 150,389     | 46,855      | 23,509      | 435,606     | 80,465      |            |
| 基本金組入前当年度収支差額 |           | △1,617,658  | △849,603    | 401,307     | 1,396,489   | 1,656,536   |            |
| 基本金組入額合計      |           | △3,511,874  | △2,924,171  | △2,604,741  | △6,978,340  | △6,081,641  |            |
| 当年度収支差額       |           | △5,129,532  | △3,773,773  | △2,203,434  | △5,581,851  | △4,425,105  |            |
| 前年度繰越収支差額     |           | △47,508,521 | △51,173,706 | △54,947,479 | △57,133,914 | △62,674,017 |            |
| 基本金取崩額        |           | 1,464,347   | 0           | 17,000      | 41,747      | 3,285,081   |            |
| 翌年度繰越収支差額     |           | △51,173,706 | △54,947,479 | △57,133,914 | △62,674,017 | △63,814,041 |            |
| (参考)          |           |             |             |             |             |             |            |
| 事業活動収入計       |           | 42,971,372  | 43,482,502  | 46,552,700  | 47,923,483  | 54,290,716  |            |
| 事業活動支出計       |           | 44,589,030  | 44,332,105  | 46,151,393  | 46,526,993  | 52,634,180  |            |

※ 科目毎に千円未満を四捨五入表示しているため、合計は必ずしも一致しない。

## ◆ 貸借対照表

(単位 千円)

| 資産の部              |            |            |            |            |            |  |
|-------------------|------------|------------|------------|------------|------------|--|
| 科 目               | H29年度      | H30年度      | R01年度      | R02年度      | R03年度      |  |
| 固定資産              | 54,187,889 | 49,879,204 | 47,059,270 | 51,017,525 | 49,205,685 |  |
| 有形固定資産            | 46,458,038 | 43,209,680 | 40,866,117 | 44,426,170 | 43,386,954 |  |
| 土地                | 8,773,102  | 8,773,102  | 8,773,102  | 8,830,037  | 9,820,000  |  |
| 建物                | 29,797,956 | 27,932,401 | 26,173,646 | 24,457,590 | 26,299,812 |  |
| 構築物               | 1,800,313  | 1,631,735  | 1,487,688  | 1,375,582  | 1,272,408  |  |
| 教育研究用機器備品         | 4,950,331  | 3,760,590  | 3,315,260  | 4,571,321  | 4,874,952  |  |
| 管理用機器備品           | 215,266    | 196,385    | 189,025    | 176,188    | 165,119    |  |
| 図書                | 916,207    | 907,091    | 917,245    | 928,822    | 936,663    |  |
| 車両                | 4,863      | 8,376      | 6,155      | 23,201     | 18,000     |  |
| 建設仮勘定             | 0          | 0          | 3,996      | 4,063,428  | 0          |  |
| 特定資産              | 6,967,555  | 5,959,238  | 5,457,015  | 4,478,266  | 3,910,856  |  |
| 学校債償還引当特定資産       | 1,520,000  | 1,320,000  | 1,030,000  | 760,000    | 700,000    |  |
| 借入金返済引当特定資産       | 3,400,000  | 2,700,000  | 2,000,000  | 1,300,000  | 800,000    |  |
| 医療機器等整備調整資金引当特定資産 | 1,850,000  | 1,850,000  | 2,350,000  | 2,350,000  | 2,350,000  |  |
| 教育研究奨励引当特定資産      | 100,000    | 0          | 0          | 0          | 0          |  |
| 国際交流推進引当特定資産      | 53,682     | 47,830     | 40,516     | 36,085     | 33,993     |  |
| 教育研究活性化引当特定資産     | 43,873     | 41,408     | 36,499     | 32,181     | 26,863     |  |
| その他の固定資産          | 762,297    | 710,286    | 736,138    | 2,113,088  | 1,907,875  |  |
| 借地権               | 20,000     | 20,000     | 20,000     | 20,000     | 20,000     |  |
| 電話加入権             | 5,103      | 5,103      | 5,103      | 5,103      | 5,103      |  |
| 施設利用権             | 174,672    | 160,116    | 145,560    | 131,004    | 116,448    |  |
| ソフトウェア            | 191,184    | 85,645     | 65,254     | 1,381,975  | 1,208,529  |  |
| 有価証券              | 11,400     | 11,400     | 11,400     | 11,400     | 11,400     |  |
| 長期貸付金             | 359,580    | 427,680    | 488,330    | 563,150    | 545,940    |  |
| 保証金               | 228        | 200        | 200        | 200        | 200        |  |
| 預託金               | 130        | 142        | 292        | 256        | 256        |  |
| 流動資産              | 10,694,622 | 12,218,052 | 13,247,082 | 15,432,332 | 17,928,184 |  |
| 現金預金              | 3,716,573  | 5,272,474  | 5,685,294  | 6,381,963  | 8,614,612  |  |
| 未収入金              | 6,373,086  | 6,300,175  | 6,835,990  | 8,163,652  | 8,523,876  |  |
| 貯蔵品               | 336,187    | 345,724    | 445,102    | 345,827    | 395,461    |  |
| 短期貸付金             | 109,000    | 132,050    | 135,000    | 147,515    | 222,570    |  |
| 有価証券              | 0          | 0          | 0          | 240,000    | 0          |  |
| 立替金               | 2,840      | 2,487      | 2,092      | 1,506      | 1,041      |  |
| 前払金               | 156,936    | 165,142    | 143,604    | 151,870    | 170,624    |  |
| 資産の部合計            | 64,882,511 | 62,097,256 | 60,306,352 | 66,449,857 | 67,133,869 |  |

(単位 千円)

| 負債の部        |             |             |             |             |             |
|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 科 目         | H29年度       | H30年度       | R01年度       | R02年度       | R03年度       |
| 固定負債        | 28,651,883  | 26,749,108  | 24,805,296  | 27,673,522  | 26,438,104  |
| 長期借入金       | 19,002,547  | 17,570,701  | 16,138,855  | 19,407,009  | 18,375,163  |
| 学校債         | 1,250,000   | 970,000     | 720,000     | 580,000     | 440,000     |
| 長期未払金       | 2,133,194   | 1,802,129   | 1,480,198   | 1,180,969   | 1,036,614   |
| 退職給与引当金     | 6,266,142   | 6,406,278   | 6,466,242   | 6,505,544   | 6,586,327   |
| 流動負債        | 6,828,783   | 6,795,905   | 6,547,507   | 8,426,296   | 8,689,190   |
| 短期借入金       | 1,431,846   | 1,431,846   | 1,431,846   | 2,231,846   | 1,031,846   |
| 1年以内償還予定学校債 | 270,000     | 350,000     | 310,000     | 180,000     | 260,000     |
| 未払金         | 3,820,672   | 3,677,217   | 3,412,440   | 4,579,051   | 5,950,367   |
| 前受金         | 946,168     | 947,545     | 993,058     | 991,801     | 974,651     |
| 預り金         | 360,098     | 389,297     | 400,163     | 443,598     | 472,326     |
| 負債の部合計      | 35,480,666  | 33,545,013  | 31,352,802  | 36,099,818  | 35,127,294  |
| 純資産の部       |             |             |             |             |             |
| 科 目         | H29年度       | H30年度       | R01年度       | R02年度       | R03年度       |
| 基本金         | 80,575,551  | 83,499,722  | 86,087,463  | 93,024,056  | 95,820,616  |
| 第1号基本金      | 77,385,551  | 80,244,722  | 82,811,463  | 89,566,056  | 92,299,616  |
| 第2号基本金      | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           |
| 第3号基本金      | 0           | 0           | 0           | 0           | 0           |
| 第4号基本金      | 3,190,000   | 3,255,000   | 3,276,000   | 3,458,000   | 3,521,000   |
| 繰越収支差額      | △51,173,706 | △54,947,479 | △57,133,914 | △62,674,017 | △63,814,040 |
| 翌年度繰越消費差額   | △51,173,706 | △54,947,479 | △57,133,914 | △62,674,017 | △63,814,040 |
| 純資産の部合計     | 29,401,845  | 28,552,242  | 28,953,550  | 30,350,039  | 32,006,575  |
| 負債及び純資産の部合計 | 64,882,511  | 62,097,256  | 60,306,352  | 66,449,857  | 67,133,869  |

※ 科目毎に千円未満を四捨五入表示しているため、合計は必ずしも一致しない。

(9) 財務比率の状況(主要比率)

◆ 事業活動収支計算書

| 比 率        | 算 式   | 評 | H29年度 | H30年度 | R01年度 | R02年度 | R03年度 |
|------------|---|---|-------|-------|-------|-------|-------|
| 人件費比率      | $\frac{\text{人 件 費}}{\text{経 常 収 入}}$                 | ▼ | 43.4  | 42.8  | 40.6  | 40.1  | 38.3  |
| 人件費依存率     | $\frac{\text{人 件 費}}{\text{学生生徒等納付金}}$                | ▼ | 363.8 | 368.0 | 373.1 | 376.9 | 415.0 |
| 教育研究経費比率   | $\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{経 常 収 入}}$           | △ | 57.7  | 56.7  | 56.1  | 55.5  | 56.5  |
| 医療経費比率     | $\frac{\text{医 療 経 費}}{\text{経 常 収 入}}$               | △ | 49.4  | 48.8  | 49.4  | 49.5  | 50.7  |
| 管理経費比率     | $\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{経 常 収 入}}$               | ▼ | 2.3   | 1.8   | 1.9   | 1.8   | 1.8   |
| 借入金等利息比率   | $\frac{\text{借 入 金 等 利 息}}{\text{経 常 収 入}}$           | ▼ | 0.8   | 0.7   | 0.6   | 0.6   | 0.5   |
| 事業活動収支差額比率 | $\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事 業 活 動 収 入}}$     | △ | -3.8  | -2.0  | 0.9   | 2.9   | 3.1   |
| 基本金組入後収支比率 | $\frac{\text{事 業 活 動 支 出}}{\text{事業活動収入-基本金組入額}}$     | ▼ | 95.9  | 95.5  | 93.9  | 84.7  | 87.2  |
| 学生生徒等納付金比率 | $\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{経 常 収 入}}$       | ～ | 11.9  | 11.6  | 10.9  | 10.6  | 9.2   |
| 寄付金比率      | $\frac{\text{寄 付 金}}{\text{事 業 活 動 収 入}}$             | △ | 1.2   | 1.3   | 1.0   | 1.8   | 0.9   |
| 経常寄付金比率    | $\frac{\text{教育活動収支の寄付金}}{\text{経 常 収 入}}$            | △ | 1.0   | 0.9   | 1.8   | 0.9   | 0.8   |
| 補助金比率      | $\frac{\text{補 助 金}}{\text{事 業 活 動 収 入}}$             | △ | 4.1   | 3.8   | 4.6   | 3.7   | 6.5   |
| 経常補助金比率    | $\frac{\text{教育活動収支の補助金}}{\text{経 常 収 入}}$            | △ | 3.7   | 4.5   | 3.7   | 8.0   | 6.5   |
| 基本金組入率     | $\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{事 業 活 動 収 入}}$       | △ | -8.2  | -6.7  | -5.6  | -14.6 | -11.2 |
| 減価償却額比率    | $\frac{\text{減 価 償 却 額}}{\text{経 常 支 出}}$             | ～ | 9.6   | 10.1  | 8.9   | 8.0   | 7.7   |
| 経常収支差額比率   | $\frac{\text{経 常 収 支 差 額}}{\text{経 常 収 入}}$           | △ | -4.1  | -2.1  | 0.8   | 2.0   | 2.9   |
| 教育活動収支差額比率 | $\frac{\text{教 育 活 動 収 支 差 額}}{\text{教 育 活 動 収 入 計}}$ | △ | -3.4  | -1.4  | 1.4   | 2.6   | 3.4   |

評価：△高い値が良い ▼低い値が良い ～どちらともいえない

参考：新学校法人会計基準の財務比率に関するガイドライン（日本私立大学連盟）

◆ 貸借対照表

| 比 率        | 算 式   | 評 | H29年度 | H30年度 | R01年度 | R02年度 | R03年度 |
|------------|---|---|-------|-------|-------|-------|-------|
| 固定資産構成比率   | $\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$              | ▼ | 83.5  | 80.3  | 78.0  | 76.8  | 73.3  |
| 有形固定資産構成比率 | $\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}}$            | ▼ | 71.6  | 69.6  | 67.8  | 66.9  | 64.6  |
| 特定資産構成比率   | $\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$              | △ | 10.7  | 9.6   | 9.0   | 6.7   | 5.8   |
| 流動資産構成比率   | $\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$              | △ | 16.5  | 19.7  | 22.0  | 23.2  | 26.7  |
| 固定負債構成比率   | $\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債+純資産}}$          | ▼ | 44.2  | 43.1  | 41.1  | 41.6  | 39.4  |
| 流動負債構成比率   | $\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債+純資産}}$          | ▼ | 10.5  | 10.9  | 10.9  | 12.7  | 12.9  |
| 内部留保資産比率   | $\frac{\text{運用資産}-\text{総負債}}{\text{総資産}}$   | △ | -38.2 | -35.9 | -33.5 | -38.0 | -33.6 |
| 運用資産余裕比率   | $\frac{\text{運用資産}-\text{外部負債}}{\text{経常支出}}$ | △ | -38.7 | -32.9 | -26.7 | -37.2 | -27.7 |
| 純資産構成比率    | $\frac{\text{純資産}}{\text{総負債+純資産}}$           | △ | 45.3  | 46.0  | 48.0  | 45.7  | 47.7  |
| 繰越収支差額構成比率 | $\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債+純資産}}$        | △ | -78.9 | -88.5 | -94.7 | -94.3 | -95.1 |
| 固定比率       | $\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$              | ▼ | 184.3 | 174.7 | 162.5 | 168.1 | 153.7 |
| 固定長期適合率    | $\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産+固定負債}}$         | ▼ | 93.3  | 90.2  | 87.5  | 87.9  | 84.2  |
| 流動比率       | $\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$             | △ | 156.6 | 179.8 | 202.3 | 183.1 | 206.3 |
| 総負債比率      | $\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$               | ▼ | 54.7  | 54.0  | 52.0  | 54.3  | 52.3  |
| 負債比率       | $\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$               | ▼ | 120.7 | 117.5 | 108.3 | 118.9 | 109.8 |
| 前受金保有率     | $\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$              | △ | 392.8 | 556.4 | 572.5 | 643.5 | 883.9 |
| 基本金比率      | $\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$           | △ | 88.7  | 91.1  | 93.1  | 100.2 | 95.4  |
| 減価償却比率     | $\frac{\text{減価償却累計額}}{\text{減価償却資産取得価額}}$    | ～ | 51.0  | 53.3  | 57.8  | 61.0  | 60.8  |
| 積立率        | $\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$             | △ | 23.1  | 23.0  | 21.1  | 19.6  | 23.8  |

**(10) 借入金の状況**

(単位:千円)

| 科 目   | H29年度   | H30年度  | R01年度  | R02年度     | R03年度   |
|-------|---------|--------|--------|-----------|---------|
| 長期借入金 | 0       | 0      | 0      | 5,500,000 | 0       |
| 学校債   | 110,000 | 80,000 | 70,000 | 40,000    | 120,000 |
| 合 計   | 110,000 | 80,000 | 70,000 | 5,540,000 | 120,000 |

※ 科目毎に千円未満を四捨五入表示しているため、合計は必ずしも一致しない。

**(11) 寄付金の受入状況**

(単位:千円)

| 科 目   | H29年度   | H30年度   | R01年度   | R02年度   | R03年度   |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 特別寄付金 | 247,310 | 184,515 | 330,921 | 225,190 | 202,220 |
| 一般寄付金 | 291,324 | 244,215 | 439,840 | 222,483 | 218,253 |
| 現物寄付金 | 31,900  | 20,937  | 51,562  | 2,447   | 507     |
| 合 計   | 570,535 | 449,668 | 822,323 | 450,120 | 420,980 |

※ 科目毎に千円未満を四捨五入表示しているため、合計は必ずしも一致しない。

**(12) 補助金の受入状況**

(単位:千円)

| 科 目         | H29年度     | H30年度     | R01年度     | R02年度     | R03年度     |
|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 国庫補助金       | 1,275,095 | 1,616,308 | 1,372,568 | 1,748,322 | 1,374,712 |
| 地方公共団体補助金   | 363,378   | 363,367   | 359,735   | 2,069,279 | 2,132,357 |
| 若手・女性研究者奨励金 | 0         | 400       | 0         | 0         | 0         |
| 合 計         | 1,638,473 | 1,980,075 | 1,732,303 | 3,817,600 | 3,507,068 |

※ 科目毎に千円未満を四捨五入表示しているため、合計は必ずしも一致しない。

**(13) 学納金の状況**

## ◆ 大学院

(単位:円)

| 研究科名                               | 年 度             | 納入金   | 入学金     | 授業料     | 実 験<br>実習費 | 教育充実費   | 計         |
|------------------------------------|-----------------|-------|---------|---------|------------|---------|-----------|
| 医学研究科                              | H16年度～<br>H19年度 | 初年度   | 200,000 | 300,000 | 200,000    | —       | 700,000   |
|                                    |                 | 2年度以降 | —       | 300,000 | 200,000    | —       | 500,000   |
|                                    | H20年度～          | 初年度   | 200,000 | 300,000 | —          | —       | 500,000   |
|                                    |                 | 2年度以降 | —       | 300,000 | —          | —       | 300,000   |
|                                    | R3年度～           | 初年度   | 200,000 | 200,000 | —          | 100,000 | 500,000   |
|                                    |                 | 2年度以降 | —       | 200,000 | —          | 100,000 | 300,000   |
| 看護学研究科                             | H19年度～<br>H26年度 | 初年度   | 300,000 | 600,000 | —          | —       | 900,000   |
|                                    |                 | 2年度以降 | —       | 600,000 | —          | —       | 600,000   |
| 看護学研究科<br>(修士論文コース)                | H27年度～          | 初年度   | 300,000 | 600,000 | —          | 100,000 | 1,000,000 |
|                                    |                 | 2年度以降 | —       | 600,000 | —          | 100,000 | 700,000   |
| 看護学研究科<br>(高度実践看護師(専門看護師[CNS])コース) | H27年度～          | 初年度   | 300,000 | 600,000 | 50,000     | 100,000 | 1,050,000 |
|                                    |                 | 2年度以降 | —       | 600,000 | 100,000    | 100,000 | 800,000   |
| 看護学研究科<br>(高度実践看護師(診療看護師[NP])コース)  | H27年度～          | 初年度   | 300,000 | 600,000 | 100,000    | 100,000 | 1,100,000 |
|                                    |                 | 2年度以降 | —       | 600,000 | 200,000    | 100,000 | 900,000   |

## ◆ 学部

(単位:円)

| 学部名      | 年 度    | 納入金   | 入学金       | 授業料       | 教 育<br>充実費 | 実 験<br>実習費 | 施 設<br>維持費 | 計          |
|----------|--------|-------|-----------|-----------|------------|------------|------------|------------|
| 医学部医学科   | H18年度  | 初年度   | 1,000,000 | 2,000,000 | 5,000,000  | 1,000,000  | 1,500,000  | 10,500,000 |
|          |        | 2年度以降 | —         | 2,000,000 | 1,000,000  | 1,000,000  | 1,500,000  | 5,500,000  |
|          | H19年度～ | 初年度   | 1,500,000 | 3,000,000 | 4,000,000  | —          | 1,000,000  | 9,500,000  |
|          |        | 2年度以降 | —         | 3,000,000 | 1,500,000  | —          | 1,200,000  | 5,700,000  |
|          | H29年度～ | 初年度   | 1,500,000 | 3,000,000 | 2,700,000  | —          | 1,000,000  | 8,200,000  |
|          |        | 2年度以降 | —         | 3,000,000 | 1,200,000  | —          | 1,000,000  | 5,200,000  |
| 看護学部看護学科 | H19年度～ | 初年度   | 300,000   | 1,000,000 | 200,000    | 170,000    | —          | 1,670,000  |
|          |        | 2年度以降 | —         | 1,000,000 | 300,000    | 220,000    | —          | 1,520,000  |

(14) 外部資金の受入状況

◆ 科学研究費助成事業

| 年 度   | 新 規                |             |                            | 継 続 注2)     |                             | 計          |                             |
|-------|--------------------|-------------|----------------------------|-------------|-----------------------------|------------|-----------------------------|
|       | 申請件数<br>(件)<br>注1) | 採 択 注2) 注3) |                            | 継続件数<br>(件) | 直接経費<br>(間接経費)<br>(円)       | 全件数<br>(件) | 直接経費<br>(間接経費)<br>(円)       |
|       |                    | 件 数<br>(件)  | 直接経費<br>(間接経費)<br>(円)      |             |                             |            |                             |
| H27年度 | 128                | 35          | 64,400,000<br>(19,320,000) | 54          | 58,900,000<br>(17,670,000)  | 89         | 123,300,000<br>(36,990,000) |
| H28年度 | 182                | 34          | 54,000,000<br>(16,200,000) | 64          | 86,100,000<br>(25,830,000)  | 98         | 140,100,000<br>(42,030,000) |
| H29年度 | 196                | 42          | 60,500,000<br>(18,150,000) | 75          | 84,100,000<br>(25,230,000)  | 117        | 144,600,000<br>(43,380,000) |
| H30年度 | 227                | 42          | 66,700,000<br>(20,010,000) | 85          | 97,000,000<br>(29,100,000)  | 127        | 163,700,000<br>(49,110,000) |
| R01年度 | 209                | 45          | 61,400,000<br>(18,420,000) | 78          | 88,800,000<br>(26,640,000)  | 123        | 150,200,000<br>(45,060,000) |
| R02年度 | 216                | 60          | 80,800,000<br>(24,240,000) | 85          | 88,300,000<br>(26,490,000)  | 145        | 169,100,000<br>(50,730,000) |
| R03年度 | 200                | 47          | 71,170,000<br>(21,210,000) | 107         | 117,900,000<br>(35,070,000) | 154        | 189,070,000<br>(56,280,000) |

注1)：平成27～令和2年は11月、令和3年度は9月時点での申請件数

注2)：採択欄及び継続欄の件数及び交付額は、交付申請額（転入、転出又は追加採択を含む）

注3)：平成29年度より挑戦的研究（開拓・萌芽）の採択内定時期が7月頃になったため、新規採択分は含まれない。

**(15) 財産目録**

## ◆ 財産目録(令和4年3月31日現在)

|          |                 |
|----------|-----------------|
| I 資産総額   | 67,133,868,840円 |
| 内 1 基本財産 | 44,435,460,836円 |
| 2 運用財産   | 22,698,408,004円 |
| II 負債総額  | 35,127,293,687円 |
| III 正味財産 | 32,006,575,153円 |

## [1] 資産

## 1 基本財産

|                   | (単位 m <sup>2</sup> ) | (単位 円)         |
|-------------------|----------------------|----------------|
| (1) 土地            | 265,568.03           | 9,639,978,558  |
| 校舎敷地              | 29,922.14            | 306,200,429    |
| 病院敷地              | 55,546.21            | 535,650,927    |
| メディカルセンター敷地       | 15,549.44            | 989,962,873    |
| メディカルクリニック敷地      | 1,284.81             | 430,213,005    |
| 特高変電所敷地           | 1,890.00             | 20,825,453     |
| 課外活動施設敷地          | 1,112.00             | 12,252,859     |
| 雁又グラウンド           | 11,169.00            | 575,436,014    |
| 駐車場               | 87,169.76            | 4,381,868,336  |
| メディカルクリニック駐車場     | 147.56               | 89,248,619     |
| 寅山グラウンド           | 56,010.00            | 2,027,810,709  |
| 保育所敷地             | 1,581.00             | 80,013,000     |
| 車庫棟敷地             | 2,026.13             | 33,317,029     |
| その他               | 2,159.98             | 157,179,305    |
| (2) 建物            | 217,499.05           | 26,299,811,512 |
| 1号館(大学本館)         | 18,031.25            | 2,462,879,382  |
| 2号館(研究棟)          | 16,924.83            | 622,033,412    |
| 3号館(基礎科学棟)        | 3,176.60             | 71,225,290     |
| 4号館(看護学部棟)        | 3,767.03             | 334,980,388    |
| 7号館(医心館)          | 3,247.77             | 408,416,149    |
| アメニティ棟            | 1,178.62             | 402,829,561    |
| 車庫棟               | 533.26               | 46,770,860     |
| 5号館(総合実験研究棟)      | 4,092.06             | 289,030,017    |
| 5号館(動物実験センター)     | 898.27               | 24,549,405     |
| 6号館(体育館・運動療育センター) | 7,076.11             | 300,984,526    |
| 中央棟               | 86,341.17            | 15,271,328,268 |
| C棟                | 16,929.68            | 1,079,867,328  |
| D棟                | 11,326.03            | 544,581,697    |
| ドクターヘリ格納庫(燃料庫含む)  | 354.85               | 98,865,616     |
| 立体駐車場             | 22,407.36            | 998,823,522    |
| メディカルセンター         | 16,792.38            | 3,112,394,056  |
| メディカルクリニック        | 2,714.63             | 90,441,784     |
| クラブハウス            | 1,152.74             | 28,816,881     |
| 新ガスガバナー室          | 52.64                | 21,622,869     |
| 守衛所(大学本館前)        | 6.60                 | -              |
| 寅山グラウンド           | 133.04               | 2,523,129      |
| 保育所               | 362.13               | 86,847,372     |

(単位 円)

|  |         |               |
|--|---------|---------------|
| (3) 構築物<br>バスロータリー建築工事 他                         | 518件    | 1,272,407,732 |
| (4) 図書   |         | 936,663,366   |
| 一般教育及び専門図書                                       | 73,630冊 | 591,637,615   |
| 学術雑誌製本図書   | 22,095冊 | 308,455,966   |
| 視聴覚図書  | 1,603点  | 36,569,785    |
| (5) 教育研究用機器備品<br>手術支援ロボット da Vinci Xiサージカルシステム 他 | 15,535点 | 4,874,951,759 |
| (6) 管理用機器備品                                      | 607点    | 165,119,063   |
| 絵画・陶器・像 他  | 69点     | 112,180,819   |
| 机・事務機器 他   | 538点    | 52,938,244    |
| (7) 車両   | 14台     | 18,000,320    |
| (8) 建設仮勘定  |         | 0             |
| (9) ソフトウェア                                       |         | 1,208,528,526 |
| (10) 借地権   |         | 20,000,000    |

## 2 運用財産

(単位 円)

|                   |            |               |
|-------------------|------------|---------------|
| (1) 預金・現金         |            | 8,614,612,078 |
| ア 預金              |            | 8,591,457,602 |
| 普通預金              |            | 7,996,890,210 |
| 振替口座              |            | 5,423,397     |
| 定期預金              |            | 589,143,995   |
| イ 現金              |            | 23,154,476    |
| (2) 積立金           |            | 3,910,856,005 |
| 学校債償還引当特定資産       |            | 700,000,000   |
| 借入金返済引当特定資産       |            | 800,000,000   |
| 医療機器等整備調整資金引当特定資産 |            | 2,350,000,000 |
| 国際交流推進引当特定資産      |            | 33,993,135    |
| 教育研究活性化引当特定資産     |            | 26,862,870    |
| (3) 有価証券<br>株券 他  |            | 11,400,000    |
| (4) 不動産<br>土地     | 24,539.42㎡ | 180,021,698   |
| (5) 電話加入権         | 135本       | 5,103,000     |
| (6) 施設利用権         | 4点         | 116,447,786   |
| (7) 保証金           |            | 200,000       |
| (8) 預託金           |            | 255,730       |
| (9) 長期貸付金         |            | 545,940,000   |
| (10) 貯蔵品          |            | 395,461,162   |
| (11) 未収入金         |            | 8,523,875,882 |
| (12) 前払金          |            | 170,623,649   |
| (13) 立替金          |            | 1,041,014     |
| (14) 短期貸付金        |            | 222,570,000   |

[2] 負債

(単位 円)

|               |                |
|---------------|----------------|
| (1) 固定負債      | 26,438,103,900 |
| イ 長期借入金       | 18,375,163,000 |
| ロ 学校債         | 440,000,000    |
| ハ 退職給与引当金     | 6,586,326,696  |
| ニ 長期未払金       | 1,036,614,204  |
| (2) 流動負債      | 8,689,189,787  |
| イ 短期借入金       | 1,031,846,000  |
| ロ 前受金         | 974,650,618    |
| ハ 未払金         | 5,950,366,869  |
| ニ 1年以内償還予定学校債 | 260,000,000    |
| ホ 預り金         | 472,326,300    |

[3] 借用財産

|        |            |
|--------|------------|
| (1) 土地 | 20,291.26㎡ |
|--------|------------|

監 査 報 告 書

令和4年5月23日

学校法人 愛知医科大学

理 事 会 御 中

評 議 員 会 御 中

監 事 岡 田 忠  
監 事 林 清 博

私たちは、私立学校法第37条第3項に基づく監査報告を行うため、学校法人愛知医科大学の令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況について監査を行った。

私たちは監査にあたり、理事会、評議員会及び常任理事会に出席するほか、私たちが必要と認めた監査手続きを実施した。

監査の結果、学校法人の業務若しくは財産又は理事の業務執行に関し、不正の行為又は法令若しくは寄付行為に違反する重大な事実のないことを認める。

以 上



## 5 当面の課題



## 5 当面の課題

### <医学部>

#### 1 医学教育分野別評価における年次報告への対応

2019年度に受審した医学教育分野別評価の年次報告書を作成していくため、部分的適合と判定された項目は勿論のこと、適合と判断された項目についても更なる発展を期すため議論を行っていきます。

#### 2 医師国家試験対策の強化及び学生支援の充実

医師国家試験合格率の安定維持のための方策を更に推進していく必要があります。

#### 3 卒前・卒後教育のシームレスな教育体制の構築

卒前・卒後教育、更には専門医教育までのシームレス化、また愛知医科大学病院への帰局者数を増加させるため、医学部卒前・卒後医学教育連携支援委員会において、新たな教育体制・卒業生フォローアップ体制の構築に向けた検討を進めていく必要があります。

#### 4 入学者選抜制度を見直し優秀な学生を獲得

新たな入試制度及び奨学金制度を構築し、優秀な学生を獲得していくことが急務です。また、18歳人口減少に伴う大学間の競争激化に対応し、志願者確保のための学生募集を強化していく必要があります。

#### 5 研究ブランディング事業の推進

令和2年度に実施した「愛知医科大学のイメージ及び研究に関する意識調査」において、研究に対して協力の意思を示してくれた長久手市民へ採血等の協力を呼び掛け、順次血液採取と健康診断情報を獲得していきます。

#### 6 運動療育センターの活性化

安心・安全・生活の一部となる施設づくりを目指すとともに、病院との連携事業など新たな取り組みを行い、新規会員の入会促進を図る必要があります。

### <看護学部>

#### 1 カリキュラムの運用に向けた課題

COVID-19感染の収束を見据えて、その後の教育方法・内容及びICTを活用した教育の推進を行います。

GPAの数値目標の設定および新出席管理システムの導入を踏まえ、具体的な運用方法を決定します。

学習成果アンケート結果で「論理的に文章を書く力」が低い傾向にあったため、教養ゼミナールと卒業研究I・IIの繋がりを考慮した指導について検討します。

卒業生に向けた取り組みでは、卒後1年を経過した卒業生に対しての調査により、卒業生からの本学の教育評価を継続します。

#### 2 FD活動の更なる強化

マザーマップ®を看護教員の自己開発に活用することが決まり、FDにおいてマザーマップ®の意義は理解されましたが、負担感などの欠点も報告されました。今後、実施にあたり、どのような形でマザーマップ®を活用するかを更に検討していく必要があります。

看護学研究科学習環境アンケートから、院生と教員との関係、研究指導力、実習環境等に関する課題が多く挙がり、これらの対応に対するFDを引き続き実施していくことが求められます。

これまでのFD活動では若手教員の教育力育成に焦点を置いてきた経緯がありますが、2022年度は、各種委員会に若手の教授や次期リーダー層である准教授に積極的に関わらせる人事を行います。

リーダーシップ研修では、事務職の責任者と共に学ぶことで、教員と事務職の連携強化も行います。

### 3 看護学研究科における教育・研究指導體制の充実

大学院生の研究支援体制については大学院生の意見を聴取し、来年度からの研究指導體制強化に向けて各領域で検討を行います。

統計セミナーの開催は毎年、多くの院生からの希望があるため、今後も継続していきます。

### 4 国際交流事業の発展

関心が高い学生への働きかけとしては一定の効果があったと評価するものの、多くの学生の関心を高めることには課題があるため、今後も引き続き、多くの学部学生が国内外の看護実践に関心を持てる方法を検討し、計画していきます。

### 5 看護実践研究センターの活動の発展

昨年度からの継続事業として「大学コンソーシアムせと」へ参画しているが、高齢者のニーズに沿ったものであり、高い評価が得られていることから、今後も看護実践研究センター地域・連携支援部門では、地域住民のニーズに即した講義を企画していきます。

### 6 研究活動について

科学研究費獲得セミナーを継続実施し、科研費等外部資金を獲得している教員による若手教員への個別サポートなども実施しました。今後は、組織的な支援体制として整備していきます。

## <大学病院>

- ・ 全職員が高い医療安全に対する意識を持ち、安心・安全に職務に従事できる環境整備を行うことで、医療安全管理能力に裏打ちされた組織としての総合的診療能力の向上を目指します。
- ・ 経営基盤強化に向けた効果的・効率的な人材配置のため、職種別適正人員配置の立案を行います。
- ・ 臨床研究および先端医療開発の推進のため、本学に設置された研究支援組織、体制の有効活用とともに、臨床医の研究成果及び効率性を検証した上で、サポート体制等の環境整備を行います。
- ・ 有能な医療人育成のため、実習環境の整備により業務に関するモチベーションを向上させ、キャリアアップを支援するシステムを構築します。
- ・ 前方・後方連携を可能とする地域医療連携体制を強化し、さらに、病病間における医療従事者の人材交流にも取り組み、地域医療を連携促進します。
- ・ 時間外の診療体制を見直し、救急内科当直、救急外科当直と各診療科当直の連携を強化することで、診療の質の向上と医療安全の強化に努め、救急患者を断らない医療を実現します。
- ・ 医療従事者の働き方改革の実現に向け、ワークシェアリング及びタスクシフトを推進し、不要な業務の見直し及びICTによる会議の効率化により業務負担を軽減します。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の重点医療機関として、主に重症者の診療を担い、患者及び職員の感染予防対策の徹底を図ります。

## <メディカルセンター>

- ・ 令和5年度の365日2次救急受け入れ開始に向けた体制整備を進めていきます。
- ・ 地域医療のニーズに応えた新規入院患者数の更なる増加を実現します。
- ・ 休床している病棟（南館病棟）の再開に向けた体制整備を図ります。
- ・ 南館が竣工後19年、北館は7年経過しています。南館に関しては、建築・設備機器等の修繕や更新が必要であります。また、大学病院としての機能強化のため、外来診療・検査部門のゾーニング変更工事など大規模な設備投資が今後継続的に必要です。

- ・ 未導入の部門システム（透析，内視鏡，文書管理等）の導入，再診受付機，自動精算機等の更新整備を進めていきます。
- ・ 令和3年4月に承継した職員に対する規定や規則の適用について，令和4年4月から全学に統合されることによる職員のモチベーション向上，また岡崎整形外科へ出向していた職員（理学療法士5名，事務職員2名）も帰院することにより，大学病院分院の発展に向けて一丸となり，医療の質の向上を図ります。

#### <大学全体>

- ・ 間もなく開学50周年を迎えますが，キャンパス内の建物・設備はその分経年劣化が進行しており，修繕規模は年々増加傾向にあります。中央棟も例外ではなく，開院から早7年が経過し，既にエアコンや電子機器類等から順次更新時期を迎え始めています。これらの修繕負担を抑えつつ業務を遅延なく確実にこなしていくため，効率的な修繕計画の策定，施工過程におけるコスト抑制の模索，設備の延命化及び省コスト化等を戦略的に進めていかなければなりません。このことは昨今の世界情勢や円安による資材の値上がりや工期の遅れなどの状況変化が今後さらに重要な課題となっていきます。
- ・ 情報環境に係る現在の設備は平成29年に整備されており，令和4年で5年が経過するため，端末やネットワーク機器などを最新の機器に更新する必要があります。また，マルチメディア教室の音響，映像装置は設置後20年以上経過していることから，学生の教育基盤環境の維持向上を図るため，音響，映像装置の更新により教材提示環境の整備を図る必要があります，令和4年度に整備する予定です。

【発行年月日】 令和4年5月31日  
【発 行】 学校法人愛知医科大学  
【発行人】 理事長 祖父江 元  
【編集責任者】 法人本部長 島田 孝一  
【企画・編集】 財務・管理室